第１回 八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議

日時：令和６年１１月１５日（金）午前１０時から
場所：市役所旧館４階　第１委員会室

次　　第

１　開　会

２　委嘱状交付

３　市長挨拶

４　出席委員の紹介

５　議題

（１）現行の都市計画道路整備プログラムの評価について

（２）検討対象路線について

６　閉会

【配布資料】

・第１回八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議次第

・八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議委員名簿

・八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議設置要領

・【資料１】現行の都市計画道路整備プログラムの評価について

・【資料２】検討対象路線について

・【参考】現行の都市計画道路整備プログラムについて

八千代市都市計画道路整備プログラム
改定会議委員名簿

令和6年8月1日時点

氏　名	職　名
学識経験者	
藤井敬宏（ふじい たかひろ）	日本大学理工学部　特任教授
福田　敦（ふくだ あつし）	日本大学理工学部　教授
松浦健治郎（まつうら けんじろう）	千葉大学大学院工学研究院　准教授
関係団体の代表者	
周郷寿雄（すごう としお）	八千代商工会議所　会頭
三浦裕樹（みうら ゆうき）	京成バス株式会社　取締役営業部長
関係行政機関の職員	
秋元　仁（あきもと ひとし）	千葉土木事務所長
松本和浩（まつもと かずひろ）	八千代警察署長
八千代市企画部長	
赤城哲寛（あかぎ てつひろ）	八千代市企画部長
八千代市経済環境部長	
加藤博士（かとう ひろし）	八千代市経済環境部長
八千代市都市整備部長	
木内健策（きうち けんさく）	八千代市都市整備部長

任期：令和6年8月1日から令和8年3月31日まで

資料１

現行の都市計画道路整備プログラムの評価について

令和６年 11 月 15 日（金）

第１回八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議

□■　目　次　■□

1　変更・廃止候補路線について……1
2　優先度評価について……3

１　変更・廃止候補路線について

現行の都市計画道路整備プログラムの総合評価において，変更・廃止候補となった４路線，９区間については，現在まで都市計画の変更・廃止に至っていない。

表　総合評価結果及び変更・廃止の有無について

<table>
<tr><th>路線番号</th><th>区間番号</th><th colspan="2">現行プログラムにおける総合評価及び評価理由</th><th>変更･廃止の有無</th><th>理由</th></tr>
<tr><td rowspan="4">3・4・6</td><td>⑦</td><td>線形変更</td><td rowspan="4">3・5・13 以南については，現道や並行道路を活用したルートに変更する。現在の都市計画道路上に事業の支障となる調整池の存在や高低差による橋梁化の必要があるため，現道や並行道路の活用により事業費の削減を検討する。また，ルートの変更にあたっては，3・4・6⑧の区間も含め既存の現道や並行道路の活用を検討する。
3・5・13 以北については，概ね市街化調整区域を通過する路線であること，また，接続先が 3・2・17 のみであることなどから，同じく 3・2・17 に接続する並行道路及び並走する都市計画道路 3・3・7 の整備により代替えが可能と判断し廃止候補とする。ただし，3・3・7⑥の整備如何によっては将来交通量推計を踏まえ再考する必要があるため廃止については 3・3・7⑥の整備の目途がたつことを条件とする。</td><td>無</td><td rowspan="2">事業費削減を目的とした線形変更は認められないため，変更には都市計画としての必要性（都市交通調査や基礎調査，安全性確保等）が求められるが，引き続き検討が必要であるため。</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>線形変更</td><td>無</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>廃止</td><td>無</td><td rowspan="2">並走する 3・3・7⑥の整備の目途がたっていないため。</td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>廃止</td><td>無</td></tr>
<tr><td>3・3・7</td><td>⑥</td><td>幅員変更</td><td>八千代中央駅からゆりのき台を抜ける 3・3・7 の北端区間である。ゆりのき台を通過する区間は２車線であるが，25ｍの幅員であり市のシンボルロードとしての機能を有し，ゆとりある歩道・緑地空間を広く設けている。しかしながら，当該区間は市街化調整区域を通過する区間であるため，道路機能を重視した幅員への変更を検討する。（25m→16m）</td><td>無</td><td>接続先である 3・2・17 の整備の目途がたっていないため。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>路線
番号</th><th>区間
番号</th><th colspan="2">現行プログラムにおける総合評価及び評価理由</th><th>変更･廃止
の有無</th><th>理由</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3・4・8</td><td>①</td><td>廃止</td><td rowspan="2">国道 296 号と並走する路線であるが，ネットワーク上，既成市街地を通りぬける構想路線へアクセスすることが前提となり，構想路線が実現できない場合は本来の機能を果たすことができない路線である。このため，構想路線も含めて廃止候補とする。
また，都市計画道路としての起終点の考え方から廃止する区間については適切な区間を設定する必要がある。
なお，廃止については，並行道路である国道 296 号の拡幅やバイパスの役割を担う 3・2・17 の整備の目途がたつことを条件とする。</td><td>無</td><td rowspan="2">並行道路である国道 296 号の拡幅や 3・2・17 の整備の目途がたっていないため。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>廃止</td><td>無</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3・5・13</td><td>⑤</td><td>線形変更</td><td rowspan="2">現道と重なる部分が多いことから，現道を最大限生かした線形への変更を検討する。</td><td>無</td><td rowspan="2">事業費削減を目的とした線形変更は認められないため，変更には都市計画としての必要性（都市交通調査や基礎調査，安全性確保等）が求められるが，引き続き検討が必要であるため。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>線形変更</td><td>無</td></tr>
</table>

２　優先度評価について

現行の都市計画道路整備プログラムの優先度評価において，優先度の高い路線であった３・４・１号新木戸上高野原線⑩，３・３・７号大和田駅前萱田線③等については，事業化に至っていない。

理由としては，現行プログラム策定以前より事業中であった路線の事業期間延伸が続いていることが挙げられる。

なお，現行プログラム策定当時から事業中であった都市計画道路一覧は以下のとおり。

表　八千代市都市計画道路事業認可一覧（区画整理によるものは除く）

路線番号	事業期間 （H29.3 末時点）	延伸／ 完了	延伸後の事業期間 （R6.3 末時点）	延伸となった理由
３・４・１ （西八千代工区）	H18.4.4 ～H31.3.31	延伸	H18.4.4 ～R7.3.31	土壌汚染対策法に基づく詳細な調査が必要であり，相当期間を要するため。 （R6.3.21 供用開始）
３・４・１ （上高野第１工区）	H27.11.6 ～R4.3.31	延伸	H27.11.6 ～R10.3.31	用地買収が停滞，難航しているため。
３・４・６	H4.12.14 ～R3.3.31	延伸	H4.12.14 ～R9.3.31	用地買収が停滞，難航しているため。
３・４・９	H27.11.6 ～R4.3.31	延伸	H27.11.6 ～R10.3.31	用地買収が停滞，難航しているため。
３・４・12	H11.3.12 ～R4.3.31	延伸	H11.3.12 ～R10.3.31	用地買収が停滞，難航しているため。
３・２・17 （千葉県事業）	H2～R3 年度	延伸	H2～R10 年度	用地買収が停滞，難航しているため。また，軟弱地盤対策の実施等，計画に変更が生じたため。
８・７・２	H8.5.28 ～R2.3.31	完了	－	

資料２

検討対象路線について

令和６年 11 月 15 日（金）

第１回八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議

□■　目　次　■□

1　検討対象路線…… 1
2　上位計画等における位置付け…… 4
2．1　区域マスタープラン……4
2．2　千葉県広域道路交通ビジョン・千葉県広域道路交通計画……6
2．3　八千代市第５次総合計画 …… 8
2．4　八千代市都市マスタープラン…… 10
2．5　八千代市京成本線沿線まちづくりビジョン ……14
2．6　八千代市自転車ネットワーク計画 ……16
2．7　道路構造令の改正…… 17
3　検討対象路線の現状と整備課題……20

１　検討対象路線

千葉県都市計画道路見直しガイドライン（H22.3）を参考に検討対象路線は，１）未整備の区間を含む路線（自動車専用道路を除く），２）当初都市計画決定から 20 年以上経過した路線・区間とする。

また，現行プログラムでは，概成済区間を評価対象としていなかったが，現道の機能性，道路の混雑状況やバスの遅延状況，自転車通行空間確保の必要性などを評価することで，変更や廃止の検討，優先度評価についての意義があると考えられることから，今回は概成済区間についても検討対象とする。

表　都市計画道路整備プログラムの検討対象路線（区間）（令和６年３月末時点）

No	路線名称	区間番号	区間延長（m）	整備状況等	プログラム進捗上の課題等	支障建築物数
3・4・1	新木戸上高野原線	①	418	未整備	市域外（船橋市）との一体整備	42
3・4・1	新木戸上高野原線	⑦	940	未整備	⑨区間で事業中	18
3・4・1	新木戸上高野原線	⑩	513	未整備	市域外（佐倉市）との一体整備	18
3・4・6	八千代台花輪線	③	730	概成済		16
3・4・6	八千代台花輪線	⑤	530	概成済		13
3・4・6	八千代台花輪線	⑦	330	未整備		71
3・4・6	八千代台花輪線	⑧	430	未整備		
3・4・6	八千代台花輪線	⑨	330	未整備		
3・4・6	八千代台花輪線	⑩	890	未整備		20
3・4・6	八千代台花輪線	⑪	192	未整備		
3・3・7	大和田駅前萱田線	①	40	未整備	市域外（千葉市）との一体整備	4
3・3・7	大和田駅前萱田線	③-1 ※1	471	未整備	高低差、用地取得	111
3・3・7	大和田駅前萱田線	③-2	330	未整備	用地取得	
3・3・7	大和田駅前萱田線	④	550	未整備	高低差、用地取得	
3・3・7	大和田駅前萱田線	⑥	340	未整備	3・2・17号未整備区間との一体整備	1
3・4・8	大和田新田下市場線	①	1,670	未整備		142
3・4・8	大和田新田下市場線	②	630	未整備		22
3・4・9	上高野工業団地線	③	1,155	概成済		0
3・4・9	上高野工業団地線	④	490	未整備	②区間で事業中	14
3・4・10	上高野佐倉線	①	380	未整備	市域外（佐倉市）、3・4・1号未整備区間との一体整備	51
3・5・11	新木戸吉橋線	①	120	未整備	3・3・27号未整備区間との一体整備	11
3・5・11	新木戸吉橋線	②	359	概成済		5
3・5・11	新木戸吉橋線	④	1,251	概成済		10
3・4・12	八千代台南勝田台線	①	120	未整備	市域外（千葉市）との一体整備	2
3・4・12	八千代台南勝田台線	②	278	概成済		12
3・4・12	八千代台南勝田台線	④	29	概成済		4
3・4・12	八千代台南勝田台線	⑤	288	未整備	⑥⑦区間で事業中	30
3・4・12	八千代台南勝田台線	⑨	750	未整備	市域外（千葉市）との一体整備	0(千葉市74)
3・5・13	八千代台東萱田線	①	803	未整備		38
3・5・13	八千代台東萱田線	③	30	未整備		2
3・5・13	八千代台東萱田線	④	200	概成済		5
3・5・13	八千代台東萱田線	⑤	100	未整備		13
3・5・13	八千代台東萱田線	⑥	100	未整備		
3・5・13	八千代台東萱田線	⑦	2,677	概成済		9
3・2・17	八千代中央線	①	130	未整備	市域外（船橋市）との一体整備	0
3・2・17	八千代中央線	③ ※2	240	未整備	⑧区間で事業中	0
3・2・17	八千代中央線	⑤	143	未整備	⑧区間で事業中	0
3・2・17	八千代中央線	⑥	3,702	未整備	橋梁整備、用地取得	59
3・3・27	八千代西部線	①	100	未整備	3・4・1号未整備区間、（仮称）幕張千葉ニュータウン線との一体整備	48
3・3・27	八千代西部線	②	620	未整備		
3・3・27	八千代西部線	⑧	700	未整備	（仮称）幕張千葉ニュータウン線との一体整備	13
3・3・27	八千代西部線	⑨	170	未整備		
8・7・1	萱田町村上線	①	490	未整備		0

※１　3・3・7 号大和田駅前萱田線③区間及び④区間の区切り位置が現行プログラム優先度評価の時点で国道 296 号になったため、区間番号を振り替えた。

※２　3・2・17 号八千代中央線の③区間及び⑤区間は現行プログラム策定時点で事業中であったが、その後整備済区間と未整備区間に分かれたため、区間番号を振り替えた。

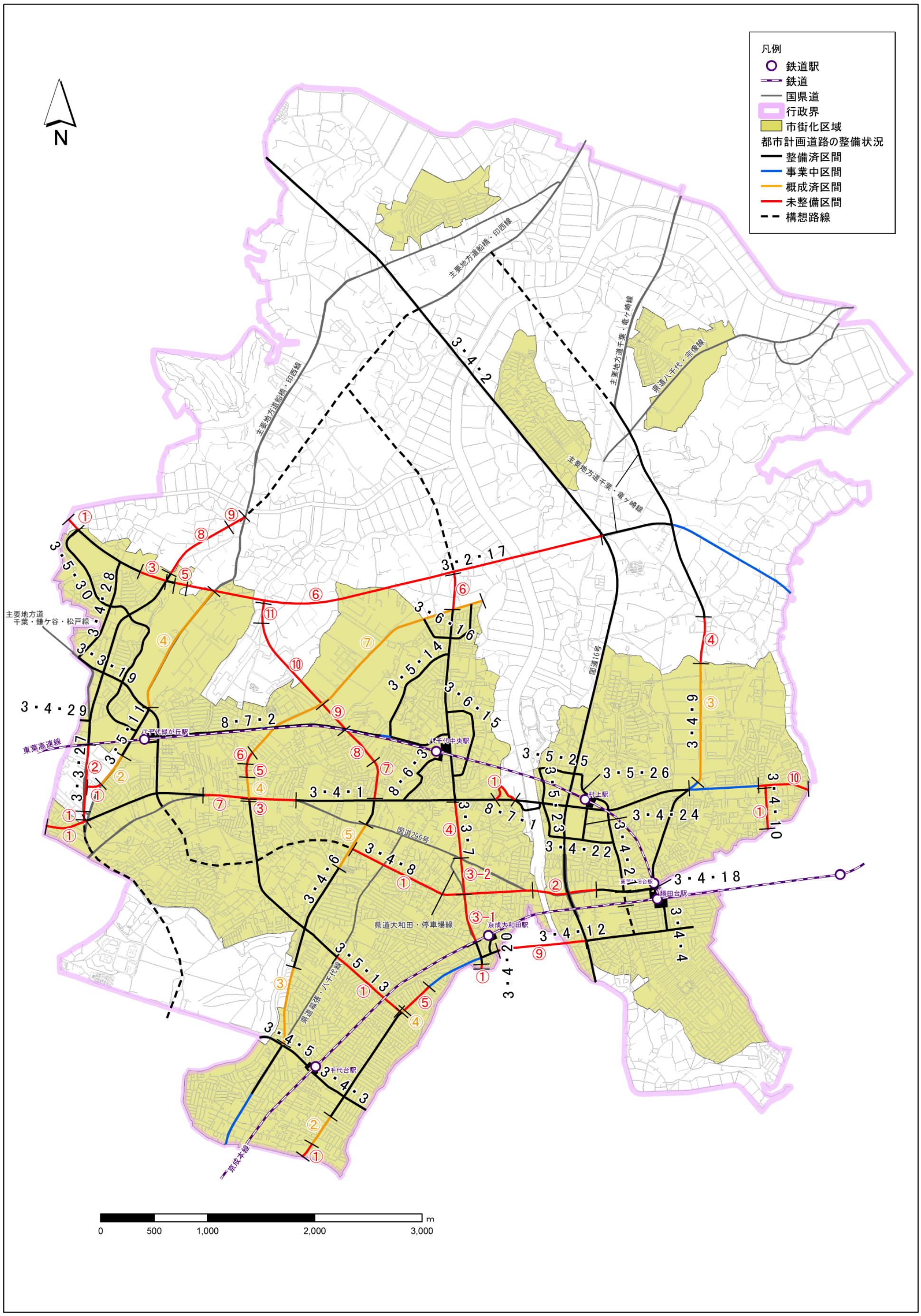


図　都市計画道路整備プログラムの検討対象路線（区間）（令和６年３月末時点）

２　上位計画等における位置付け

令和６年(2024 年) ３月末現在における上位計画等での都市計画道路整備に関連する内容を整理した。

２．１　区域マスタープラン

千葉県が平成 28 年（2016 年）３月に策定した八千代都市計画　都市計画区域の整備，開発及び保全の方針（区域マスタープラン）では，八千代市に関連する道路の配置方針を以下のように定めている。

【区域マスタープランにおける道路の配置方針】

ｂ　主要な施設の配置の方針

ア　道路

本区域の道路網の配置は，基本方針に基づき広域道路網と十分整合を図りながら進めるものとする。

広域道路網として本区域と周辺地域を結ぶとともに，通過交通を処理する主要幹線道路として，都市計画道路３・４・２号東京環状線（国道１６号），**都市計画道路３・２・１７号八千代中央線（国道２９６号バイパス）**及び**都市計画道路３・３・２７号八千代西部線**の路線を位置付ける。

都市圏の主要な骨格軸を形成し，各拠点地区を相互に結び，都市としての一体性確立に資する幹線道路として**都市計画道路３・４・１号新木戸上高野原線，都市計画道路３・４・３号八千代台東駅前線，都市計画道路３・４・４号勝田台駅前線，都市計画道路３・４・５号八千代台駅前線，都市計画道路３・４・６号八千代台花輪線，都市計画道路３・３・７号大和田駅前萱田線，都市計画道路３・４・８号大和田新田下市場線，都市計画道路３・４・９号上高野工業団地線，都市計画道路３・４・１２号八千代台南勝田台線及び都市計画道路３・３・１９号八千代緑が丘駅前線**の路線を位置付ける。

また，下記の路線についておおむね 10 年以内に整備を予定するとしている。

主要な施設	名　称　等
道　路	・根幹的交通施設の整備の推進 （主要幹線道路） 都市計画道路３・２・１７号八千代中央線 都市計画道路３・３・２７号八千代西部線 （幹線道路） 都市計画道路３・４・１号新木戸上高野原線 都市計画道路３・４・６号八千代台花輪線 都市計画道路３・４・１２号八千代台南勝田台線 都市計画道路３・３・１９号八千代緑が丘駅前線 都市計画道路３・４・２８号西八千代１号線 都市計画道路３・４・２９号西八千代２号線 都市計画道路３・５・３０号西八千代３号線

（注）おおむね１０年以内に着手予定及び施行中の施設等を含むものとする。

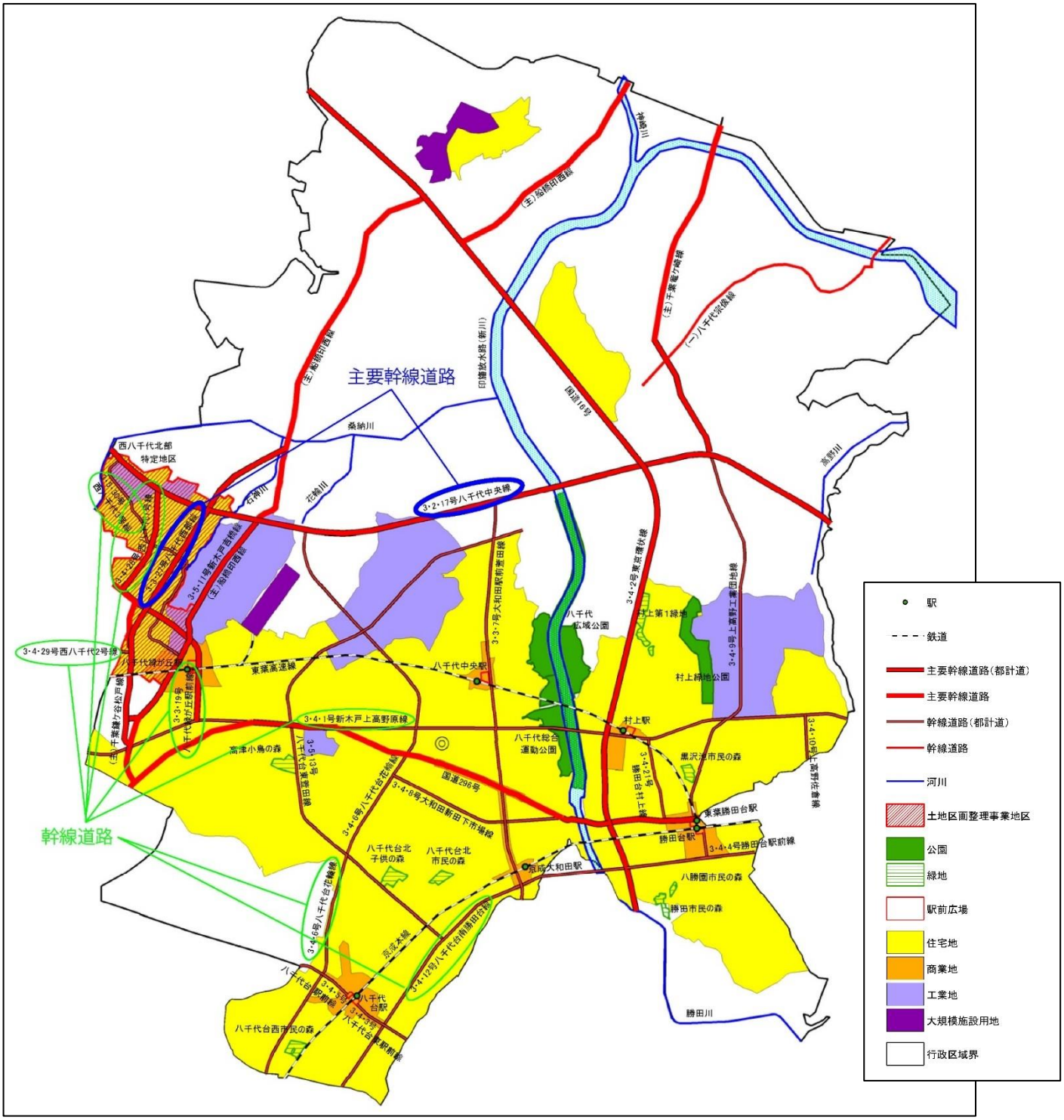


図　八千代都市計画　都市計画区域の整備，開発及び保全の方針付図

２．２　千葉県広域道路交通ビジョン・千葉県広域道路交通計画

千葉県が令和３年（2021 年）６月に策定した千葉県広域道路交通ビジョン・千葉県広域道路交通計画において，広域道路ネットワークの構想路線として，千葉北西連絡道路の延伸が挙げられている。

千葉北西連絡道路検討会が令和４年 11 月に策定した基本方針では，千葉北西連絡道路が野田市から印西市を結んでいる。また，国道 464 号から八千代市の東部付近を通過する延伸が図示されている。

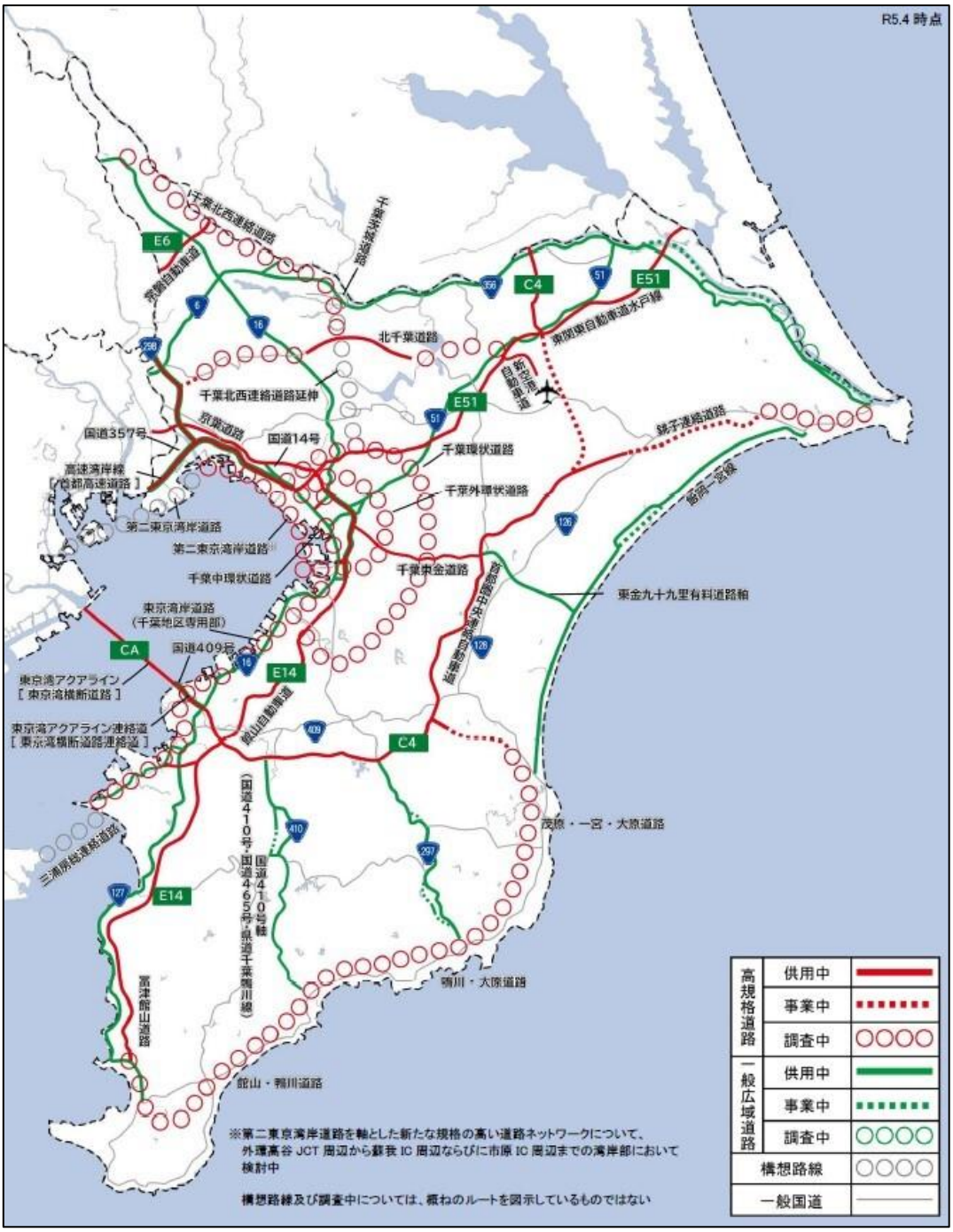
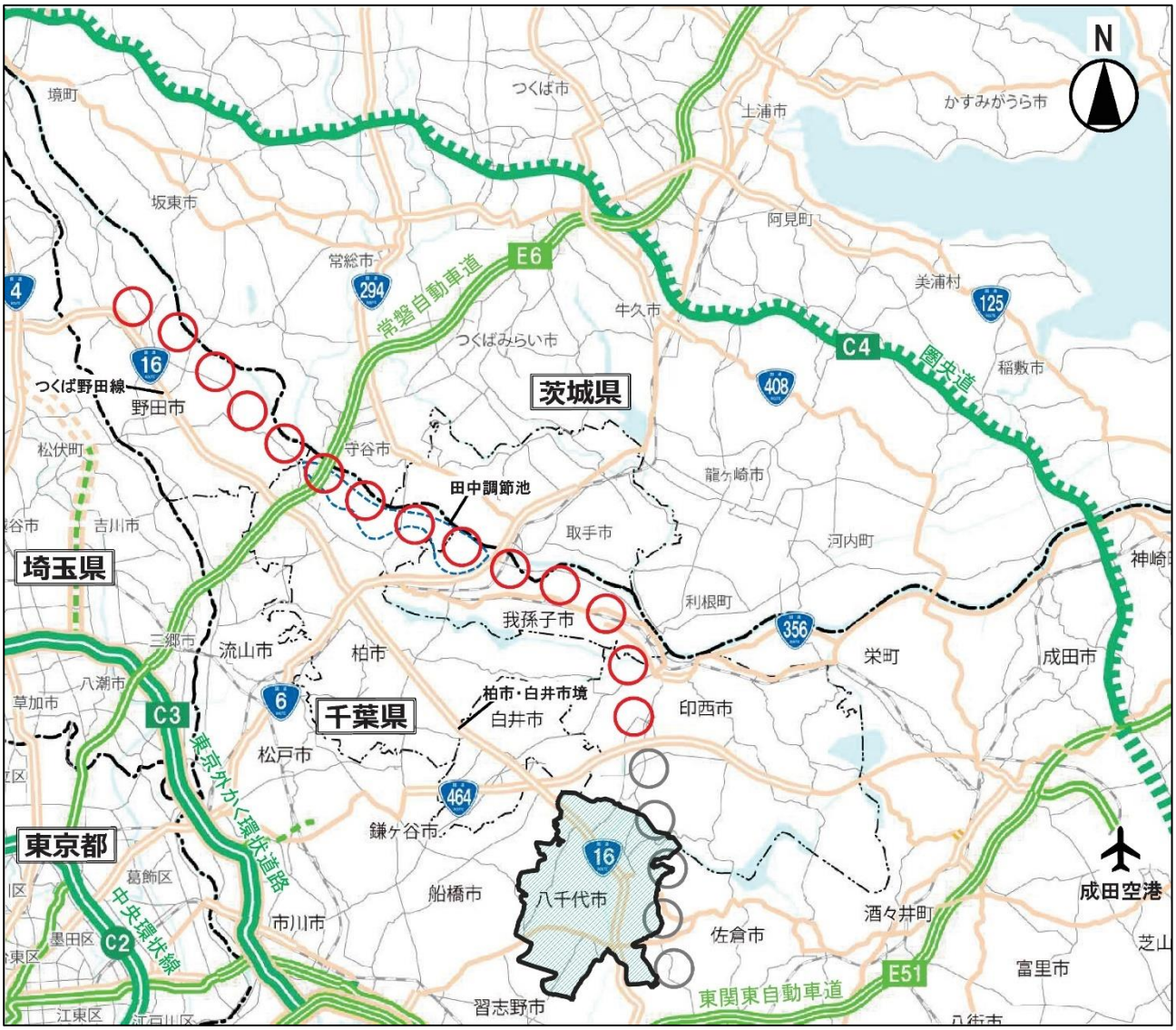


図　広域道路ネットワーク図



※概略ルート・構造の検討にあたっては、現道活用案も比較し検討を行う
※概ねのルートを図示しているものではない

図　千葉北西連絡道路拡大図

２．３　八千代市第５次総合計画

八千代市では令和３年度（2021 年度）から令和 10 年度（2028 年度）までを計画期間とする第５次総合計画による施策を実施している。

前期基本計画（令和３年度（2021 年度）～令和６年度（2024 年度））における都市計画道路整備の計画事業として，下記の事業が示されている。

(a) 都市計画道路 3・4・1 号新木戸上高野原線整備事業（西八千代工区）（延長 437m）

(b) 都市計画道路 3・4・1 号新木戸上高野原線整備事業（上高野工区）

（第１工区）（延長 635m＋135m（3・4・9 号上高野工業団地線））

（第２工区）（延長 480m）

(c) 都市計画道路 3・4・12 号八千代台南勝田台線整備事業

（第１工区）（延長 525m）

（第２工区（予定））（延長 345m）

(d) 都市計画道路 3・4・6 号八千代台花輪線整備事業（県事業）（延長 530m）

表　第５次総合計画前期実施計画における年度計画

		事業区間延長（m）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
都市計画道路３・４・１号 新木戸上高野原線整備事業	西八千代工区（市事業）	437		設計・工事（繰越）、工事	工事	
	上高野第１工区（市事業）	635 ＋135（3・4・9号線）	用地取得	用地取得	用地取得、設計	用地取得、設計・工事
	上高野第２工区（市事業）	480	用地取得	用地取得	用地取得、設計	
都市計画道路３・４・６号	（県事業）	530	負担金	負担金	負担金	負担金
都市計画道路３・４・１２号 八千代台南勝田台線整備事業	第１工区（市事業）	525	用地取得	用地取得	用地取得、設計	用地取得
	第２工区（市事業）	345	用地取得	用地取得	用地取得、設計	用地取得

表　八千代市総合計画における都市計画道路整備事業

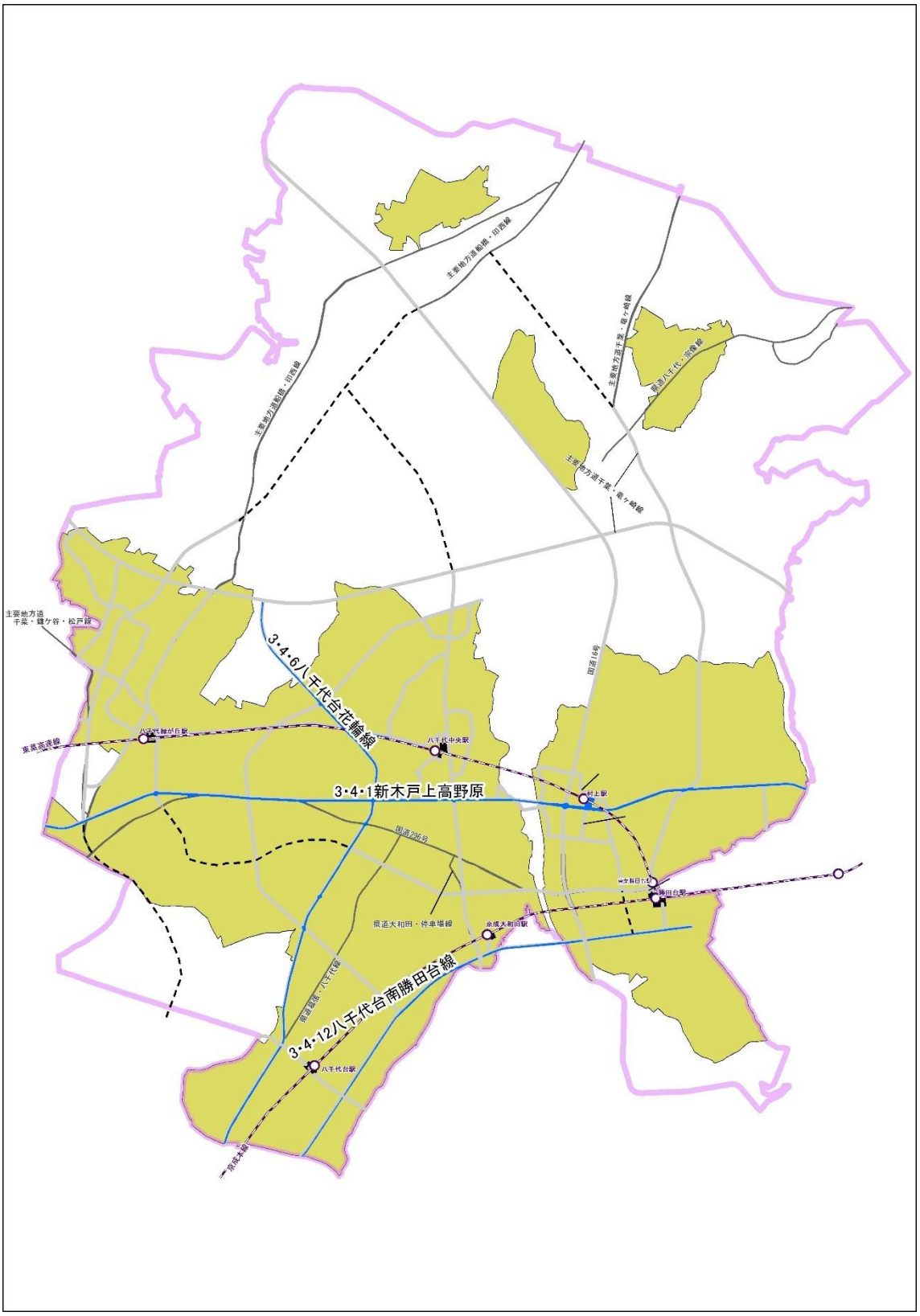


図　第５次総合計画前期基本計画の都市計画道路整備対象路線

２．４　八千代市都市マスタープラン

２．４．１　広域幹線道路及び都市幹線道路

八千代市が令和５年（2023 年）７月に策定した八千代市都市マスタープランでは，下記の路線を広域幹線道路及び都市幹線道路に位置付けている。

広域幹線道路とは，近隣都市間や高速道路インターチェンジと都市を結ぶことにより，広域の自動車交通を円滑に処理する役割を担うものである。

都市幹線道路とは，八千代市全体の骨格を形成する幹線道路で，各拠点同士，あるいは，南部の市街地ゾーンと北部の自然環境保全ゾーンを結び，相互の連携を図る役割を担うものである。また，沿道の土地利用を誘導し，市民の暮らしを担う役割も有している。

【広域幹線道路】

- 国道１６号（都市計画道路３・４・２号東京環状線
- 国道２９６号バイパス（都市計画道路３・２・１７号八千代中央線
- （仮称）幕張千葉ニュータウン線（都市計画道路３・３・２７号八千代西部線を中軸とした構想路線）
- 千葉北西連絡道路延伸（構想路線）

【都市幹線道路】

- 都市計画道路３・３・７号大和田駅前萱田線及び構想路線
- 都市計画道路３・４・１号新木戸上高野原線
- 都市計画道路３・４・１２号八千代台南勝田台線
- 都市計画道路３・４・３号八千代台東駅前線及び３・４・５号八千代台駅前線
- 都市計画道路３・４・４号勝田台駅前線及び３・４・９号上高野工業団地線及び構想路線
- 都市計画道路３・４・８号大和田新田下市場線,
- 都市計画道路３・３・１９号八千代緑が丘駅前線及び構想路線
- 都市計画道路３・４・６号八千代台花輪線

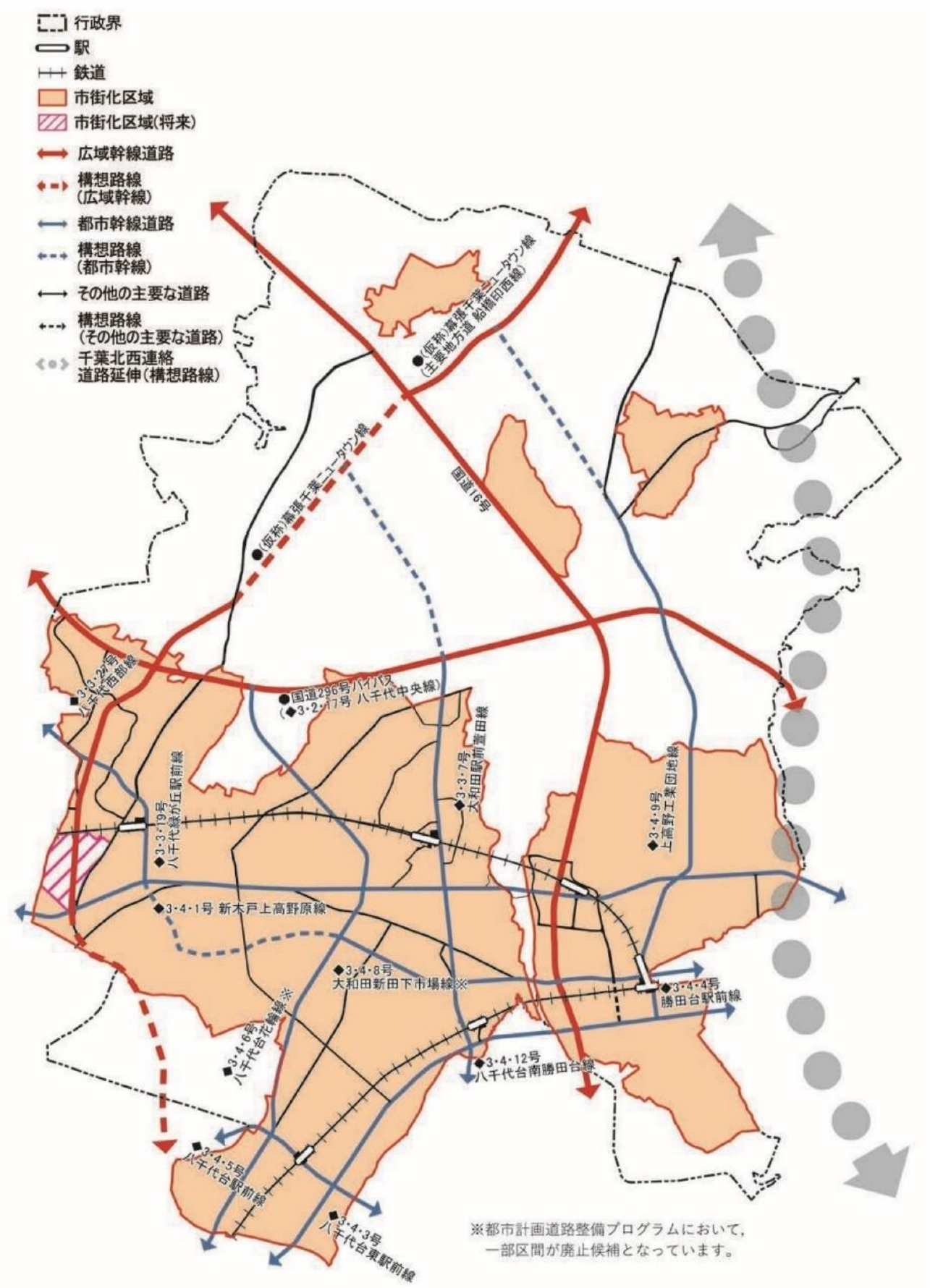

行政界
駅
鉄道
市街化区域
市街化区域(将来)
広域幹線道路
構想路線
(広域幹線)
都市幹線道路
構想路線
(都市幹線)
その他の主要な道路
構想路線
(その他の主要な道路)
千葉北西連絡
道路延伸(構想路線)
(仮称)幕張千葉ニュータウン線
(主要地方道 船橋印西線)
国道16号
(仮称)幕張千葉ニュータウン線
国道296号バイパス
(3・2・17号 八千代中央線)
3・3・22号
八千代台西駅前線
3・3・19号
八千代緑が丘駅前線
3・3・7号
大和田駅前萱田線
3・4・9号
上高野工業団地線
3・4・1号 新木戸上高野原線
3・4・8号
大和田新田下市場線※
3・4・4号
勝田台駅前線
3・4・6号
八千代台花輪線※
3・4・12号
八千代台南勝田台線
3・4・5号
八千代台駅前線
3・4・3号
八千代台東駅前線
※都市計画道路整備プログラムにおいて,
一部区間が廃止候補となっています。

図　幹線道路方針

２．４．２　地域別構想

都市マスタープランにおける既成市街地エリア，複合市街地エリア，自然環境保全エリアの地域別構想では，道路整備に関するまちづくりの方針が次のように示されている。

①既成市街地エリア

◆都市計画道路等の整備

- 東西に横断している国道２９６号の慢性的な交通渋滞を解消するため，**都市計画道路３・４・１号新木戸上高野原線**の整備を推進するとともに国道２９６号の計画的な二次改良を県に要請します。
- 既成市街地エリアと複合市街地エリアの中央を南北に結ぶ**都市計画道路３・３・７号大和田駅前萱田線**については，沿道環境の整備と併せて歩道の整備による歩行者軸の整備や，景観形成に配慮した整備を目指します。
- 本エリアを東西に結ぶ**都市計画道路３・４・１２号八千代台南勝田台線**については，東西方向への重要なアクセス路線として，引き続き整備を推進します。
- 市内を東西に結ぶ長期未整備道路である**都市計画道路３・４・８ 号大和田新田下市場線**については，国道２９６号バイパスの整備状況等を考慮しつつ，その構想路線も含めて，今後の整備のあり方を検討します。

②複合市街地エリア

◆広域幹線道路の整備促進

- 国道１６号については，計画的な二次改良等を関係機関に要請します。
- 国道２９６号の慢性的な交通渋滞を解消するため，**国道２９６号バイパス（都市計画道路３・２・１７号八千代中央線）**の早期完成を県に要請します。
- （仮称）幕張千葉ニュータウン線については，沿線地域の人口増加に伴い，交通量の増加が予想されることから，都市計画決定区間の整備を県に要請するとともに，関係機関と調整を図るなど，構想区間の具体化について検討します。

◆都市計画道路等の整備促進

- 市内を南北に結ぶ**都市計画道路３・３・７号大和田駅前萱田線**については，計画的な整備を県に要請します。
- **都市計画道路３・４・６号八千代台花輪線**の長期未着手となっている区間については，国道２９６号バイパスの整備状況等を考慮しつつ，今後の整備のあり方を検討します。
- 東西を結ぶ**都市計画道路３・４・１号新木戸上高野原線**については，整備済区間は計画的で適切な維持管理を図るとともに，引き続き整備を推進します。

◆歩行者専用道路等の適切な維持管理

- 八千代中央駅から市役所を結ぶ都市計画道路８・６・３号市役所総合運動公園線（愛称ハミングロード）については適切な維持管理に努めます。総合運動公園付近の都市計画道路８・７・1号萱田町村上線及び，東葉高速線沿いの都市計画道路８・７・２号西八千代向山線については，整備済区間の適切な維持管理を図るとともに，未整備区間については，周辺の状況を考慮しながら整備を検討します。

③自然環境保全エリア

◆広域幹線道路の整備促進

・ 国道２９６号の慢性的な交通渋滞を解消するため，**国道２９６号バイパス（都市計画道路３・２・１７号八千代中央線）**の早期完成を県に要請します。

・ （仮称）幕張千葉ニュータウン線については，沿線地域の人口増加に伴い，交通量の増加が予想されることから，都市計画決定区間の整備を県に要請するとともに，関係機関と調整を図るなど，構想区間の具体化について検討します。

２．５　八千代市京成本線沿線まちづくりビジョン

令和５年（2023 年）10 月に策定された京成本線沿線まちづくりビジョンは，京成本線沿線の八千代台駅・京成大和田駅・勝田台駅の各駅を中心とした既成市街地について，地域の活性化を推進するため，おおむね 20 年後の将来を見据えた地域の目指す姿を示すものである。

八千代台駅・京成大和田駅・勝田台駅の各駅の周辺 800m圏における道路の現況及び課題は以下のように記載されている。

①八千代台駅

八千代台駅周辺 800m圏をみると，一般県道幕張八千代線が通っており，都市計画道路となっている区間は整備が進んでいます。その他にも八千代台駅を中心に都市計画道路が整備済み又は概成済み（現道にかぶり計画幅員の２／３以上の幅員）となっており，都市計画道路**３・４・６号八千代台花輪線**は隣接する習志野市との接続に向け整備中です。おおむね幹線道路網の形が出来ている状態であり，習志野市や千葉市からのアクセスはよいものの，本市他地域からのアクセスがよいとは言えない状態です。そのため，**３・４・６号八千代台花輪線**の未整備区間（概成済み）や**３・３・７号大和田駅前萱田線，３・４・１２号八千代台南勝田台線**の未整備区間（３・４・１２号の八千代台東六丁目付近は整備中）を早期に整備し，市内各所から快適にアクセスできるようにすることが必要であり，市内各所とつながる道路ネットワークを形成することが必要です。

②京成大和田駅

京成大和田駅周辺 800m圏をみると，国道２９６号と一般県道大和田停車場線が通っています。どちらも交通量が多いものの，国道２９６号の一部区間を除いて歩道が設置されていません。駅北側一帯の幹線道路はこの２路線であるため，国道２９６号拡幅を県へ要望するとともに，バイパスの役割を担う**都市計画道路３・２・１７号八千代中央線**の早期整備が望まれます。また京成本線の付近が斜面地となっているため駅北側は坂道も多く，一部の認定道路は階段となっている区間があります。さらに，駅北側には，幅員４m未満の道路が多く，消防活動困難区域もあることから，これらの改善が課題となっています。

③勝田台駅

勝田台駅周辺 800m圏をみると，国道１６号と国道２９６号が通っています。国道１６号は整備済みであり国道２９６号とは立体交差となっています。また勝田台駅北側付近の国道２９６号は都市計画道路として整備済みとなっています。幹線道路網としては，国道１６号以東は都市計画道路等により計画的に配置され整備済みとなっています。一方，駅北側では**３・４・８号大和田新田下市場線**の国道１６号付近と，駅南側では**３・４・１２号八千代台南勝田台線**の国道１６号以西が未整備の状況です。京成本線を超えて南北を連絡する幹線道路は広域幹線道路である国道１６号だけであるため，地域を南北に連絡する幹線道路を別に設けることが望ましいと考えられます。また国道２９６号は国道１６号以西の混雑度が高いため，国道２９６号の拡幅を県へ要望するとともに，バイパスの役割を担う**都市計画道路３・２・１７号八千代中央線**の早期整備が望まれます。

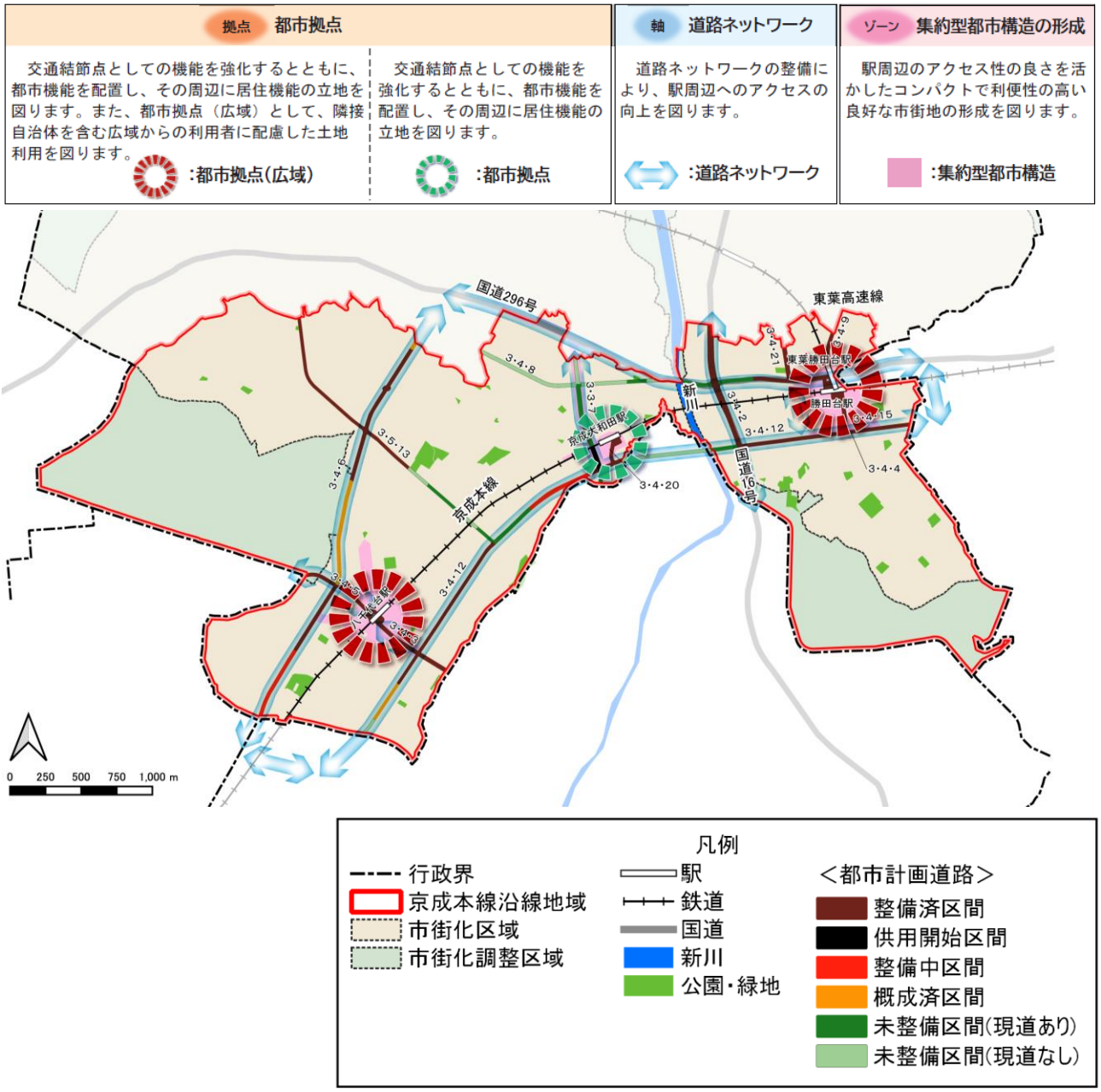


図　京成本線沿線地域全体の将来像図

２．６　八千代市自転車ネットワーク計画

八千代市では平成 30 年（2018 年）６月に策定した八千代市自転車ネットワーク計画において，比較的交通量が多く，歩行者と車両との安全性を確保する必要が高い都市計画道路を中心として選定した市道 39 路線とそれらに接続する県道２路線について自転車通行空間の整備を計画している。

自転車ネットワーク路線上の都市計画道路は整備済または概成済となっている。

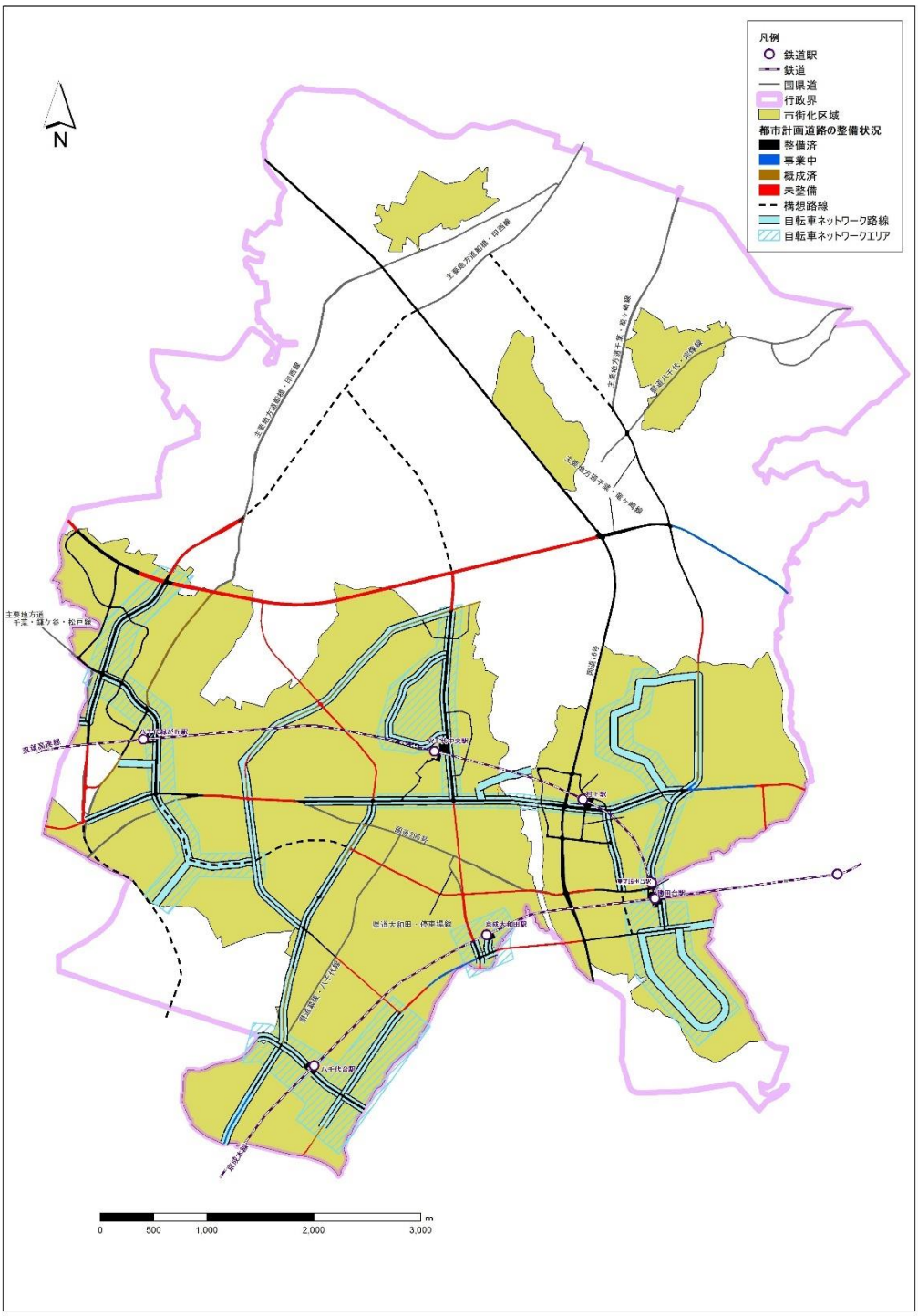


図　自転車ネットワーク路線図

２．７　道路構造令の改正

都市計画道路整備プログラム策定後に，道路構造令は平成 30 年（2018 年），平成 31 年（2019 年），令和２年（2020 年）の３回にわたり改正が行われている。

それぞれの時点の改正の主な内容は以下のようなものである。

①平成 30 年（2018 年）

重要物流道路に用いる設計車両（セミトレーラ連結車，車両高さ 3.8m → 4.1m 等）及び建築限界（H=4.5m → H=4.8m）が追加された。

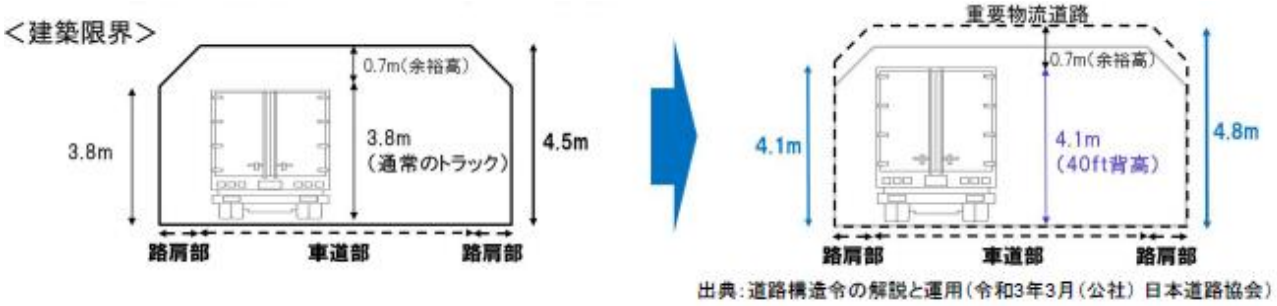


図　重要物流道路の建築限界高さ

図　八千代市周辺の重要物流道路

②平成 31 年（2019 年）

自転車通行帯に関する規定が追加された。

○道路交通法に基づく普通自転車専用通行帯（幅員１．５メートル以上）の設置により、自転車関連の交通事故数の減少や道路利用者の不安感の低減等の効果が実質的に確認されており、既設の道路のみならず、新たに整備する道路においても普通自転車通行帯の設置を推進するため、自転車通行帯の規定を設けている。

＜道路構造令第9条の2＞

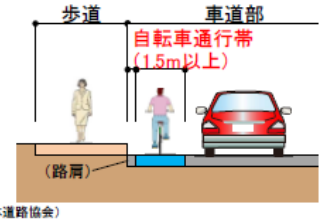
◇設置要件

・次の場合、車道の左端寄りに自転車通行帯を設けるものとする。
（やむを得ない場合、自転車道を設ける場合を除く。）
－自動車及び自転車の交通量が多い道路
－自転車の交通量が多い道路で、必要がある場合
－自動車及び歩行者の交通量が多い道路で、必要がある場合

◇幅員

・１．５メートル以上（やむを得ない場合、１メートルまで縮小できる）。

【自転車通行帯】（新たに規定）



出典：地域ニーズに応じた道路構造基準等の取組事例 増補改訂版（（公社）日本道路協会）

54

図　自転車通行通行帯に関する規定の概略

③令和２年（2020 年）

交通安全施設として自動運行補助施設が追加された。また，歩行者利便増進道路に関する規定が新設された。

○交通安全施設は、道路本体の構造とあわせて交通事故を防止し、併せて自動車や歩行者等の安全かつ円滑な通行を確保するために必要な施設であるため、設置に関する規定を定めている。

＜道路構造令第31条、施行規則第3条＞

・交通事故の防止を図るため必要がある場合においては、横断歩道橋等、自動運行補助施設、柵、照明施設、視線誘導標、緊急連絡施設その他これらに類する施設で国土交通省令で定めるものを設けるものとする。
・令第31条の国土交通省令で定める施設は、次の各号に掲げるものとする。
駒止、道路標識、道路情報管理施設（緊急連絡施設を除く。）
他の車両又は歩行者を確認するための鏡

交通安全施設

・立体横断施設
・自動運行補助施設
・防護柵
・照明施設
・視線誘導標
・道路反射鏡　等

＜立体横断施設＞

国道16号（埼玉県川越市）

＜防護柵（歩行者自転車用柵）＞

国道246号
（東京都千代田区）

＜照明施設＞

国道20号（東京都新宿区）

104

図　交通安全施設に関する規定の概略

歩行者利便増進道路に関する道路交通令の規定

第四十一条　歩行者利便増進道路に設けられる歩道若しくは自転車歩行者道又は歩行者利便増進道路である自転車歩行者専用道路若しくは歩行者専用道路には，歩行者の滞留の用に供する部分を設けるものとする。

2　前項に規定する部分には，歩行者利便増進施設等の適正かつ計画的な設置を誘導する必要があるときは，歩行者利便増進施設等を設置する場所を確保するものとする。この場合において，必要があると認めるときは，当該場所に街灯，ベンチその他の歩行者の利便の増進に資する工作物，物件又は施設を設けるものとする。

3　歩行者利便増進道路（高齢者，障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成十八年法律第九十一号）第十条第一項に規定する新設特定道路を除く。）は，同項に規定する道路移動等円滑化基準に適合する構造とするものとする。

３　検討対象路線の現状と整備課題

八千代市の都市計画道路のうち，概成・未整備区間を有する路線の整備状況及び平成 28 年度（2016 年度）以降の整備進捗及び整備課題を以下に示す（令和６年（2024 年）３月末時点）。

① 3・4・1号新木戸上高野原線（整備進捗：有（③，⑤））

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	令和 6 年 7 月 16 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 1	路線名	新木戸上高野原線	延長	7,300 m	標準幅員	20 m	車線数	2 車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	418 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし A区間
②			1	整備済	720 m	20 m	2 車線			20 m	2 車線	
③			1	整備済	90 m	20 m	2 車線	3	市	20 m	2 車線	
④			1	整備済	195 m	20 m	2 車線			20 m	2 車線	
⑤			1	整備済	50 m	20 m	2 車線	3	市	20 m	2 車線	
⑥			1	整備済	102 m	20 m	2 車線			20 m	2 車線	
⑦			4	未整備	940 m	20 m	2 車線			9 m	2 車線	現道　国道296号　2車線　W=9m　B区間
⑧			1	整備済	3,637 m	20 m	2 車線			20 m	2 車線	
⑨			2	事業中	635 m	20 m	2 車線			0 m	0 車線	完成形で整備中
⑩			4	未整備	513 m	20 m	2 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし C区間
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

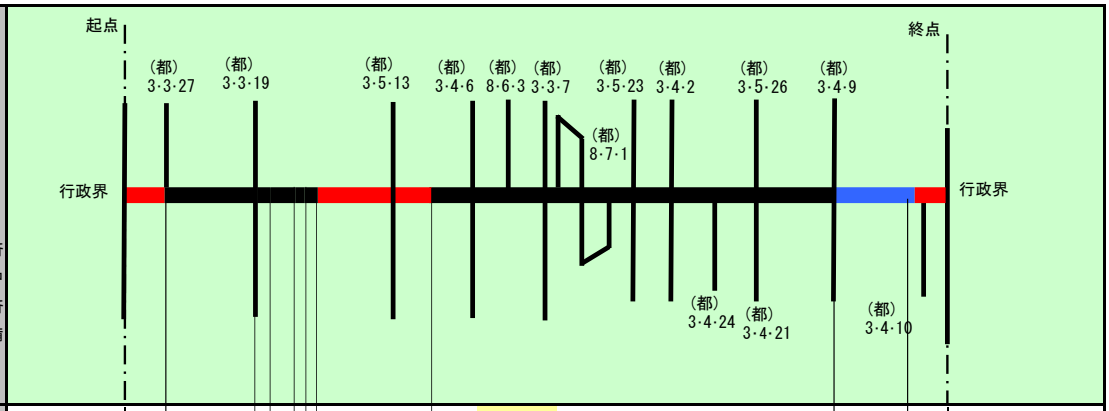
合計	延　長	7,300 m	整備済延長	4,794 m	事業中延長	635 m	事業予定延長	0 m	未整備延長	1,871 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	65.7 %	（構成比）	8.7 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	25.6 %
	（区間数）	10 区間	（区間数）	6 区間	（区間数）	1 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	3 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	1	有	名称１	村上駅交通広場	面積	7,100 ㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 1	路線名	新木戸上高野原線

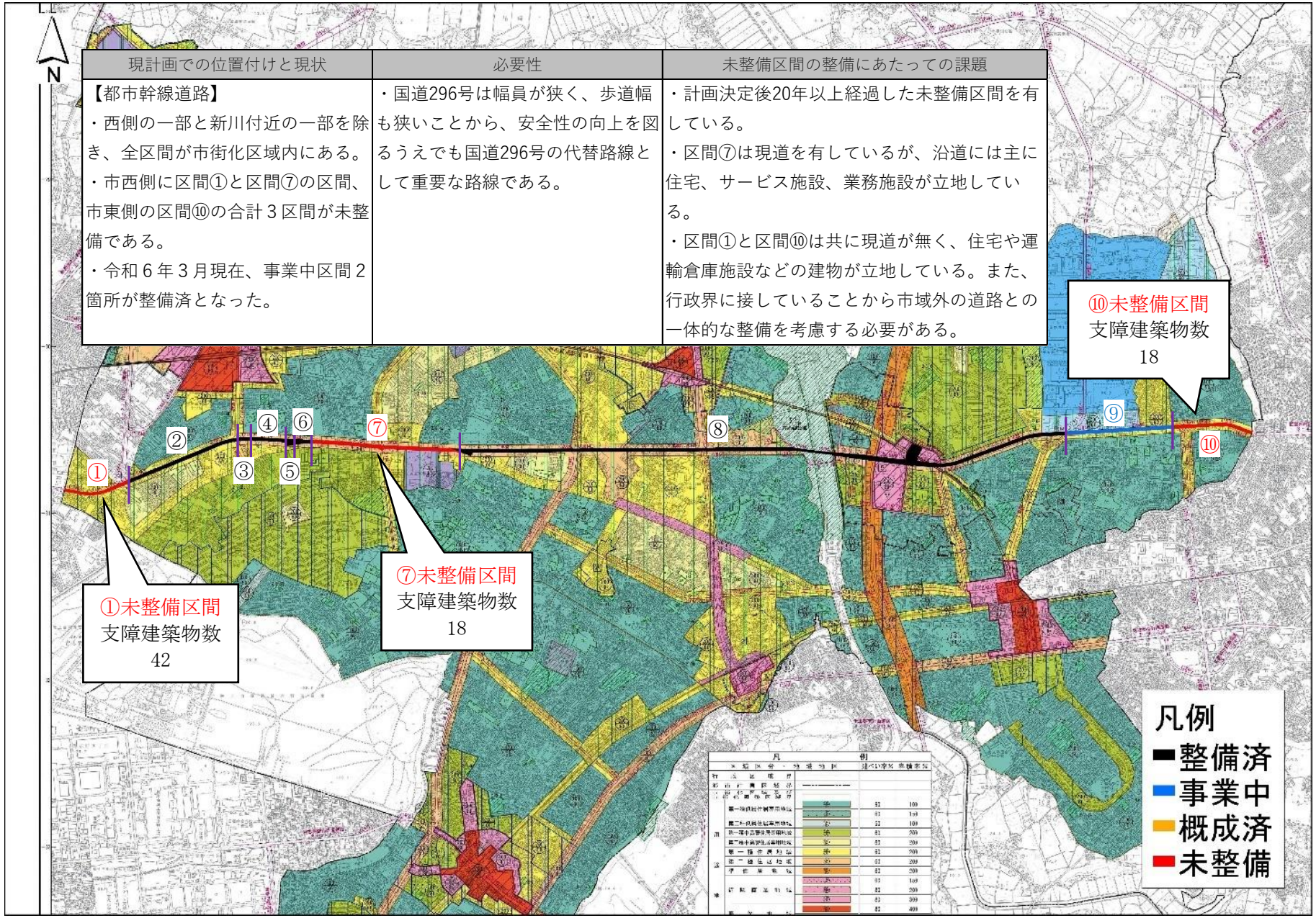
路線概要



総延長（m）	7,300 m									
区間番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
整備状況	未整備	整備済	整備済	整備済	整備済	整備済	未整備	整備済	事業中	未整備
区間延長(m) 7,300 m	418	720	90	195	50	102	940	3,637	635	513
区間幅員（計画幅員）	16	20	20	20	20	20	20	20	20	20
計画車線数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
現道の状況 現道の有無	無	有	有	有	有	有	有	有	無	無
現道の状況 現道の幅員(m)	0	20	20	20	20	20	9	20	0	0
現道の状況 現道の車線数	0	2	2	2	2	2	2	2	0	0
現道の状況 事業主体										

＜位置図＞

現計画での位置付けと現状	必要性	未整備区間の整備にあたっての課題
【都市幹線道路】 ・西側の一部と新川付近の一部を除き、全区間が市街化区域内にある。 ・市西側に区間①と区間⑦の区間、市東側の区間⑩の合計３区間が未整備である。 ・令和６年３月現在、事業中区間２箇所が整備済となった。	・国道296号は幅員が狭く、歩道幅も狭いことから、安全性の向上を図るうえでも国道296号の代替路線として重要な路線である。	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・区間⑦は現道を有しているが、沿道には主に住宅、サービス施設、業務施設が立地している。 ・区間①と区間⑩は共に現道が無く、住宅や運輸倉庫施設などの建物が立地している。また、行政界に接していることから市域外の道路との一体的な整備を考慮する必要がある。



② 3・4・6号八千代台花輪線（整備進捗：無）

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1 枚中 1 枚目

記入日	令和 6 年 8 月 8 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 6	路線名	八千代台花輪線	延長	5,820 m	標準幅員	16 m	車線数	2 車線

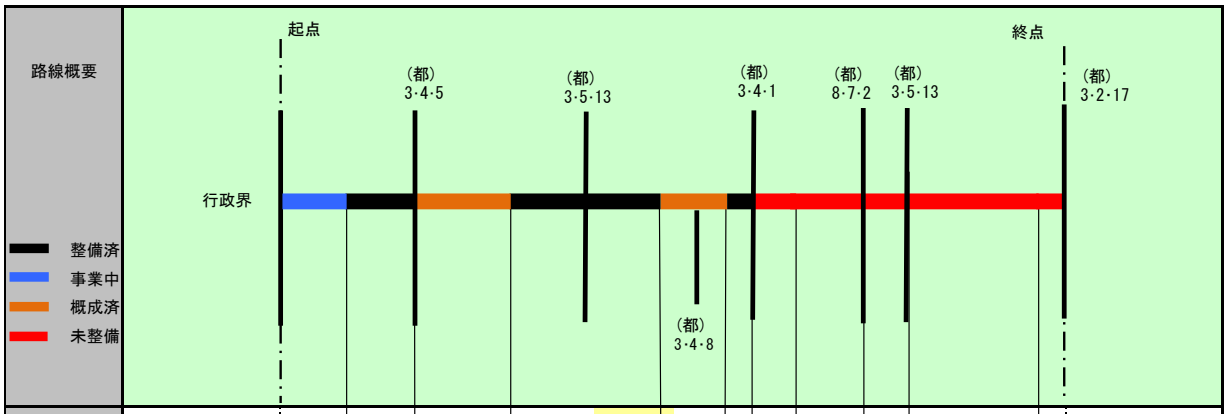
区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			2	事業中	530 m	16 m	2 車線	2	県	12 m	2 車線	完成形で整備中　現道あり　県道幕張八千代線　2車線　W=8m
②			1	整備済	540 m	16 m	2 車線			16 m	2 車線	
③			3	概成済	730 m	16 m	2 車線			10 m	2 車線	現道　市道八千代台北164号線　2車線　W=10m
④			1	整備済	1,110 m	16 m	2 車線			16 m	2 車線	
⑤			3	概成済	530 m	16 m	2 車線			8 m	2 車線	現道　市道高津東２号線 2車線 W=8m
⑥			1	整備済	208 m	16 m	2 車線			8 m	2 車線	
⑦			4	未整備	330 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり　市道大和田新田１号線 W=７m
⑧			4	未整備	430 m	16 m	2 車線			8 m	2 車線	現道　市道大和田新田１号線 2車線 W=8m
⑨			4	未整備	330 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり 市道大和田新田１号線 2車線 W=8m
⑩			4	未整備	890 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	現道なし 並行道路なし
⑪			4	未整備	192 m	12 m	2 車線			8 m	2 車線	現道　市道吉橋34号線　２車線　W=８m
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

合計	延　長	5,820 m	整備済延長	1,858 m	事業中延長	530 m	事業予定延長	1,260 m	未整備延長	2,172 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	31.9 %	（構成比）	9.1 %	（構成比）	21.6 %	（構成比）	37.3 %
	（区間数）	11 区間	（区間数）	3 区間	（区間数）	1 区間	（区間数）	2 区間	（区間数）	5 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ 3	無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

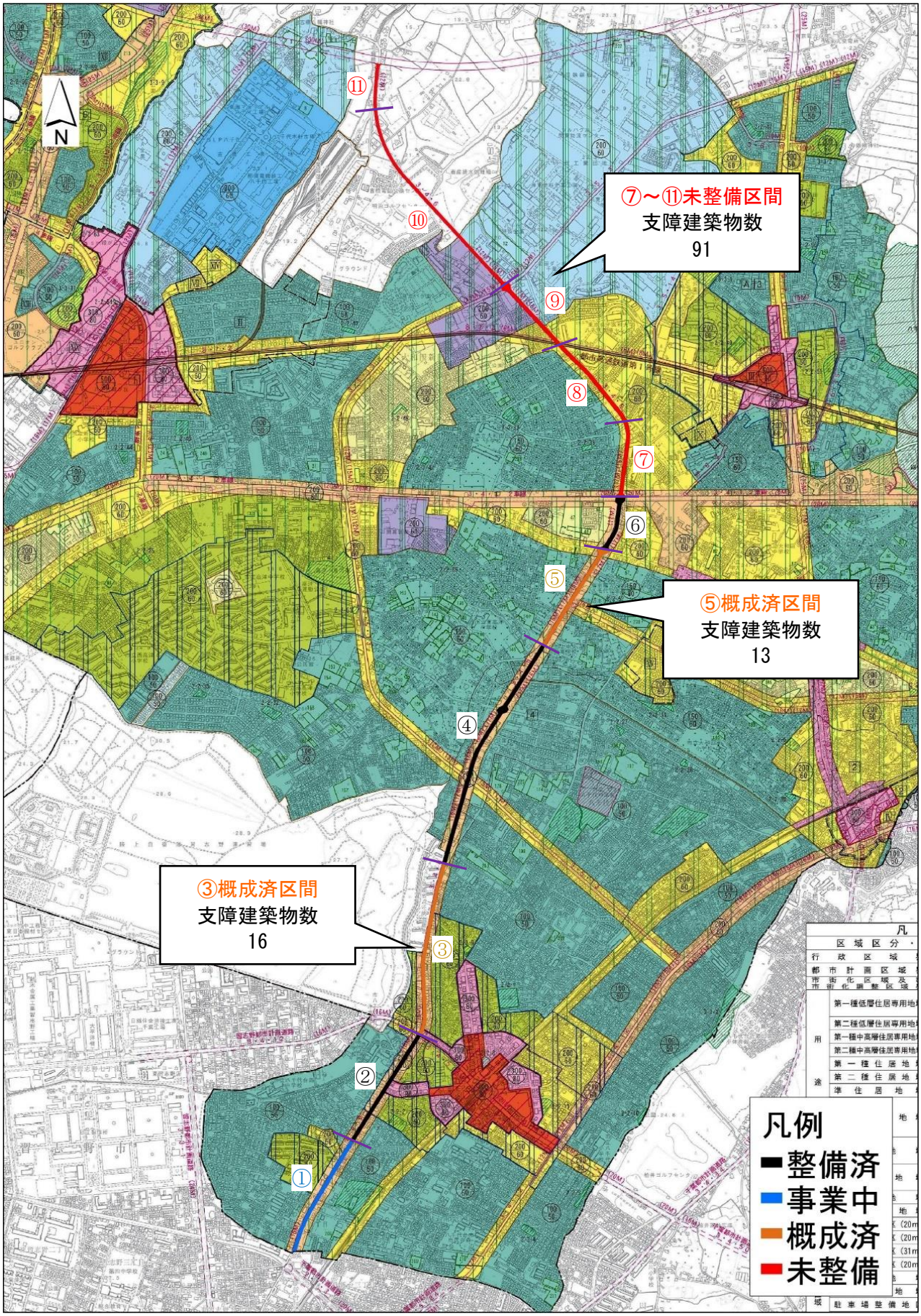
概　要　図

市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 6	路線名	八千代台花輪線



総延長（m）	5,820 m										
区間番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
整備状況	事業中	整備済	概成済	整備済	概成済	整備済	未整備	未整備	未整備	未整備	未整備
区間延長(m) 5,820 m	530	540	730	1,110	530	208	330	430	330	890	192
区間幅員（計画幅員）	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	12
計画車線数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
現道の状況 現道の有無	有	有	有	有	有	有	無	有	無	無	有
現道の状況 現道の幅員(m)	12	16	10	16	8	8	0	8	0	0	8
現道の状況 現道の車線数	2	2	2	2	2	2	0	2	0	0	2
現道の状況 事業主体											

＜位置図＞



② 3・4・6号八千代台花輪線

3・4・6 号八千代台花輪線⑦

3・4・6 号八千代台花輪線⑦は，低地を横断し，調整池を通過している。

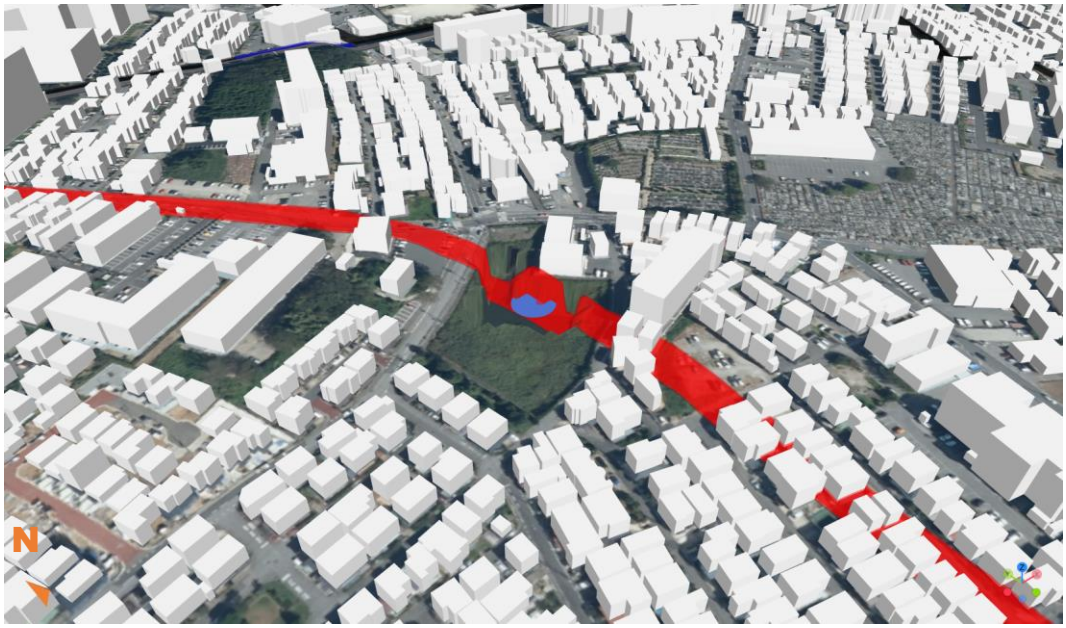


図　3・4・6 号八千代台花輪線⑦鳥観図

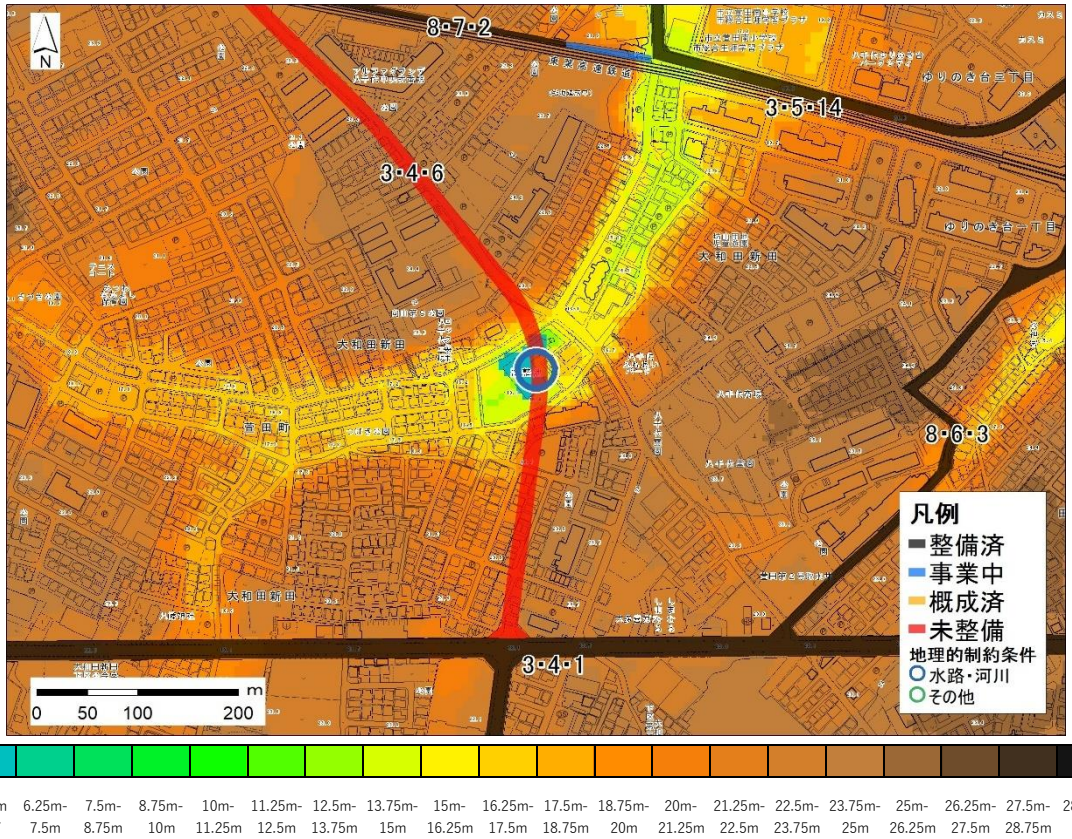


図　3・4・6 号八千代台花輪線⑦標高図

現計画での位置付けと現状	【都市幹線道路】 ・北側の一部区間を除き概ね市街化区域内にある。 ・北側の3・4・1号新木戸上高野原線との交差部以北は未整備である。 ・3・5・13号八千代台東萱田線との交差部以北は廃止の評価であるが、3・3・7号大和田駅前萱田線の整備目途が条件である。
必要性	・計画区間の北端の3・2・17号八千代中央線が整備される段階で、本路線が接続すれば南北方向の幹線道路網が充実し、八千代台駅へのアクセスも向上する。 ・南側の区間は、県道幕張・八千代線と重なり、武石インターや幕張方面との連絡機能を果たす重要路線である。
未整備区間の整備にあたっての課題	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・現道が有る区間と無い区間が混在している。支障建築物は、運輸・倉庫施設や軽工業施設、住宅などが立地している。

③　3・3・7号大和田駅前萱田線（整備進捗：無）

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	平成 6 年 10 月 3 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 3 ・ 7	路線名	大和田駅前萱田線	延長	3,750 m	標準幅員	25 m	車線数	2 車線

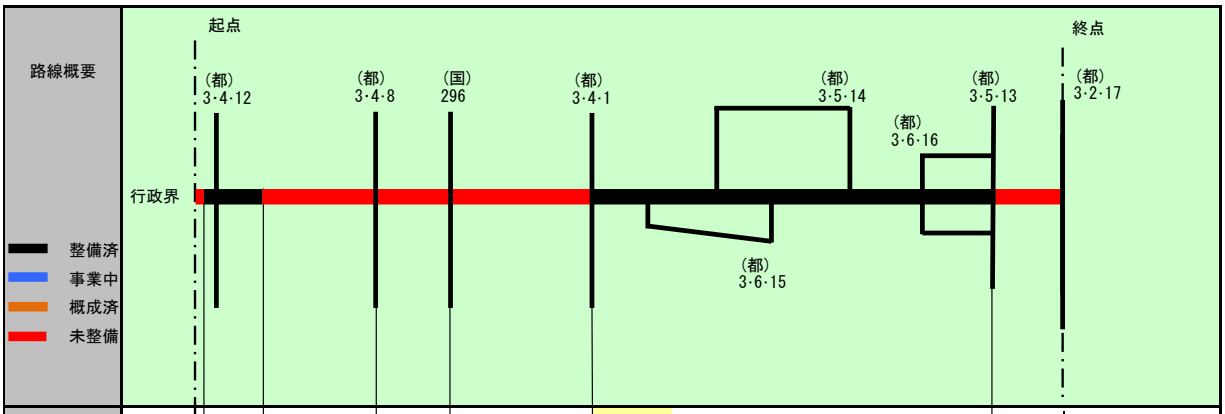
区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	40 m	16 m	2 車線			8 m	2 車線	現道　市道大和田1号　2車線　W=8m　A1区間
②			1	整備済	219 m	22 m	2 車線			22 m	2 車線	完成形で進行中　（ほぼ完成）
③-1	1		4	未整備	471 m	22 m	2 車線			8 m	2 車線	現道　県道大和田停車場　2車線　W=8m　B区間
③-2	2		4	未整備	330 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり　県道大和田停車場 W=8m B区間
④			4	未整備	550 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり　市道萱田町１号 W=8m B区間
⑤			1	整備済	1,800 m	25 m	2 車線			25 m	2 車線	
⑥			4	未整備	340 m	25 m	2 車線			0 m	0 車線	現道　市道大和田新田203号　W=8m　C区間
⑦					m	m	車線			m	車線	
⑧					m	m	車線			m	車線	
⑨					m	m	車線			m	車線	
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	

合計											
	延　長	3,750 m	整備済延長	2,019 m	事業中延長	0 m	事業予定延長	0 m	未整備延長	1,731 m
	(構成比)	100.0 %	(構成比)	53.8 %	(構成比)	0.0 %	(構成比)	0.0 %	(構成比)	46.2 %
	(区間数)	7 区間	(区間数)	2 区間	(区間数)	0 区間	(区間数)	0 区間	(区間数)	5 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	1	有	名称１	八千代駅北口交通広場	面積	6,100 ㎡	名称２		面積	㎡

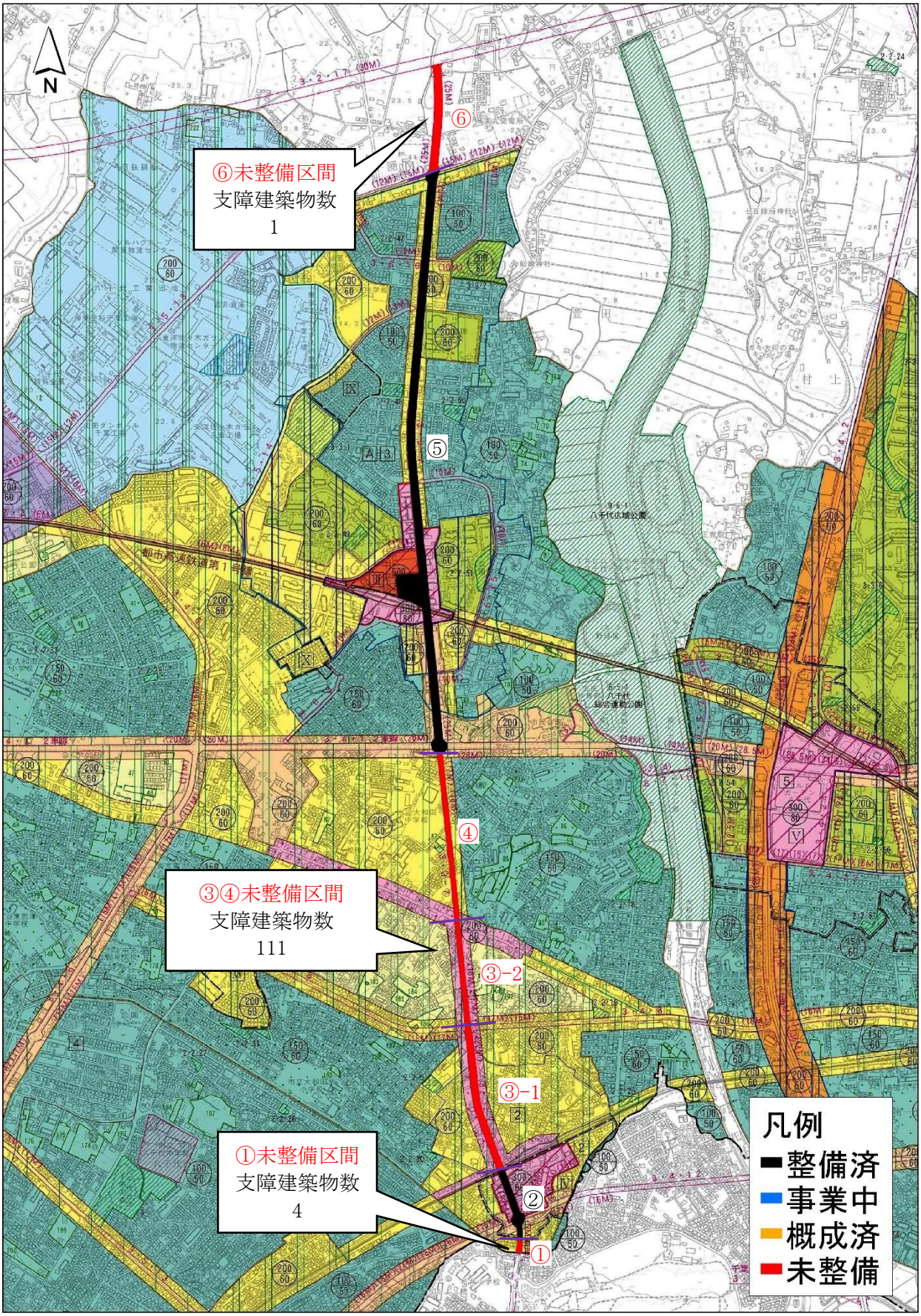
概　要　図

市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 3 ・ 7	路線名	大和田駅前萱田線



総延長（m）					3,750 m		
区間番号	①	②	③-1	③-2	④	⑤	⑥
整備状況	未整備	整備済	未整備	未整備	未整備	整備済	未整備
区間延長(m) 3,750 m	40	219	471	330	550	1,800	340
区間幅員（計画幅員）	16	22	22	16	16	25	25
計画車線数	2	2	2	2	2	2	2
現道の状況 現道の有無	有	有	有	無	無	有	無
現道の状況 現道の幅員(m)	8	22	8	0	0	25	0
現道の状況 現道の車線数	2	2	2	0	0	2	0
現道の状況 事業主体							

＜位置図＞


N
⑥未整備区間
支障建築物数
1
⑥
⑤
④
③④未整備区間
支障建築物数
111
③-2
③-1
①未整備区間
支障建築物数
4
②
①
凡例
整備済
事業中
概成済
未整備

3・3・7号大和田駅前萱田線①

3・3・7号大和田駅前萱田線①は千葉市との境界にある水路と接している。

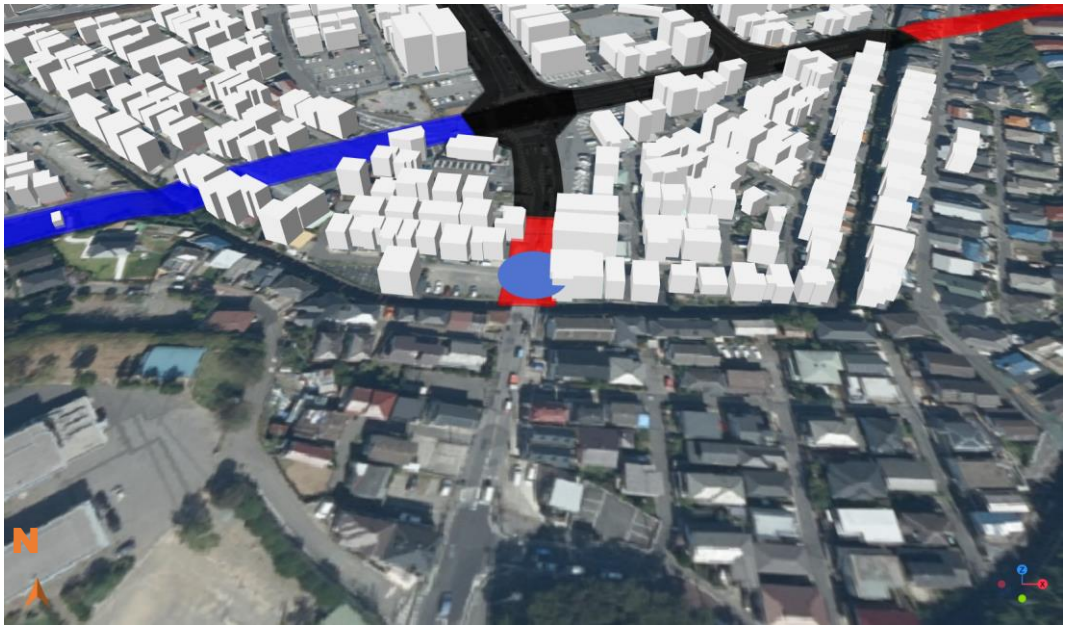


図　3・3・7号大和田駅前萱田線①鳥観図

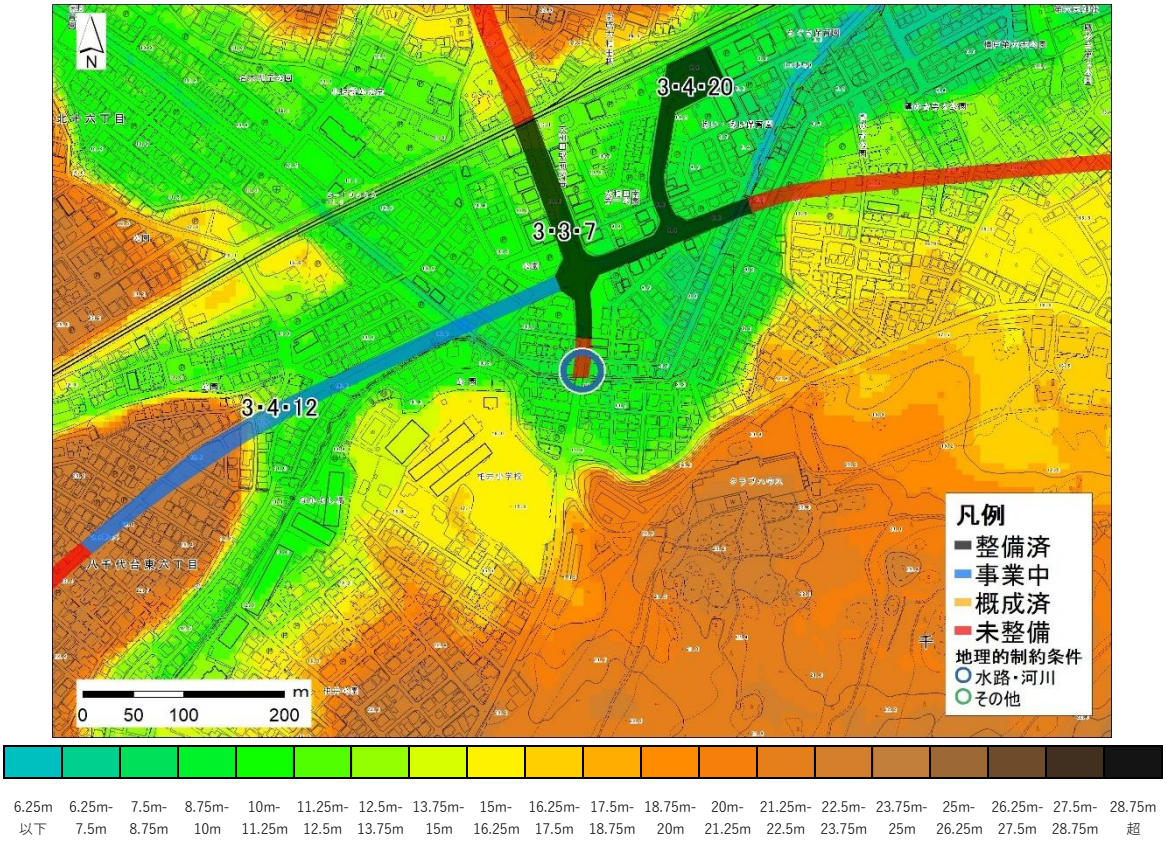


図　3・3・7号大和田駅前萱田線①標高図

3・3・7 号大和田駅前萱田線③-1

3・3・7 号大和田駅前萱田線③-1 は南から北へ台地斜面を登る勾配がある。

図　3・3・7 号大和田駅前萱田線③-1 鳥観図

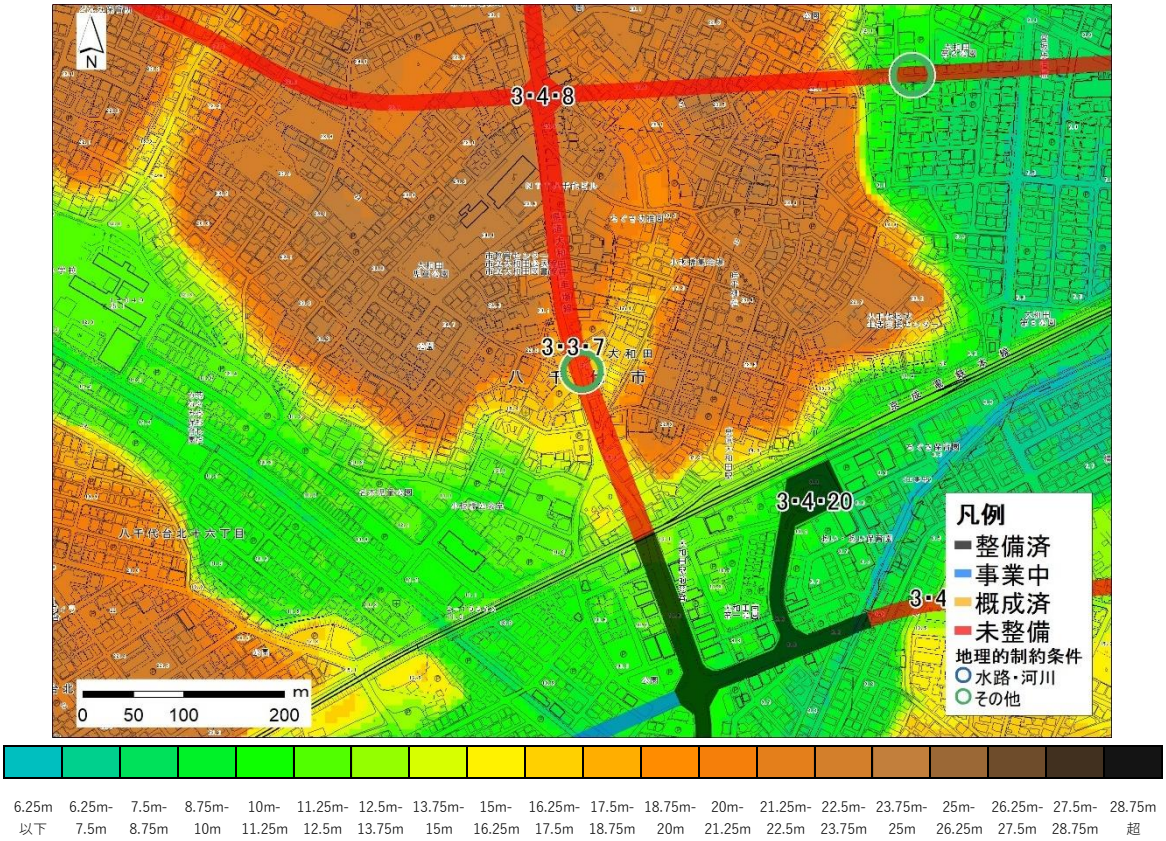


図　3・3・7 号大和田駅前萱田線③-1 標高図

3・3・7号大和田駅前萱田線④

3・3・7号大和田駅前萱田線④は低地を横断している。

図　3・3・7号大和田駅前萱田線④鳥観図

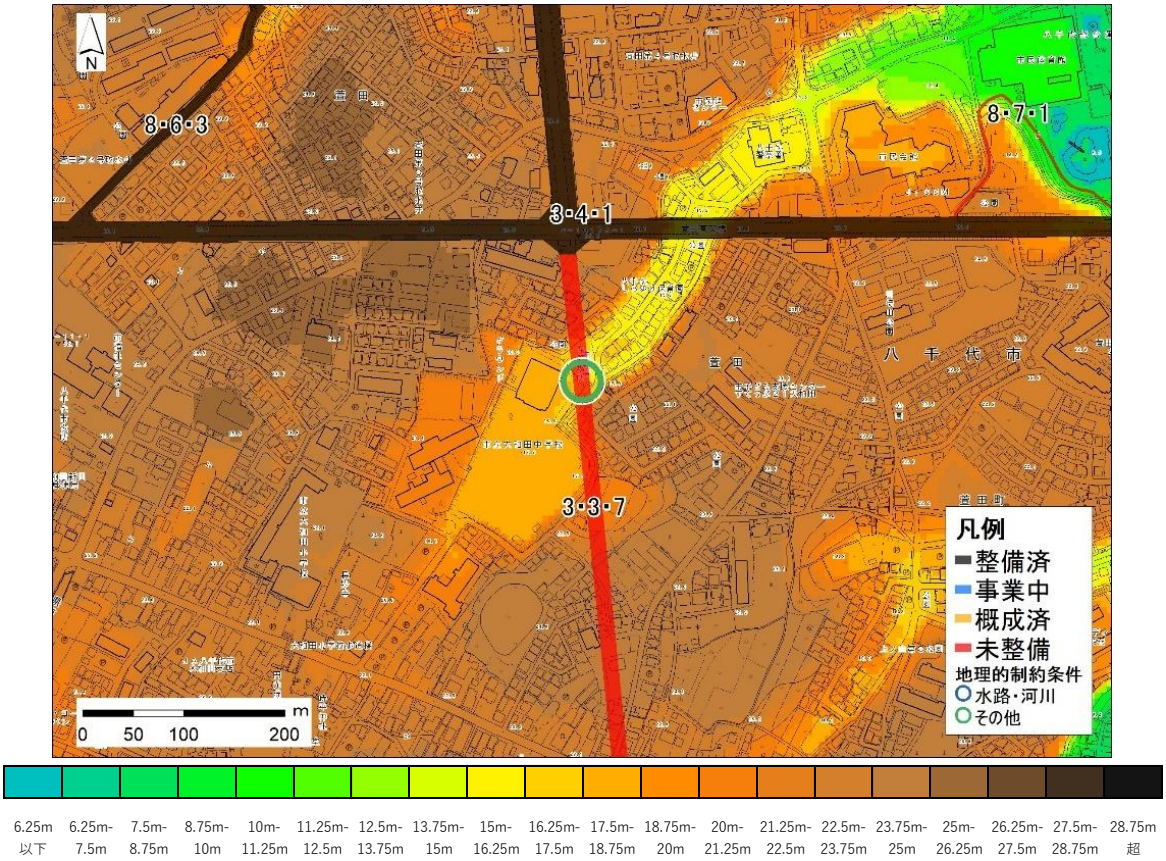


図　3・3・7号大和田駅前萱田線④標高図

3・3・7号大和田駅前萱田線⑥

3・3・7号大和田駅前萱田線⑥と3・2・17号八千代中央線が交差する箇所は低地に接している。

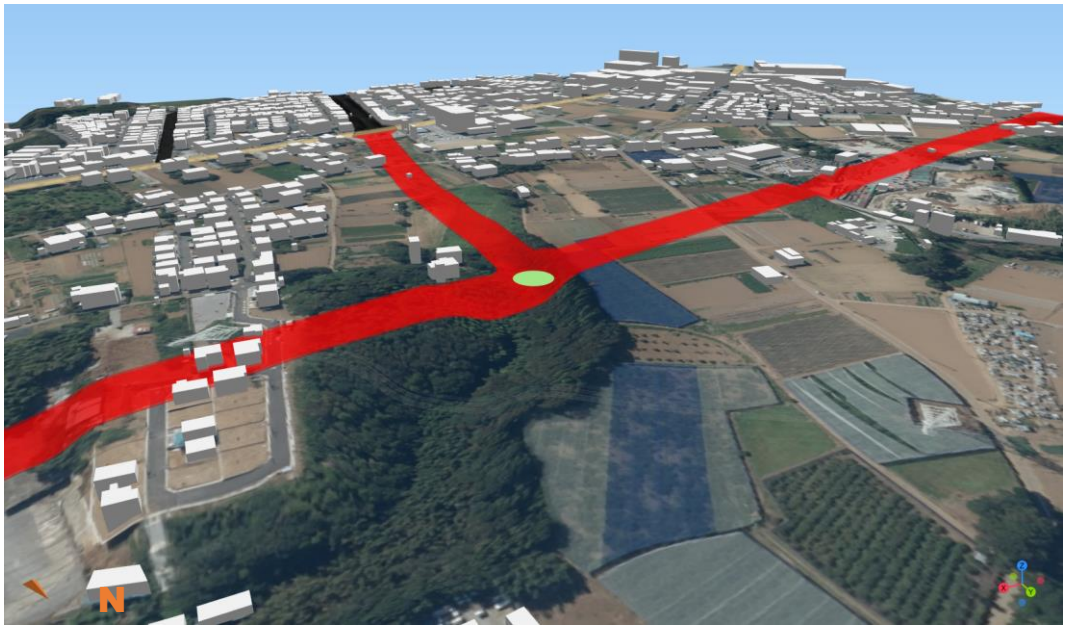


図　3・3・7号大和田駅前萱田線⑥鳥観図

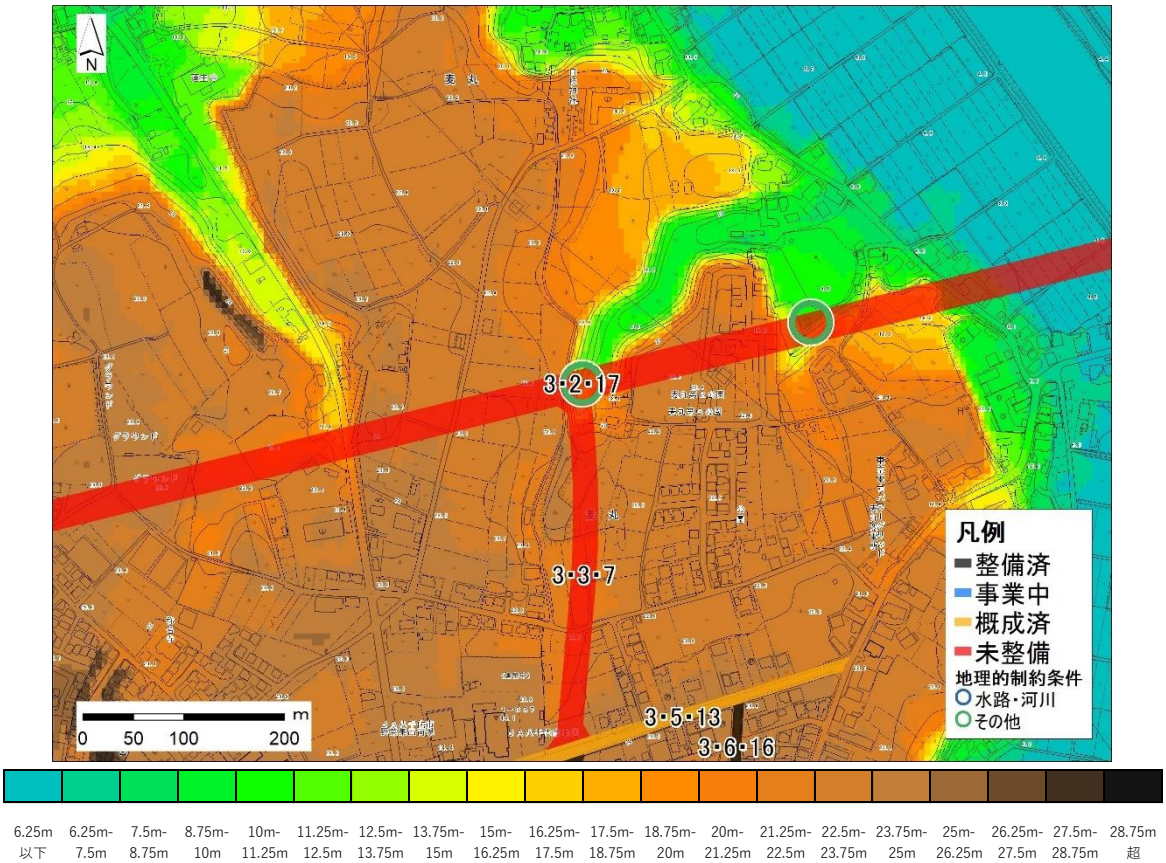


図　3・3・7号大和田駅前萱田線⑥標高図

現計画での位置付けと現状	【都市幹線道路】 ・北側の一部区間を除き市街化区域内にある。 ・区間①は行政界に接している。 ・南部の区間①及び区間③-1，③-2④，市街化区域外の区間⑥は未整備である。
必要性	・整備することにより、南北方向の幹線道路網が充実し、京成大和田駅から八千代中央駅へのアクセスも向上する。また、都市マスタープランで歩行者軸の整備の方針が示されている。 ・京成本線沿線まちづくりビジョンで整備の方向性が示されている。
未整備区間の整備にあたっての課題	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・区間①、区間③-1，③-2は現道を有しているが、沿道に住宅や業務施設が立地している。また、行政界に接していることから、市域外の道路との一体的な整備を考慮する必要がある。更に鉄道と交差している区間を有し、行政区域周辺で都市下水路や橋梁整備など大規模な構造物の整備を伴う可能性が高い。 ・区間⑥は現道が無く、支障建築物は１棟だが、3・2・17号八千代中央線の未整備区間と接続しており、一体的な整備が必要となる。

④　3・4・8号大和田新田下市場線（整備進捗：無）

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	平成 27 年 3 月 15 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 8	路線名	大和田新田下市場線	延長	2,870 m	標準幅員	16 m	車線数	2 車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	1,670 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり　国道296号　W=8m
②			4	未整備	630 m	16 m	2 車線			8 m	2 車線	現道　国道296号　２車線　W=8m
③			1	整備済	570 m	16 m	2 車線			16 m	2 車線	
④					m	m	車線			m	車線	
⑤					m	m	車線			m	車線	
⑥					m	m	車線			m	車線	
⑦					m	m	車線			m	車線	
⑧					m	m	車線			m	車線	
⑨					m	m	車線			m	車線	
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

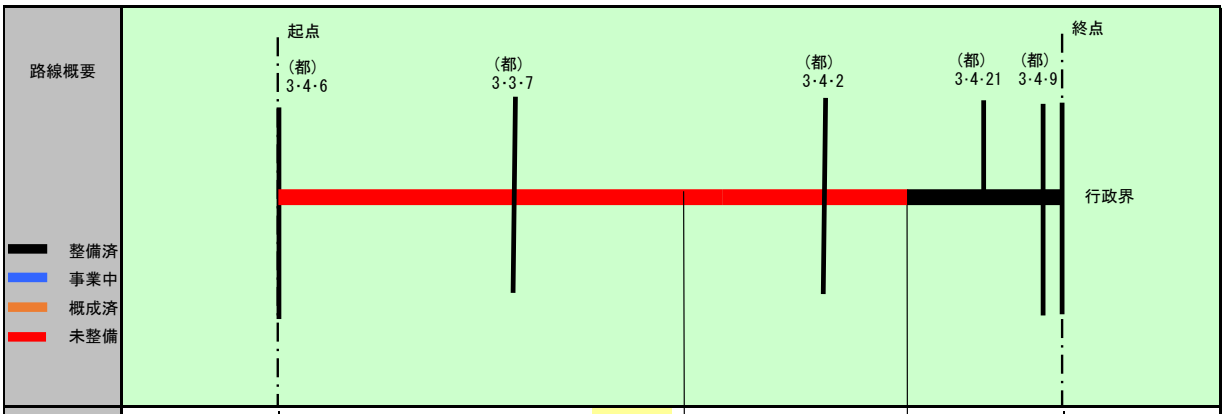
合計	延　長	2,870 m	整備済延長	570 m	事業中延長	0 m	事業予定延長	0 m	未整備延長	2,300 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	19.9 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	80.1 %
	（区間数）	3 区間	（区間数）	1 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	2 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	3	無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

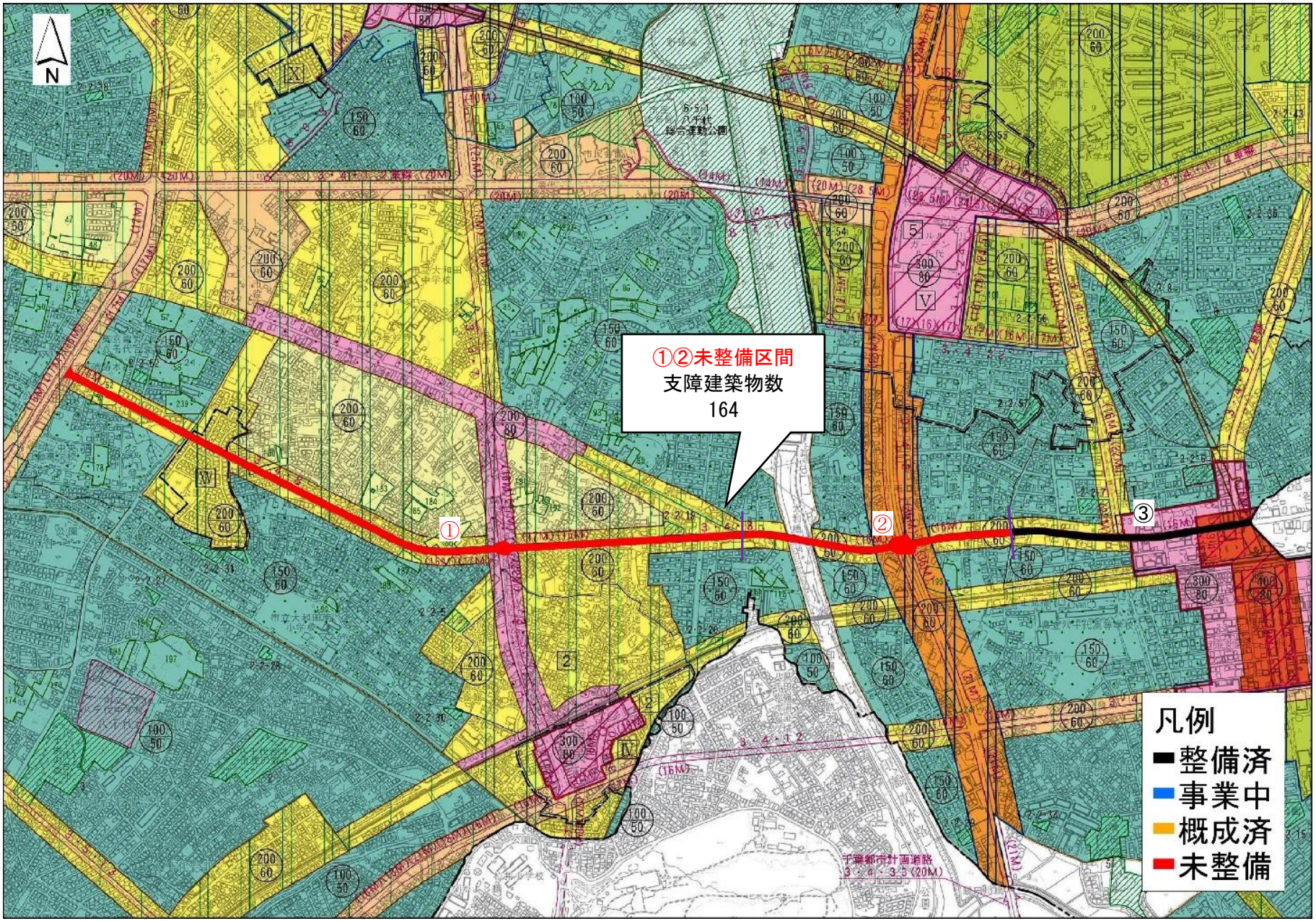
市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 8	路線名	大和田新田下市場線

路線概要



		①	②	③
総延長（m）	2,870 m			
区間番号		①	②	③
整備状況		未整備	未整備	整備済
区間延長（m） 2,870 m		1,670	630	570
区間幅員（計画幅員）		16	16	16
計画車線数		2	2	2
現道の状況 現道の有無		無	有	有
現道の状況 現道の幅員（m）		0	8	16
現道の状況 現道の車線数		0	2	2
現道の状況 事業主体				

＜位置図＞



④　3・4・8 号大和田新田下市場線

3・4・8 号大和田新田下市場線①

3・4・8 号大和田新田下市場線①には台地から花見川沿川の低地に至る斜面がある。

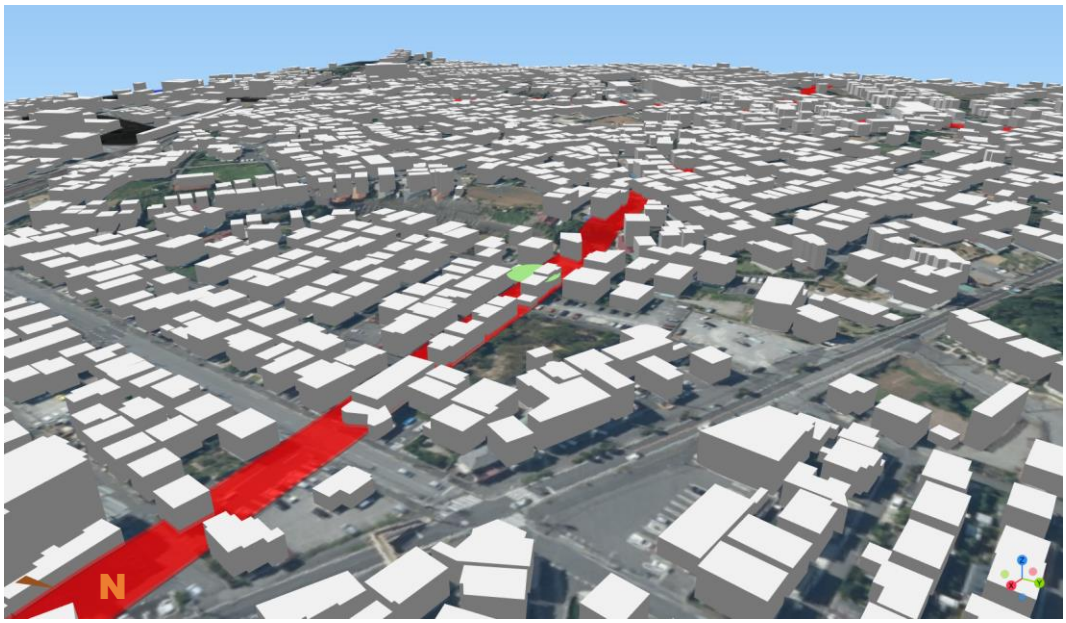


図　3・4・8 号大和田新田下市場線①鳥観図

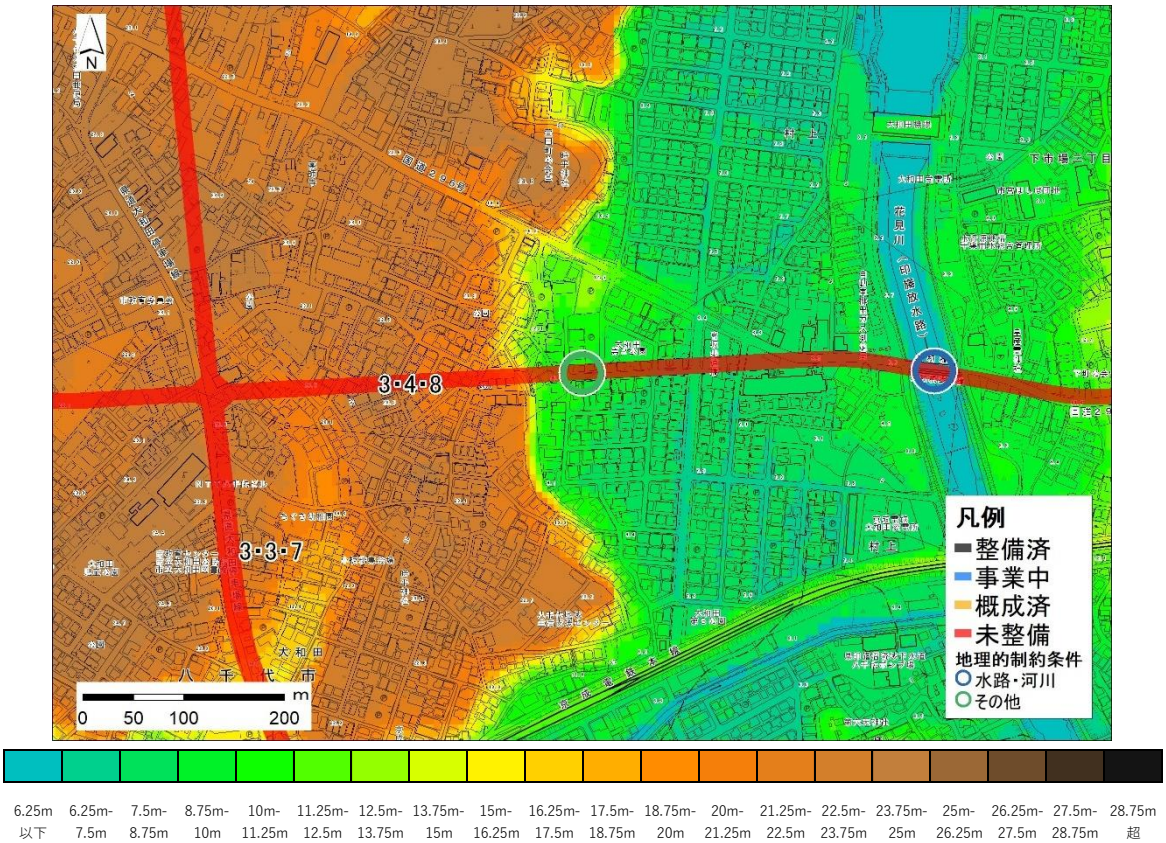


図　3・4・8 号大和田新田下市場線①標高図

3・4・8 号大和田新田下市場線②

3・4・8 号大和田新田下市場線②は花見川を横断する。

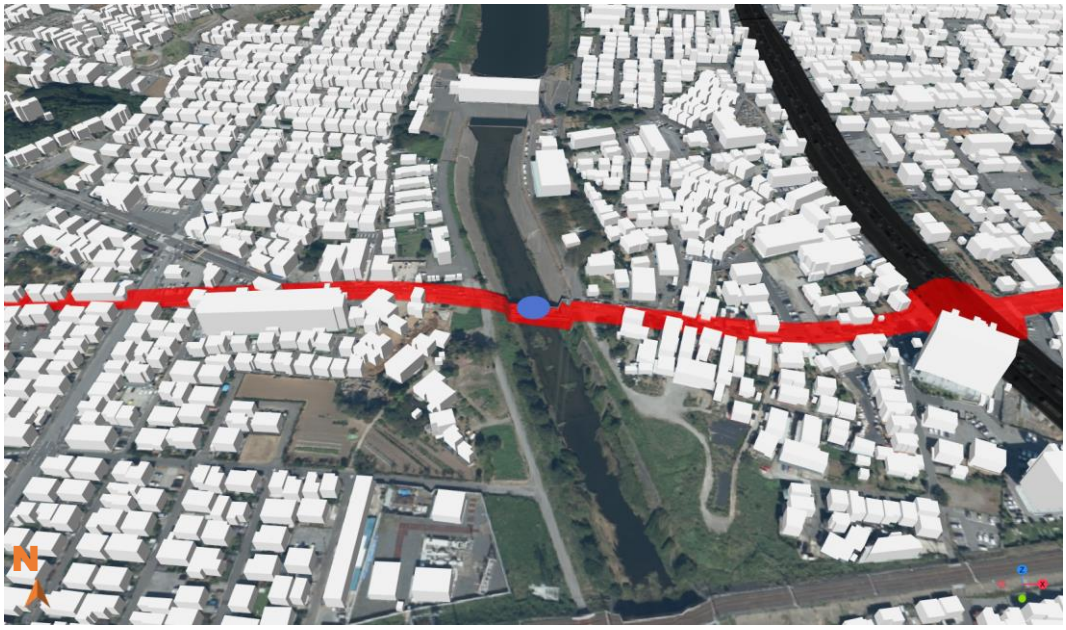


図　3・4・8 号大和田新田下市場線②鳥観図

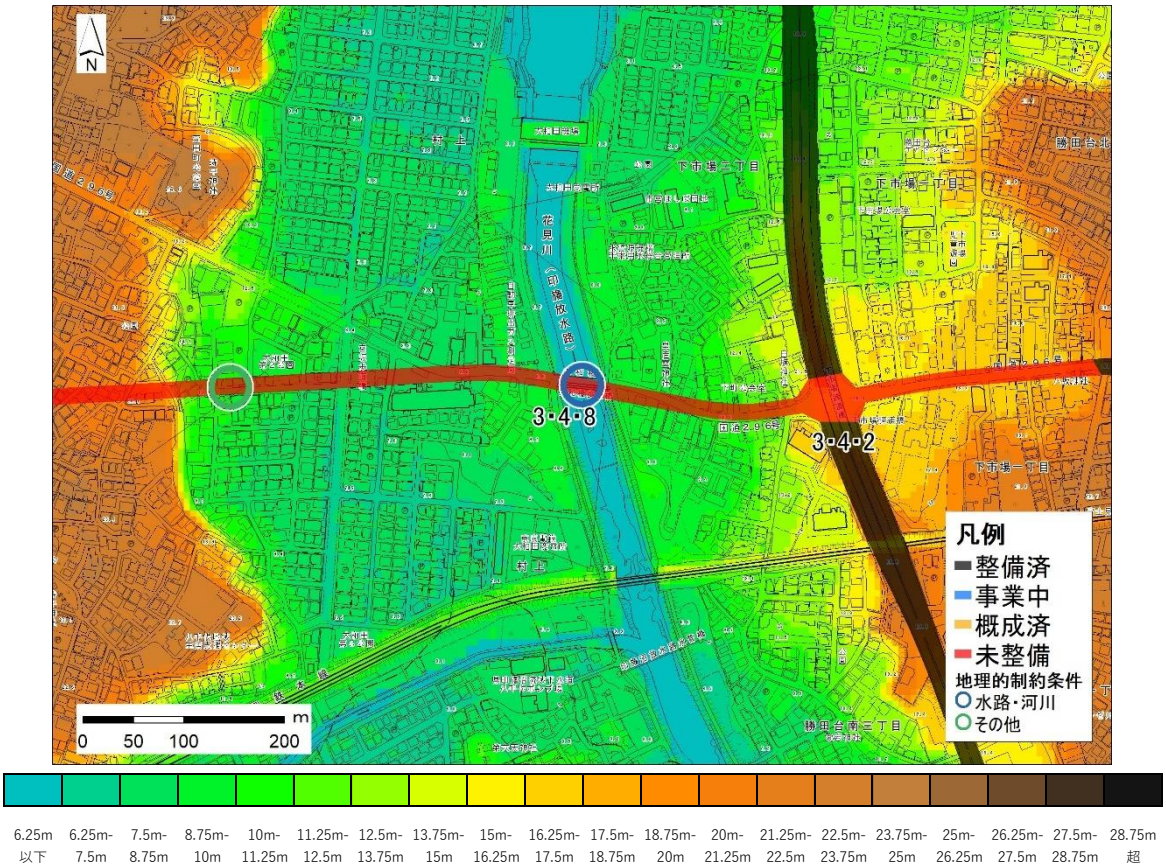


図　3・4・8 号大和田新田下市場線②標高図

現計画での位置付けと現状	【都市幹線道路】 ・新川付近の一部を除き、全区間が市街化区域内にある。 ・国道296号と重なる区間及びその以西は未整備である。 ・廃止の評価であるが国道296号の拡幅や3・2・17号八千代中央線の整備目途が条件である。
必要性	・国道296号や3・4・1号新木戸上高野原線が東西方向の交通動線として機能している。
未整備区間の整備にあたっての課題	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・現道が有る区間と無い区間が混在している。住宅や業務施設、商業施設などが立地している。また、現道として橋梁は設置されているが、橋梁整備など大規模な構造物の整備を伴う可能性が高い。

⑤　3・4・9号上高野工業団地線（整備進捗：無）

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	平成 27 年 3 月 15 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 9	路線名	上高野工業団地線	延長	4,920 m	標準幅員	16 m	車線数	2 車線

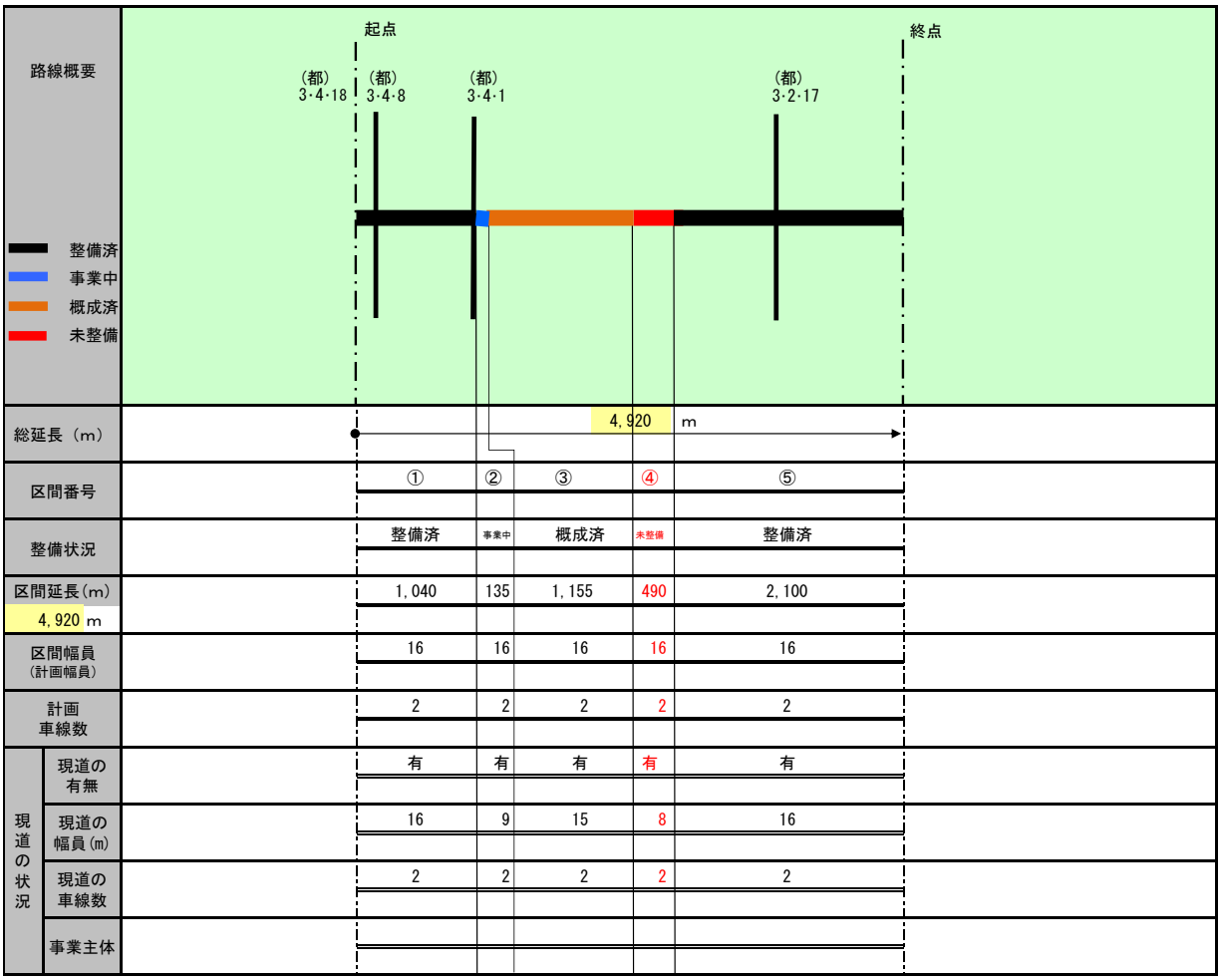
区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			1	整備済	1,040 m	16 m	2 車線			16 m	2 車線	
②			2	事業中	135 m	16 m	2 車線			9 m	2 車線	現道　市道勝田台北口下高野線　２車線 W=１５ｍ
③			3	概成済	1,155 m	16 m	2 車線			15 m	2 車線	現道　市道勝田台北口下高野線　２車線 W=１５ｍ
④			4	未整備	490 m	16 m	2 車線			8 m	2 車線	現道　市道勝田台北口下高野線　２車線 W=１５ｍ
⑤			1	整備済	2,100 m	16 m	2 車線			16 m	2 車線	
⑥					m	m	車線			m	車線	
⑦					m	m	車線			m	車線	
⑧					m	m	車線			m	車線	
⑨					m	m	車線			m	車線	
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

合計											
	延　長	4,920 m	整備済延長	3,140 m	事業中延長	135 m	事業予定延長	1,155 m	未整備延長	490 m
	(構成比)	100.0 %	(構成比)	63.8 %	(構成比)	2.7 %	(構成比)	23.5 %	(構成比)	10.0 %
	(区間数)	5 区間	(区間数)	2 区間	(区間数)	1 区間	(区間数)	1 区間	(区間数)	1 区間

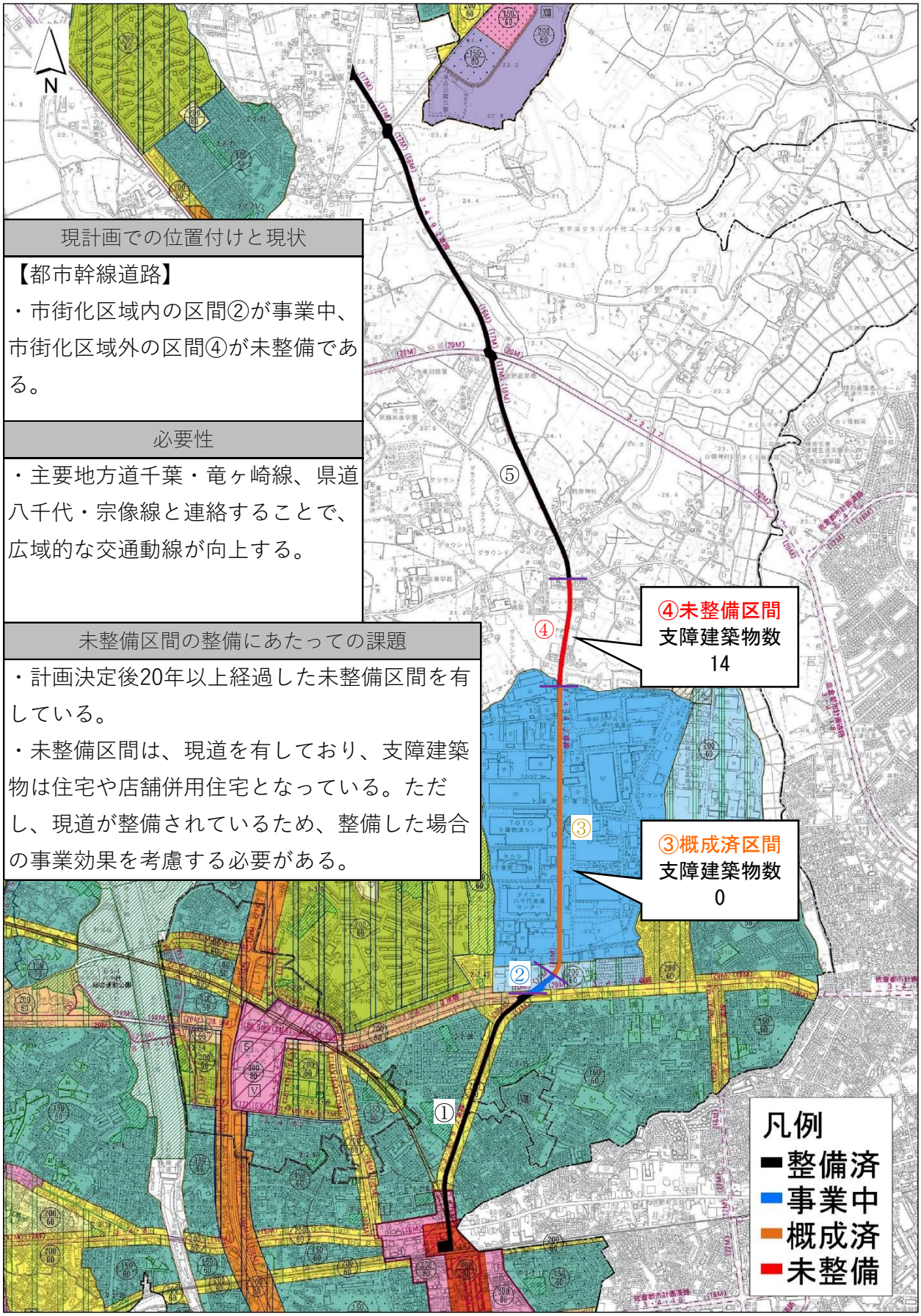
駅前広場	ｺｰﾄﾞ	1	有	名称１	勝田台駅北口交通広場	面積	3,000 ㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 9	路線名	上高野工業団地線



＜位置図＞



現計画での位置付けと現状
【都市幹線道路】 ・市街化区域内の区間②が事業中、市街化区域外の区間④が未整備である。

必要性
・主要地方道千葉・竜ヶ崎線、県道八千代・宗像線と連絡することで、広域的な交通動線が向上する。

未整備区間の整備にあたっての課題
・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・未整備区間は、現道を有しており、支障建築物は住宅や店舗併用住宅となっている。ただし、現道が整備されているため、整備した場合の事業効果を考慮する必要がある。

⑥　3・4・10号上高野佐倉線（整備進捗：無）

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	平成 27 年 3 月 15 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 10	路線名	上高野佐倉線	延長	380 m	標準幅員	16 m	車線数	2 車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	380 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし
②					m	m	車線			m	車線	
③					m	m	車線			m	車線	
④					m	m	車線			m	車線	
⑤					m	m	車線			m	車線	
⑥					m	m	車線			m	車線	
⑦					m	m	車線			m	車線	
⑧					m	m	車線			m	車線	
⑨					m	m	車線			m	車線	
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

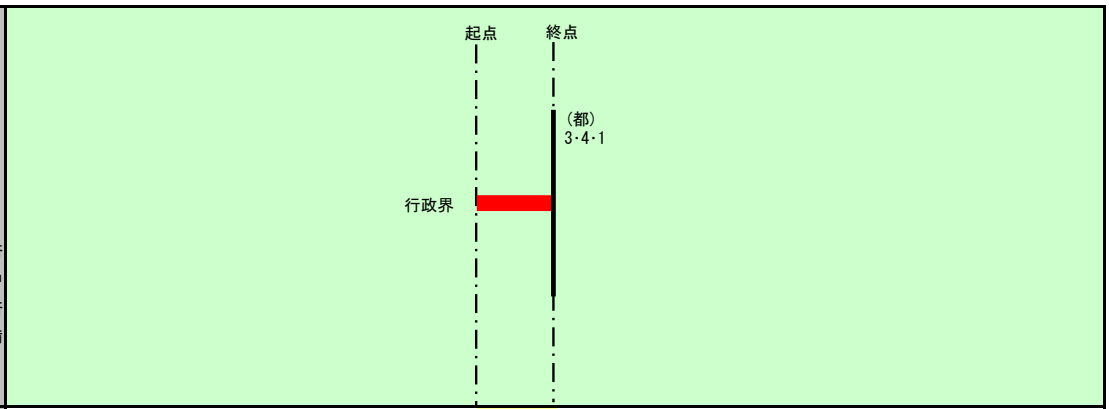
合計													
	延　長	380 m	整備済延長	0 m	事業中延長	0 m	事業予定延長	0 m	未整備延長	380 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	100.0 %
	（区間数）	1 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	1 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	3	無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

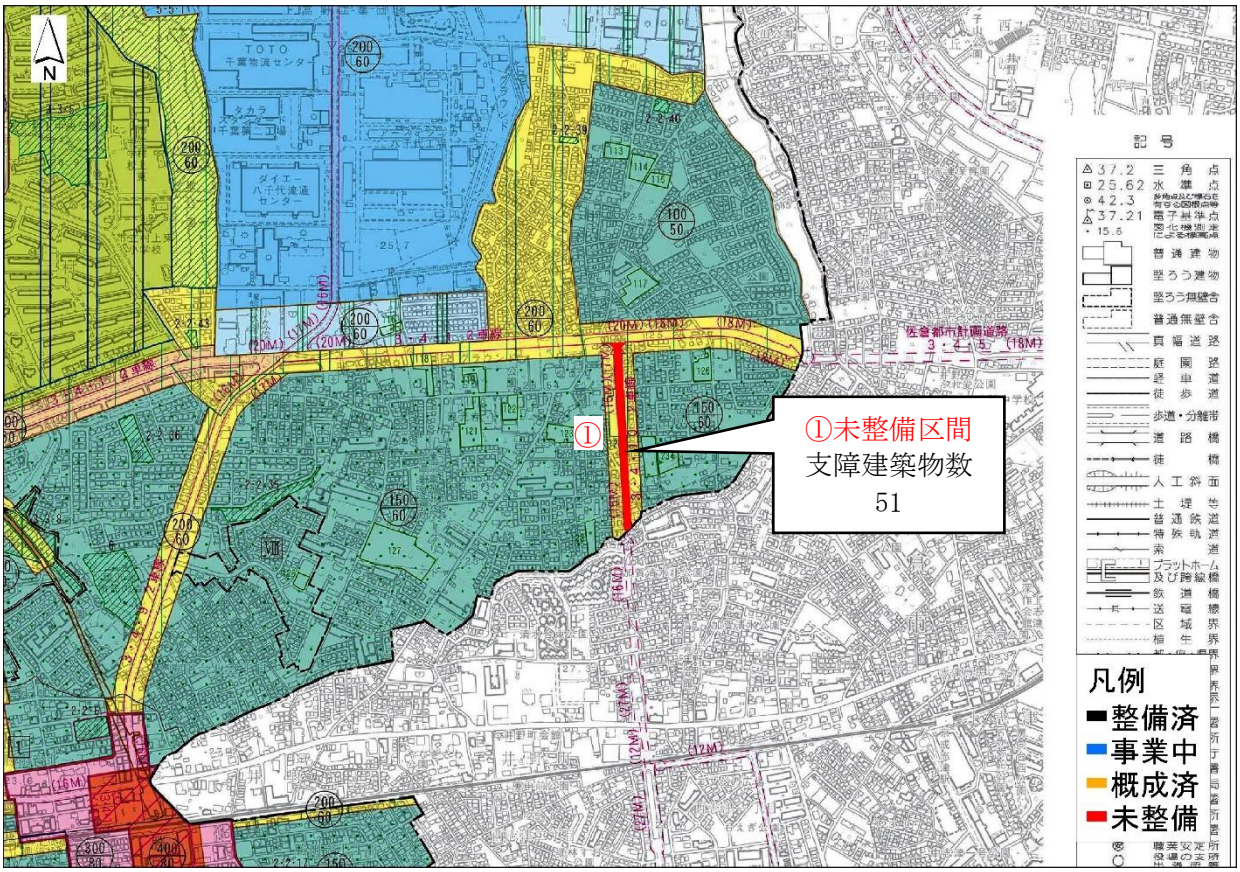
市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 10	路線名	上高野佐倉線

路線概要



総延長（m）		380 m
区間番号		①
整備状況		未整備
区間延長（m）380 m		380
区間幅員（計画幅員）		16
計画車線数		2
現道の状況	現道の有無	無
	現道の幅員（m）	0
	現道の車線数	0
	事業主体	

＜位置図＞



現計画での位置付けと現状	必要性	未整備区間の整備にあたっての課題
・全区間が市街化区域内にある。 ・全区間が未整備である。	・佐倉市との調整や要望により優先度は変わってくる。整備することによる事業効果は、八千代市より佐倉市の方が高いと想定される。	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・現道は無く、概ね住宅が立地している。 ・行政界と3・4・1号新木戸上高野原線の未整備区間に接していることから一体的な整備を考慮する必要がある。

⑦　3・5・11 号新木戸吉橋線（整備進捗：有（③））

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	令和 6 年 7 月 17 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 5 ・ 11	路線名	新木戸吉橋線	延長	2,250 m	標準幅員	12 m	車線数	2 車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	120 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし
②			3	概成済	359 m	16 m	2 車線			11 m	2 車線	現道　主要地方道船橋印西線　2車線　W=11m
③			1	整備済	520 m	16 m	2 車線	4	その他	11 m	2 車線	現道　主要地方道船橋印西線　2車線　W=11m
④			3	概成済	1,251 m	12 m	2 車線			11 m	2 車線	現道　主要地方道船橋印西線　2車線　W=11m
⑤					m	m	車線			m	車線	
⑥					m	m	車線			m	車線	
⑦					m	m	車線			m	車線	
⑧					m	m	車線			m	車線	
⑨					m	m	車線			m	車線	
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

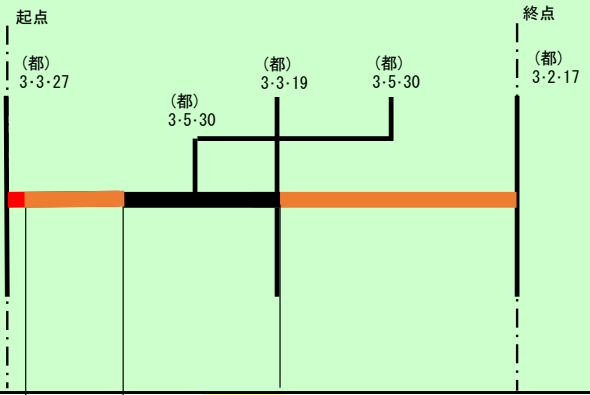
合計													
	延　長	2,250 m	整備済延長	520 m	事業中延長	0 m	事業予定延長	1,610 m	未整備延長	120 m
	(構成比)	100.0 %	(構成比)	23.1 %	(構成比)	0.0 %	(構成比)	71.6 %	(構成比)	5.3 %
	(区間数)	4 区間	(区間数)	1 区間	(区間数)	0 区間	(区間数)	2 区間	(区間数)	1 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	3	無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

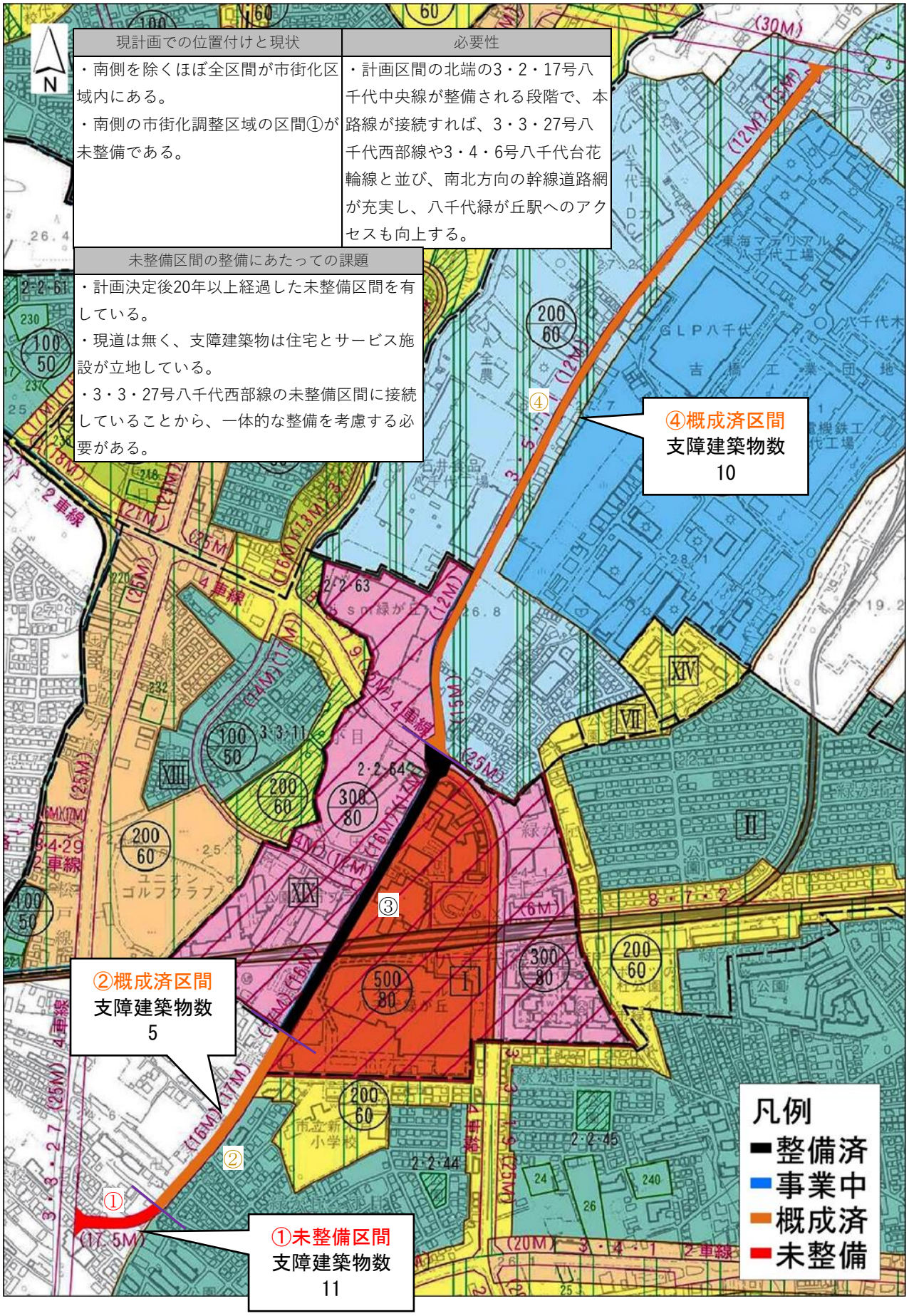
市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 5 ・ 11	路線名	新木戸吉橋線

路線概要



	①	②	③	④
総延長（m）	2,250 m			
区間番号	①	②	③	④
整備状況	未整備	概成済	整備済	概成済
区間延長(m) 2,250 m	120	359	520	1,251
区間幅員（計画幅員）	16	16	16	12
計画車線数	2	2	2	2
現道の状況　現道の有無	無	有	有	有
現道の状況　現道の幅員(m)	0	11	11	11
現道の状況　現道の車線数	0	2	2	2
現道の状況　事業主体				

＜位置図＞


現計画での位置付けと現状
・南側を除くほぼ全区間が市街化区域内にある。
・南側の市街化調整区域の区間①が未整備である。
必要性
・計画区間の北端の3・2・17号八千代中央線が整備される段階で、本路線が接続すれば、3・3・27号八千代西部線や3・4・6号八千代台花輪線と並び、南北方向の幹線道路網が充実し、八千代緑が丘駅へのアクセスも向上する。
未整備区間の整備にあたっての課題
・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。
・現道は無く、支障建築物は住宅とサービス施設が立地している。
・3・3・27号八千代西部線の未整備区間に接続していることから、一体的な整備を考慮する必要がある。
④概成済区間
支障建築物数
10
②概成済区間
支障建築物数
5
①未整備区間
支障建築物数
11
凡例
整備済
事業中
概成済
未整備

⑧　3・4・12号八千代台南勝田台線（整備進捗：無）

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	平成 27 年 3 月 15 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 12	路線名	八千代台南勝田台線	延長	4,420 m	標準幅員	16 m	車線数	2 車線

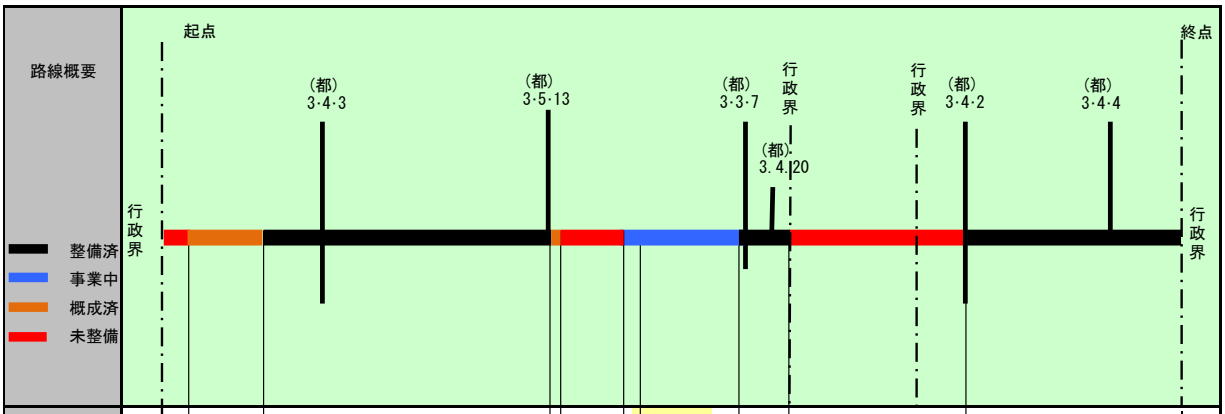
区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	120 m	12 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり　市道八千代台南1号線　W=8 A区間
②			3	概成済	278 m	12 m	2 車線			9 m	2 車線	現道 市道八千代台南1号線　2車線 W=9m
③			1	整備済	1,230 m	12 m	2 車線			12 m	2 車線	
④			3	概成済	29 m	16 m	2 車線			15 m	2 車線	現道あり　市道八千代台東2号 W=6m
⑤			4	未整備	288 m	16 m	2 車線			6 m	― 車線	現道あり　市道八千代台東2号 W=6m　B区間
⑥			2	事業中	120 m	16 m	2 車線	3	市	6 m	― 車線	完成形で整備中　現道あり　市道八千代台東2号　W=6m
⑦			2	事業中	405 m	16 m	2 車線	3	市	6 m	― 車線	完成形で整備中　現道あり　市道八千代台東2号　W=6m
⑧			1	整備済	190 m	16 m	2 車線			16 m	2 車線	
⑨			4	未整備	750 m	16 m	2 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし　C区間
⑩			1	整備済	1,010 m	16 m	2 車線			16 m	2 車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

合計	延　長	4,420 m	整備済延長	2,430 m	事業中延長	525 m	事業予定延長	307 m	未整備延長	1,158 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	55.0 %	（構成比）	11.9 %	（構成比）	6.9 %	（構成比）	26.2 %
	（区間数）	10 区間	（区間数）	3 区間	（区間数）	2 区間	（区間数）	2 区間	（区間数）	3 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	3	無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

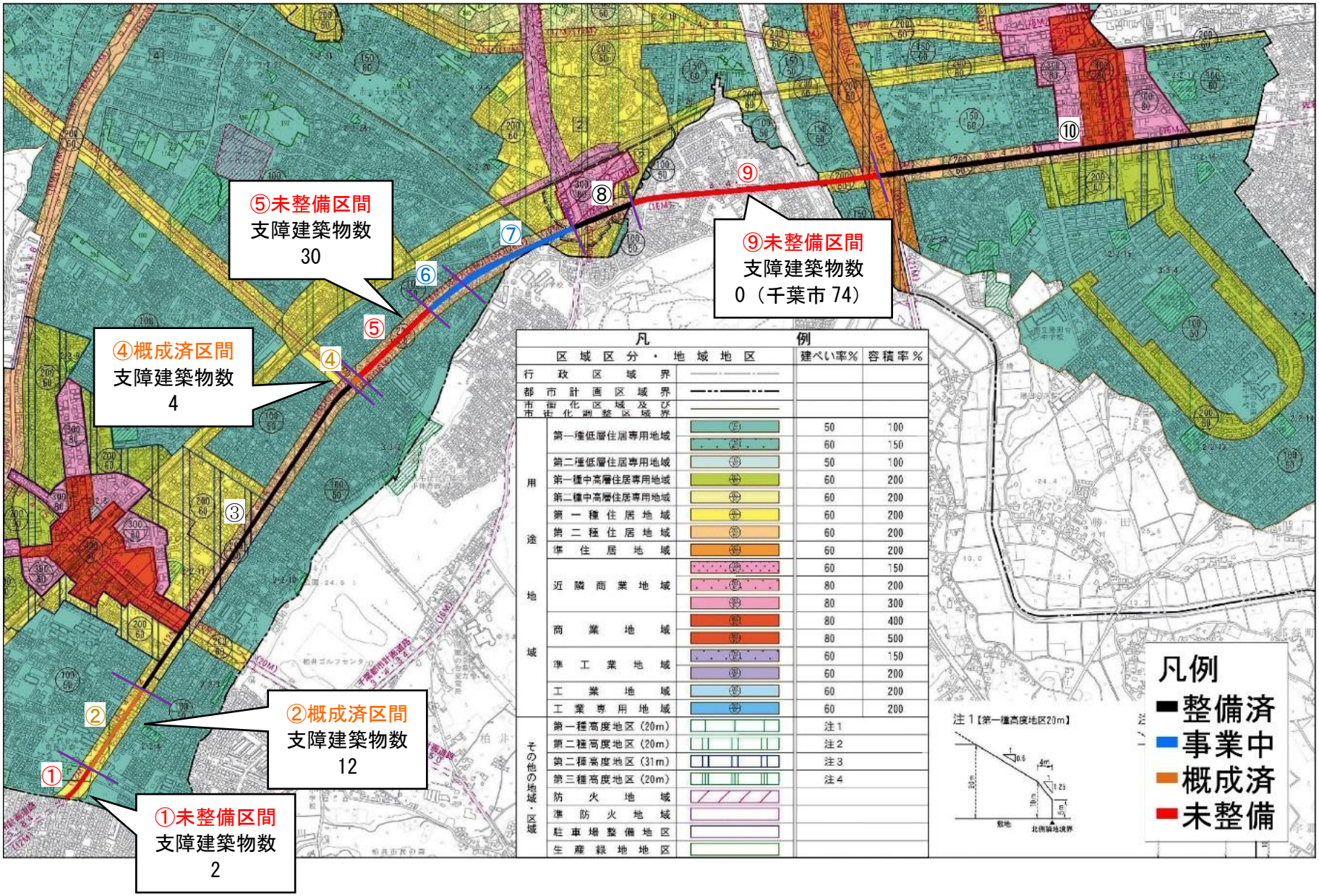
概　要　図

市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 4 ・ 12	路線名	八千代台南勝田台線



区間番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
整備状況	未整備	概成済	整備済	概成済	未整備	事業中	事業中	整備済	未整備	整備済
区間延長(m) 4,420 m	120	278	1,230	29	288	120	405	190	750	1,010
区間幅員（計画幅員）	12	12	12	16	16	16	16	16	16	16
計画車線数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
現道の状況 現道の有無	無	有	有	有	有	有	無	有	無	有
現道の状況 現道の幅員(m)	0	9	12	15	6	6	6	16	0	16
現道の状況 現道の車線数	0	2	2	2	－	－	－	2	0	2
現道の状況 事業主体										

＜位置図＞



⑧　3・4・12 号八千代台南勝田台線

3・4・12 号八千代台南勝田台線⑨

3・4・12 号八千代台南勝田台線⑨は花見川を横断する。

図　3・4・12 号八千代台南勝田台線⑨鳥観図

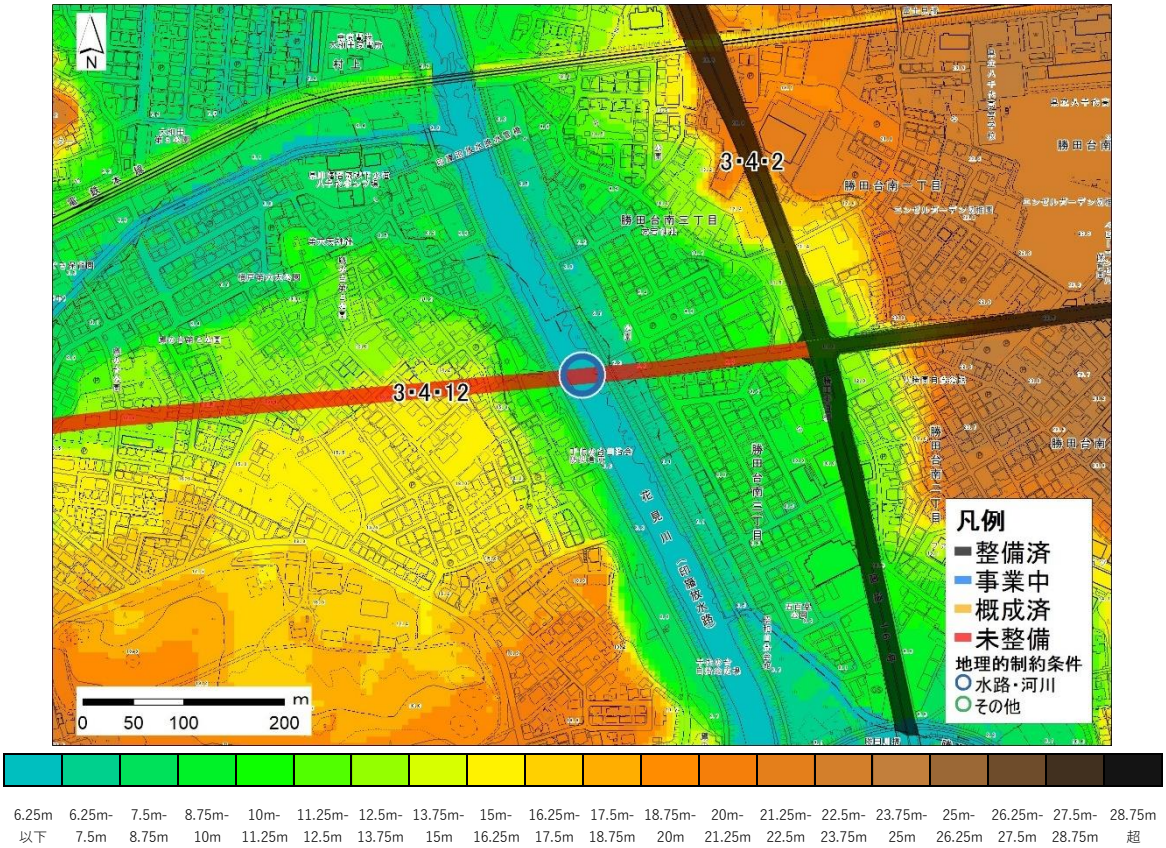


図　3・4・12 号八千代台南勝田台線⑨標高図

現計画での位置付けと現状	【都市幹線道路】 ・新川を除く全区間が市街化区域内にあるが、区間⑨は大部分が千葉市内となる。 ・市域内の区間①と区間⑤、市域外を含む区間⑨の３区間が未整備である。
必要性	・市の南部を東西に横断している交通動線の主軸であり、京成本線の八千代台駅・京成大和田駅・勝田台駅をつなぐ重要な路線である。 ・京成本線沿線まちづくりビジョンで整備の方向性が示されている。
未整備区間の整備にあたっての課題	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・区間①は現道は無く、行政界に接していることから市域外の道路との一体的な整備を考慮する必要がある。 ・区間⑤は現道を有していることから、多くの建築物等の移転を伴う可能性が低い。 ・市内の区間⑨は現道を有しているが、沿道に商業施設が立地している。また、河川を横断する路線であることから、橋梁整備などの大規模な構造物の整備を伴う可能性が高い。千葉市内は住宅等が立地しており、一体的な整備を考慮する必要がある。

⑨　3・5・13号八千代台東萱田線（整備進捗：無）

記入日	令和 6 年 10 月 24 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 5 ・ 13	路線名	八千代台東萱田線	延長	5,700 m	標準幅員	12 m	車線数	2 車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	803 m	12 m	2 車線			0 m	0 車線	現道なし　平行道路なし　A区間
②			1	整備済	1,790 m	12 m	2 車線			12 m	2 車線	
③			4	未整備	30 m	20 m	2 車線			10 m	2 車線	現道　国道296号　2車線　W=8m　B1区間
④			3	概成済	200 m	15 m	2 車線			10 m	2 車線	現道　市道八千代工業団地１号線　２車線 W=10m
⑤			4	未整備	100 m	12 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり　市道八千代工業団地１号線　２車線 W=12m　B2区間
⑥			4	未整備	100 m	12 m	2 車線			0 m	0 車線	並行道路あり　市道八千代工業団地１号線　２車線 W=12m　B2区間
⑦			3	概成済	2,677 m	12 m	2 車線			10 m	2 車線	現道　市道八千代工業団地１号線　２車線 W=10m
⑧					m	m	車線			m	車線	
⑨					m	m	車線			m	車線	
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

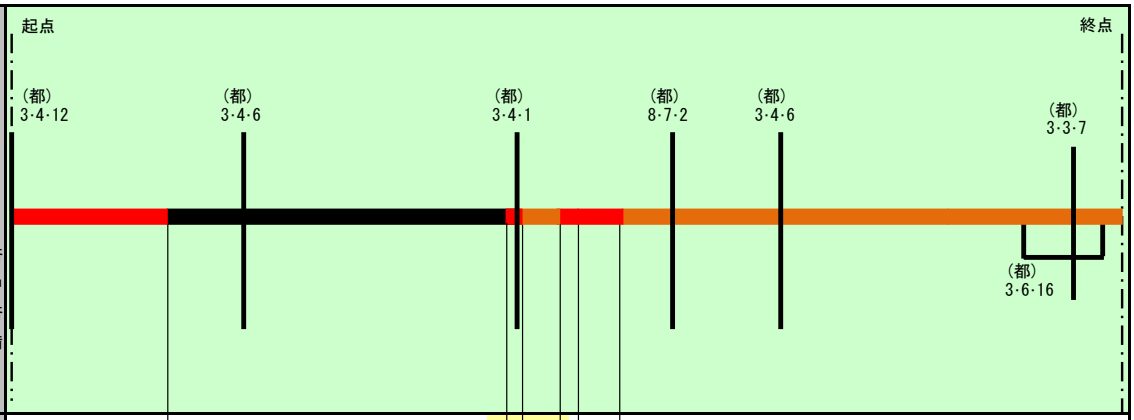
合計	延　長	5,700 m	整備済延長	1,790 m	事業中延長	0 m	事業予定延長	2,877 m	未整備延長	1,033 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	31.4 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	50.5 %	（構成比）	18.1 %
	（区間数）	7 区間	（区間数）	1 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	2 区間	（区間数）	4 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	3 無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

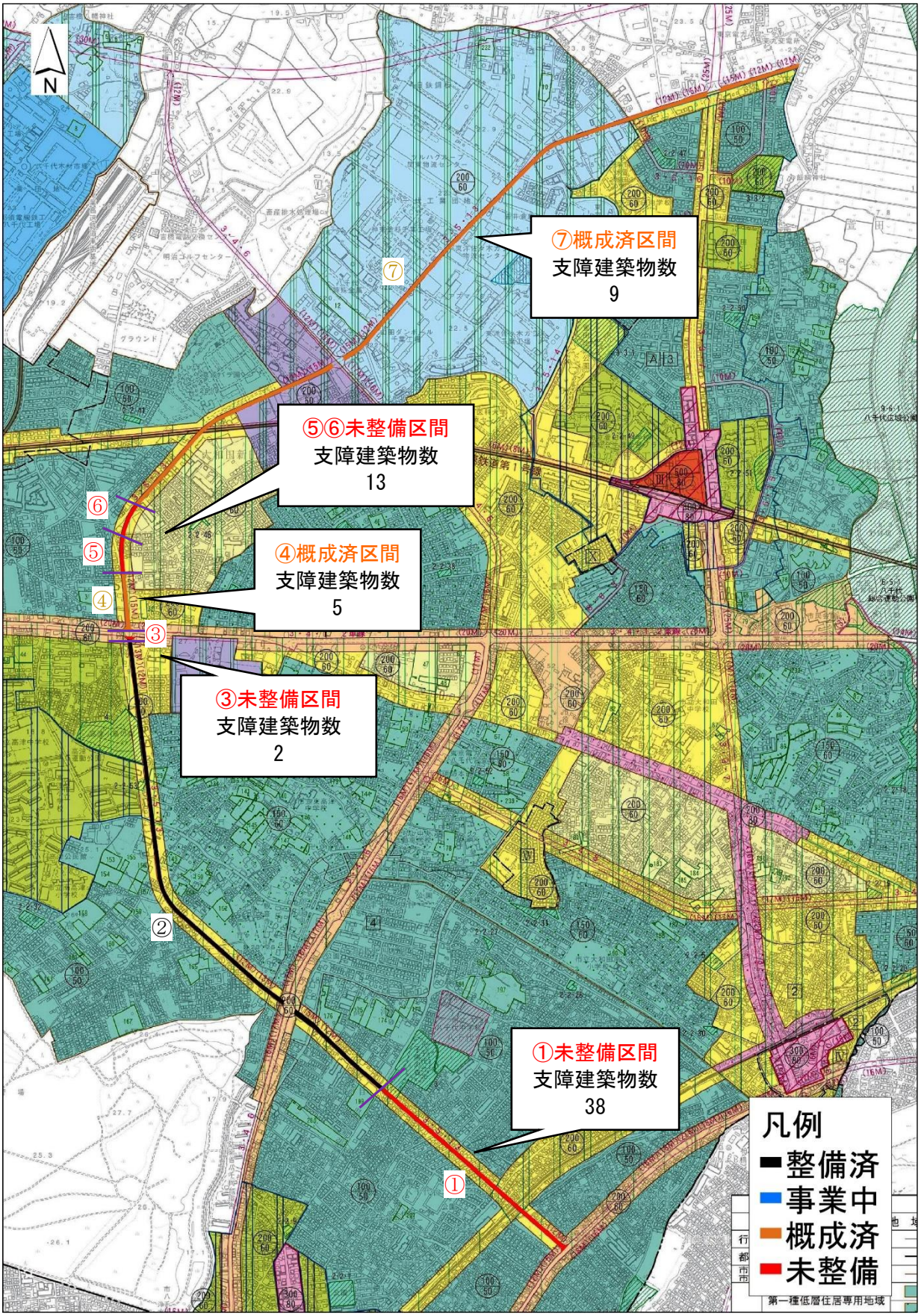
市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 5 ・ 13	路線名	八千代台東萱田線

路線概要



区間番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
総延長（m）			5,700 m				
整備状況	未整備	整備済	未整備	概成済	未整備	未整備	概成済
区間延長(m) 5,700 m	803	1,790	30	200	100	100	2,677
区間幅員（計画幅員）	12	12	20	15	12	12	12
計画車線数	2	2	2	2	2	2	2
現道の状況 現道の有無	無	有	有	有	無	無	有
現道の状況 現道の幅員(m)	0	12	10	10	0	0	10
現道の状況 現道の車線数	0	2	2	2	0	0	2
現道の状況 事業主体							

＜位置図＞

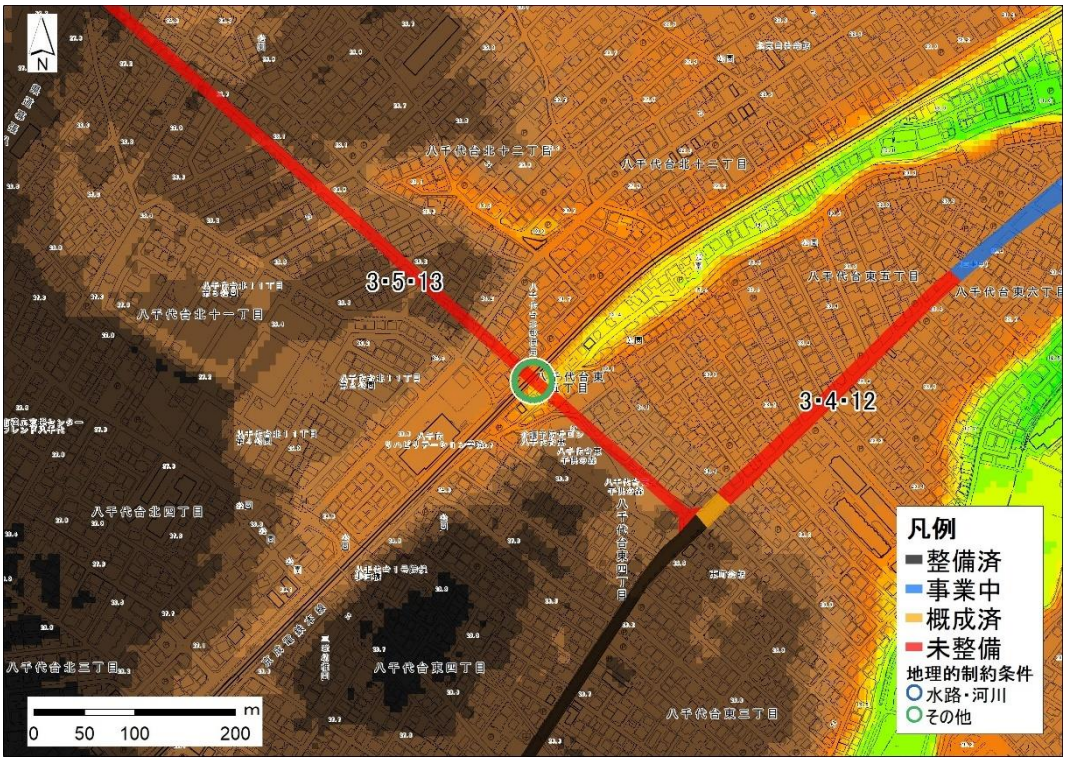


⑨　3・5・13 号八千代台東萱田線

3・5・13 号八千代台東萱田線①

3・5・13 号八千代台東萱田線①は京成本線と交差している。

図　3・5・13 号八千代台東萱田線①鳥観図



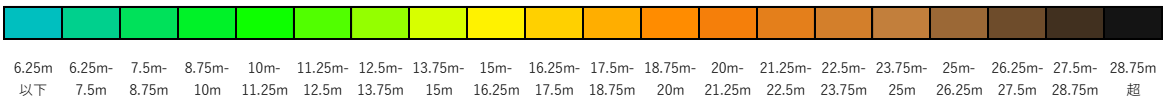


図　3・5・13 号八千代台東萱田線①標高図

現計画での位置付けと現状	・概ね全区間が市街化区域内にある。 ・南側の区間①と区間⑤の２区間が未整備である。
必要性	・京成本線と高架で交差し、市の南北動線を強化するほか、八千代中央駅や村上駅周辺の市街地を環状に結ぶ軸線の一部を形成することから、比較的整備効果が高い路線であると考えられる。
未整備区間の整備にあたっての課題	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・区間①は現道が無く、主に住宅が立地している。また、鉄道と交差している区間を有するため、立体交差整備などの大規模な構造物の整備を伴う可能性が高い。 ・区間⑤は現道か平行道路を有しており、整備した場合の事業効果を考慮する必要がある。支障建築物は住宅や業務施設が立地している。

⑩　3・2・17 号八千代中央線（整備進捗：有（②，④））

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	令和 6 年 10 月 16 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 2 ・ 17	路線名	八千代中央線	延長	7,200 m	標準幅員	30 m	車線数	4 車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	130 m	30 m	4 車線			0 m	0 車線	現道あり　並行道路なし　A区間
②			1	整備済	710 m	30 m	4 車線			20 m	2 車線	
③			4	未整備	240 m	38 m	4 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし　B区間
④			1	整備済	75 m	30 m	4 車線			20 m	2 車線	
⑤			4	未整備	143 m	38 m	4 車線			0 m	0 車線	C区間
⑥			4	未整備	3,702 m	30 m	4 車線			0 m	0 車線	C区間
⑦			1	整備済	700 m	20 m	2 車線			20 m	2 車線	
⑧			2	事業中	1,500 m	20 m	2 車線			0 m	0 車線	完成形で整備中　現道なし　並行道路なし
⑨					m	m	車線			m	車線	
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

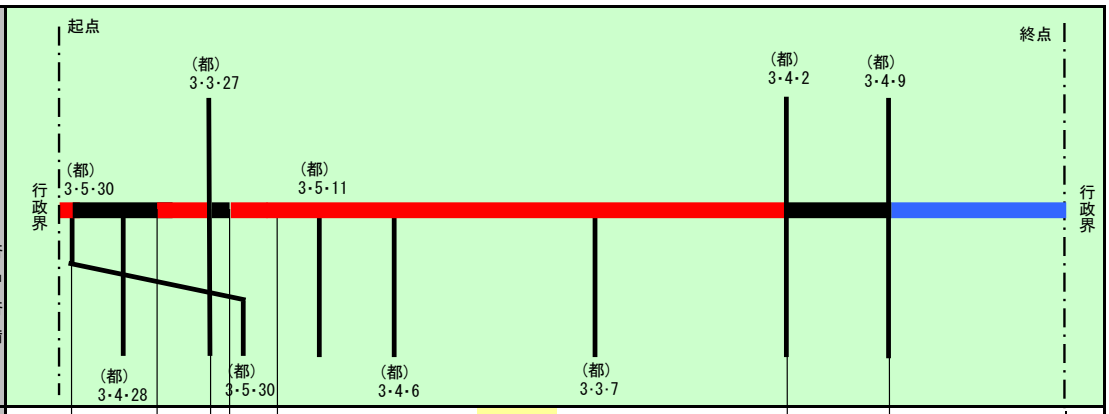
合計	延　長	7,200 m	整備済延長	1,485 m	事業中延長	1,500 m	事業予定延長	0 m	未整備延長	4,215 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	20.6 %	（構成比）	20.8 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	58.5 %
	（区間数）	8 区間	（区間数）	3 区間	（区間数）	1 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	4 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	3	無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

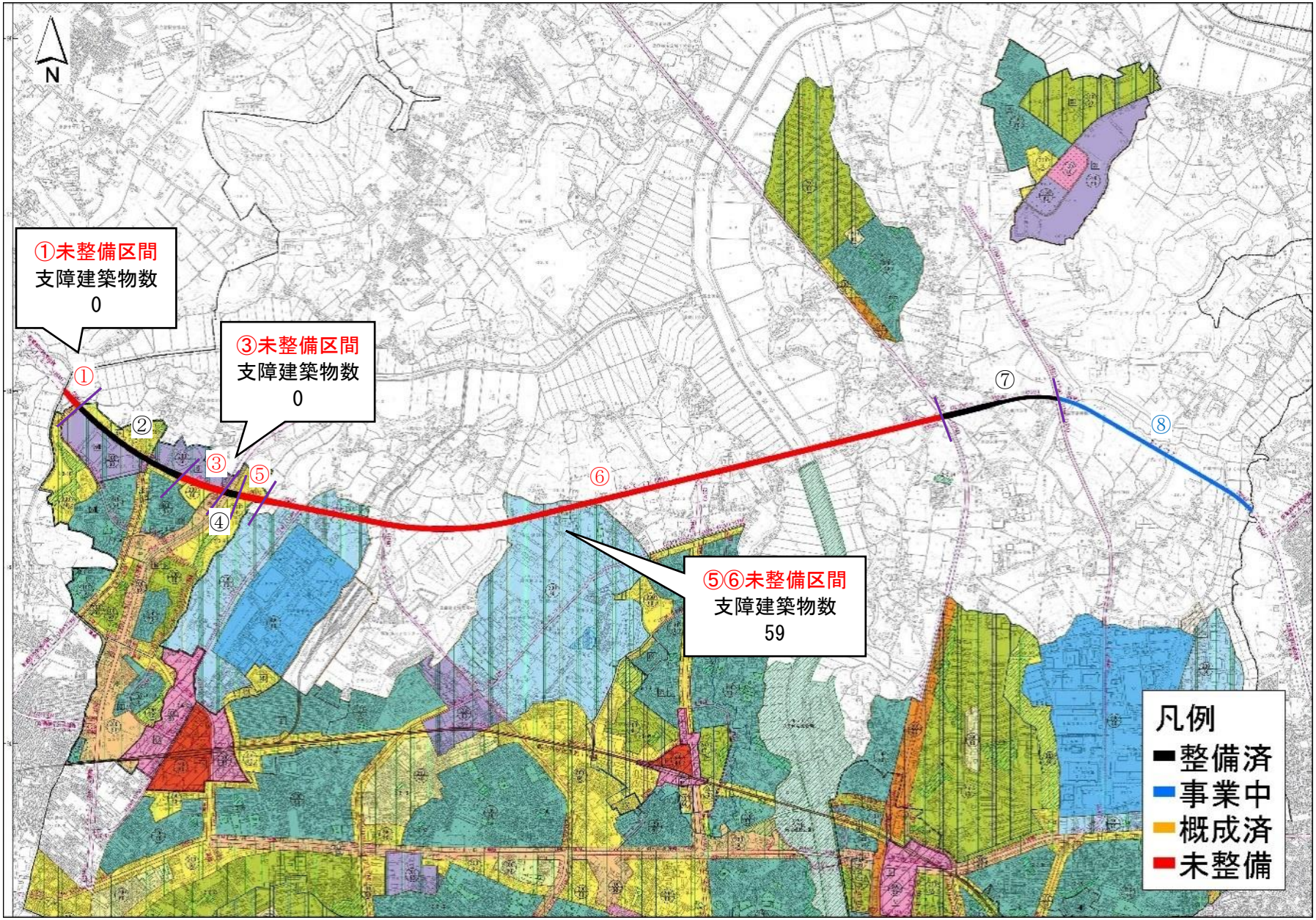
市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 2 ・ 17	路線名	八千代中央線

路線概要



		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
総延長（m）		7,200 m							
区間番号		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
整備状況		未整備	整備済	未整備	整備済	未整備	未整備	整備済	事業中
区間延長(m)		130	710	240	75	143	3,702	700	1,500
7,200 m									
区間幅員（計画幅員）		30	30	38	30	38	30	20	20
計画車線数		4	4	4	4	4	4	2	2
現道の状況	現道の有無	無	有	無	有	無	無	有	無
	現道の幅員(m)	0	20	0	20	0	0	20	0
	現道の車線数	0	2	0	2	0	0	2	0
	事業主体								

＜位置図＞



⑩　3・2・17 号八千代中央線

3・2・17 号八千代中央線①

3・2・17 号八千代中央線①は船橋市との境界で桑納川に接している。

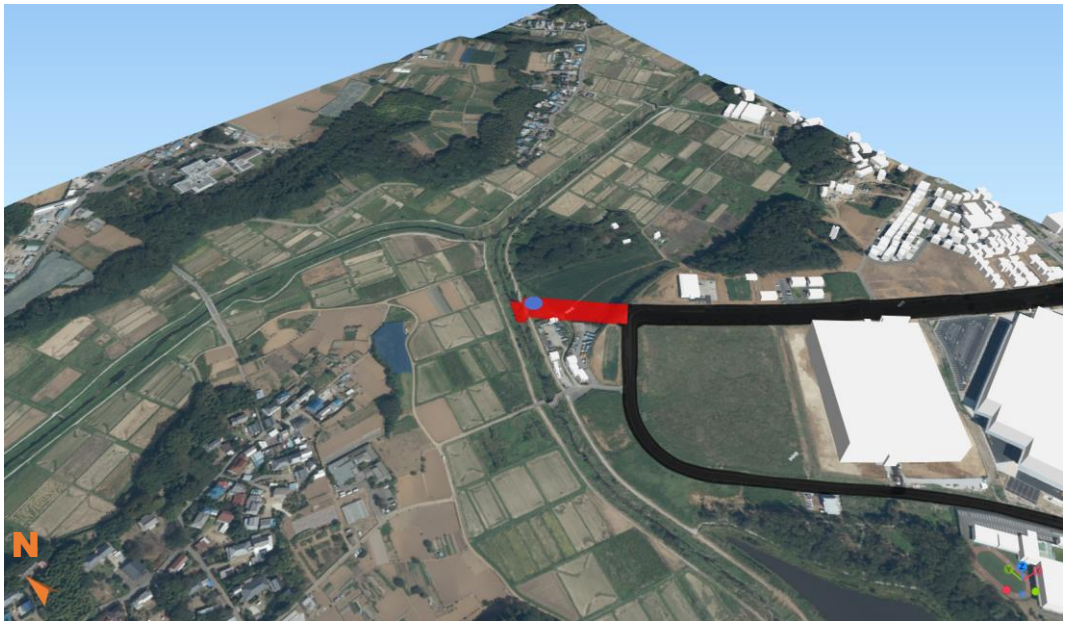


図　3・2・17 号八千代中央線①鳥観図

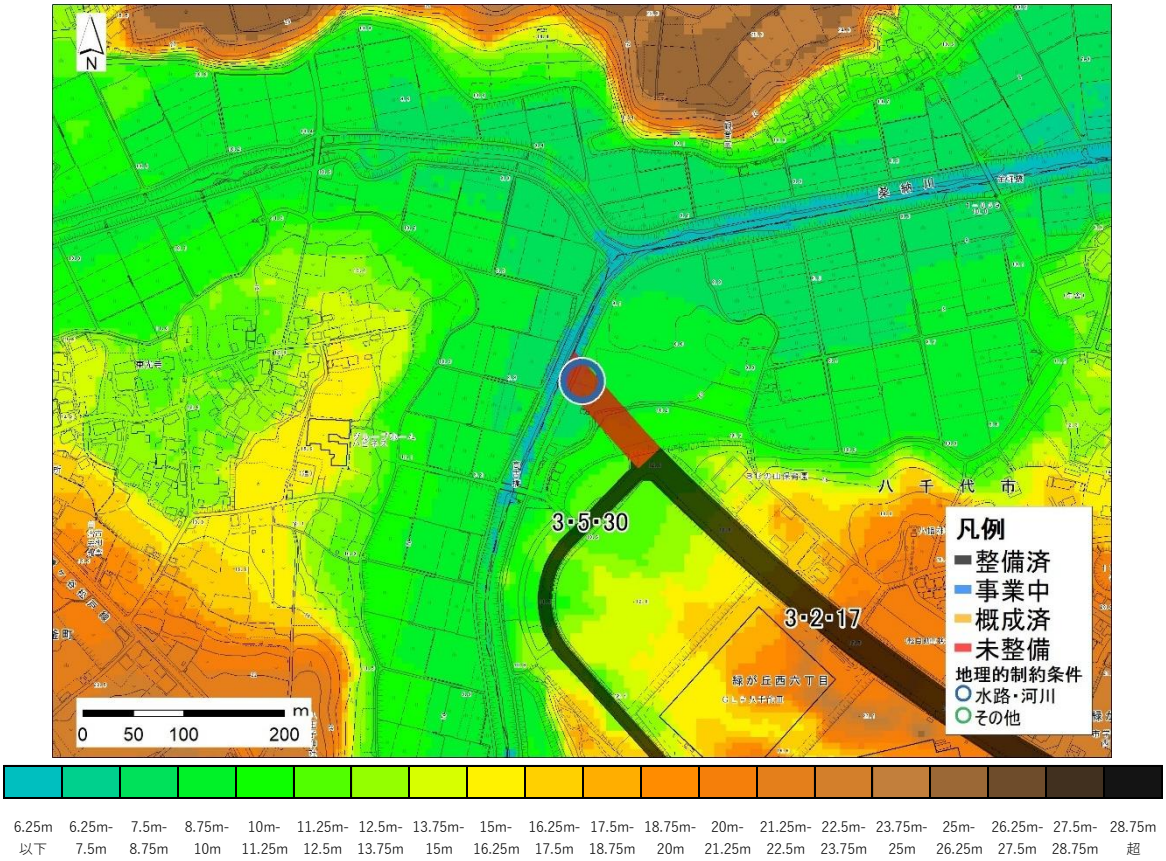


図　3・2・17 号八千代中央線①標高図

3・2・17 号八千代中央線⑤

3・2・17 号八千代中央線⑤は低地を横断している。

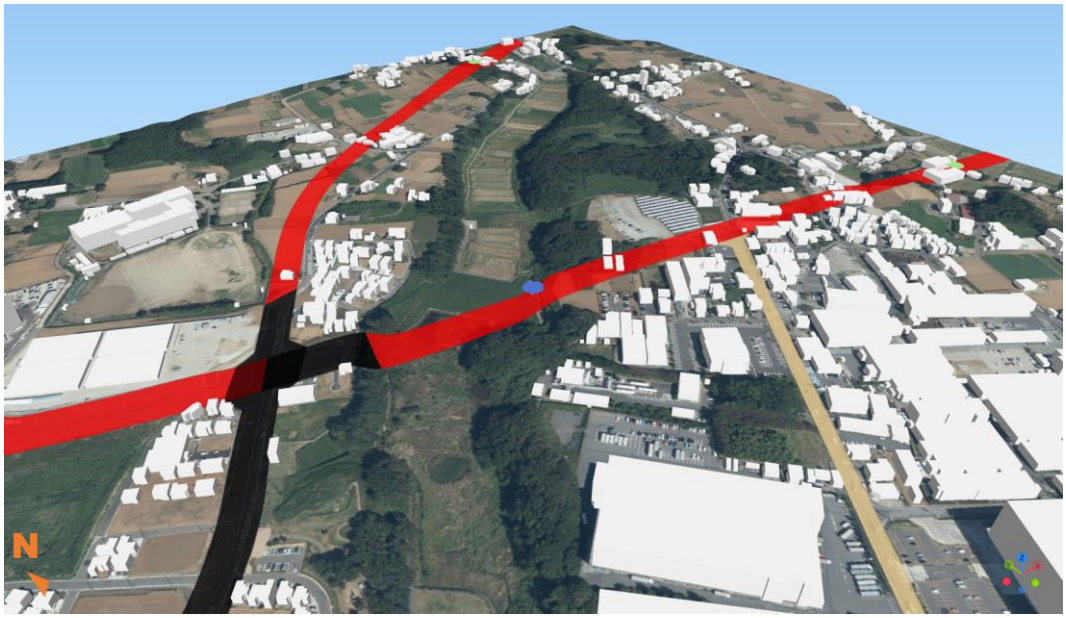


図　3・2・17 号八千代中央線⑤鳥観図

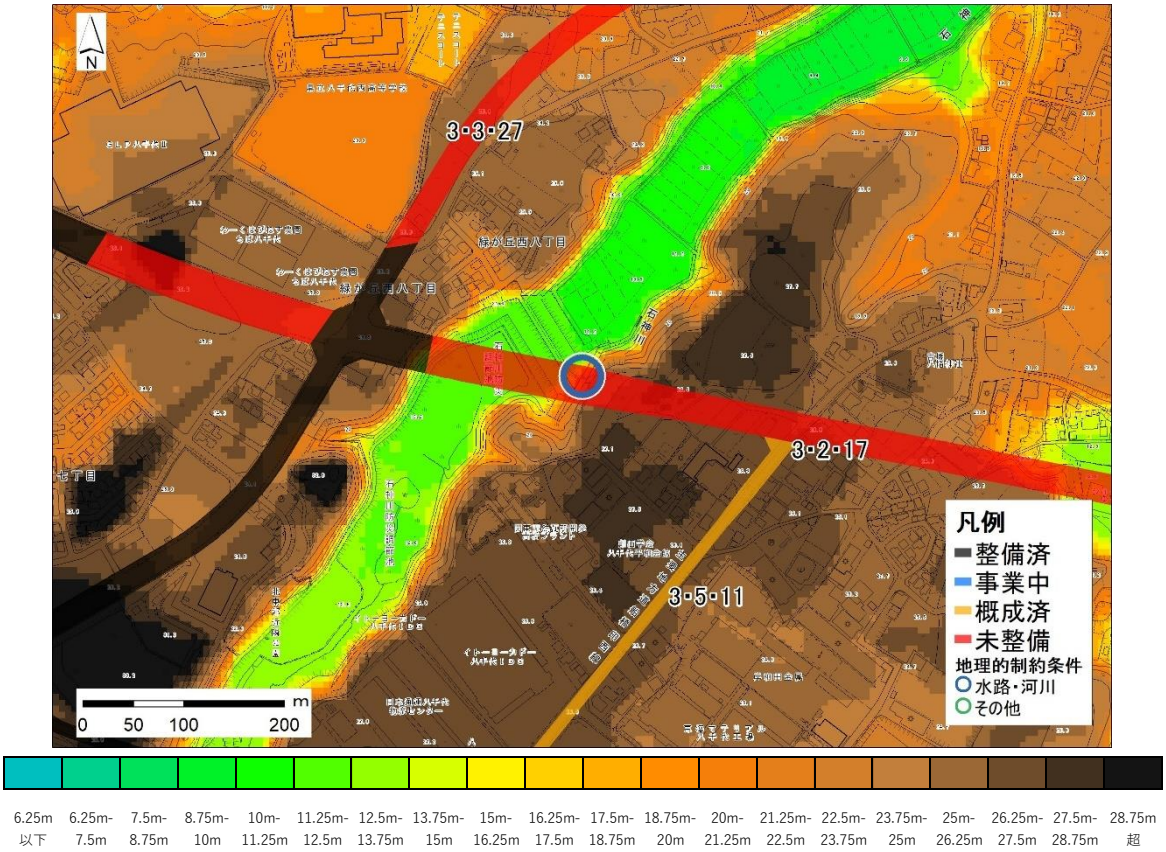


図　3・2・17 号八千代中央線⑤標高図

3・2・17 号八千代中央線⑥(1)

3・2・17 号八千代中央線⑥(1)は低地を横断している。

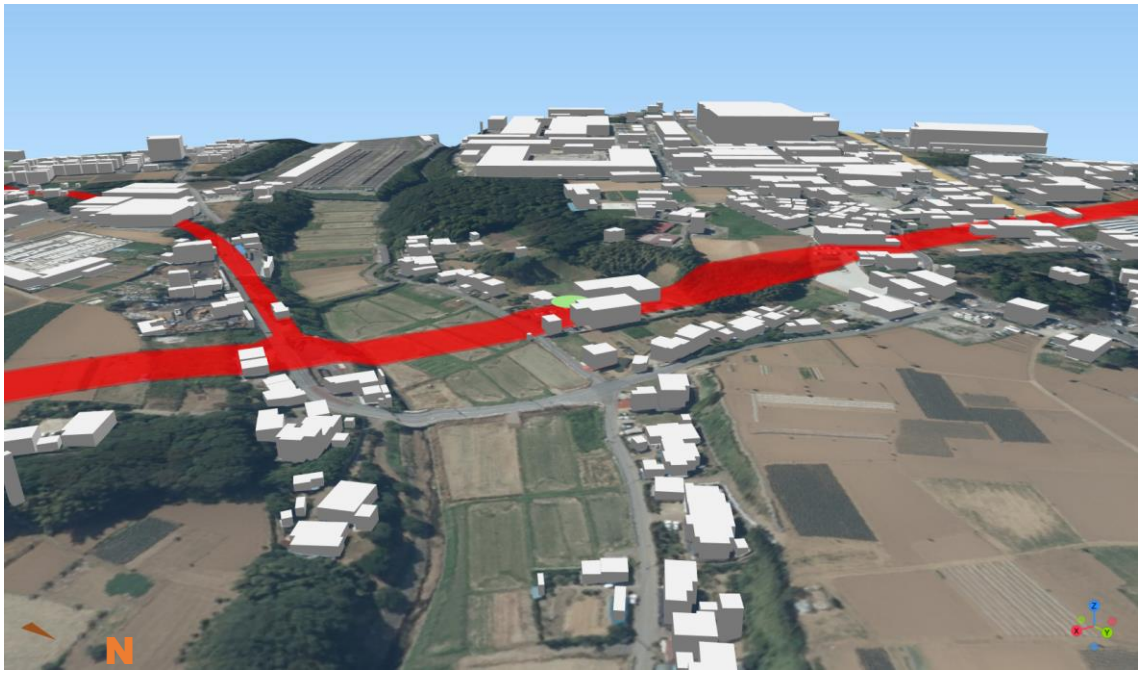


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(1)鳥観図

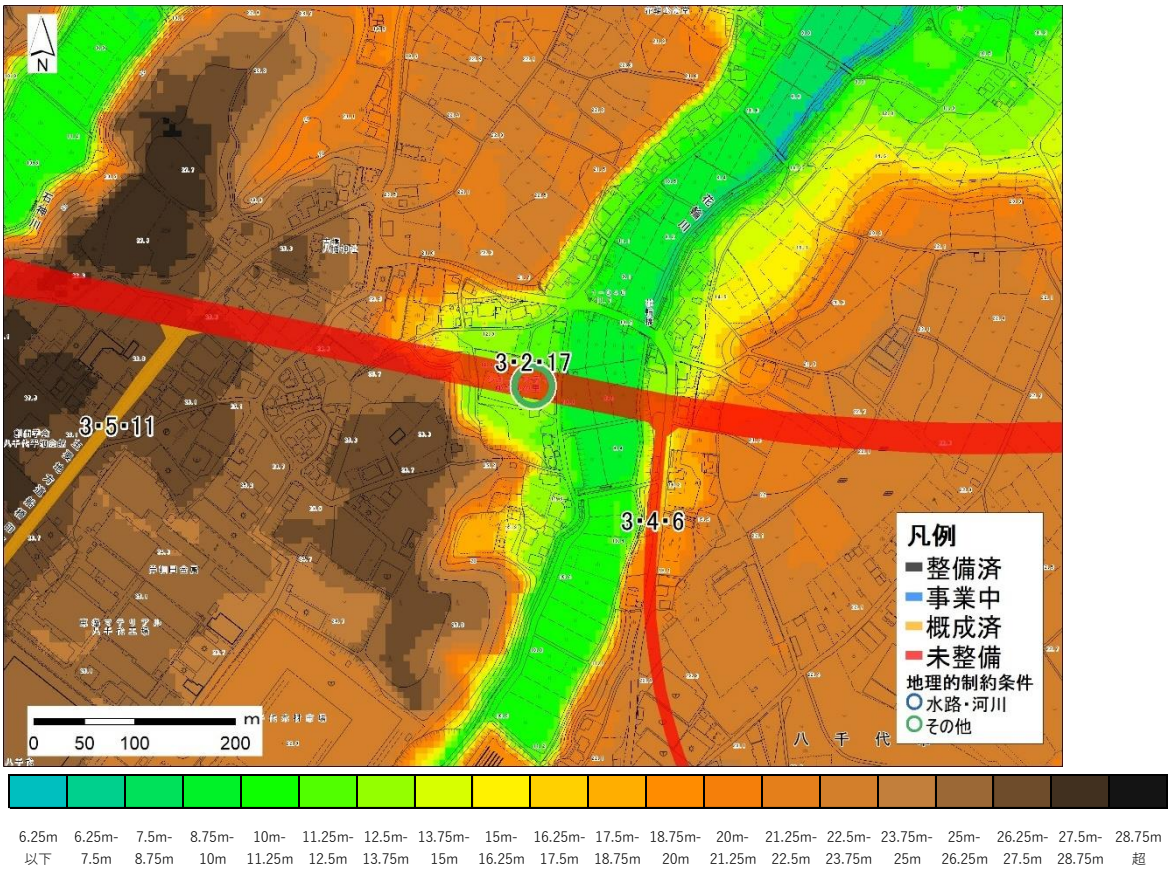


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(1)標高図

3・2・17 号八千代中央線⑥(2)

3・2・17 号八千代中央線⑥(2) は低地を横断している。

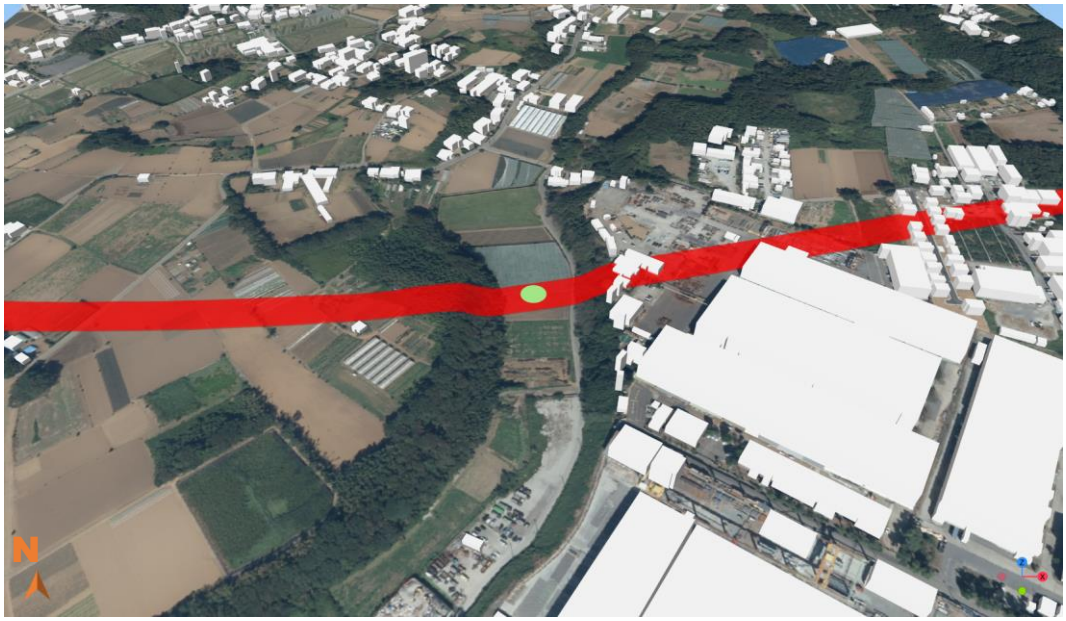
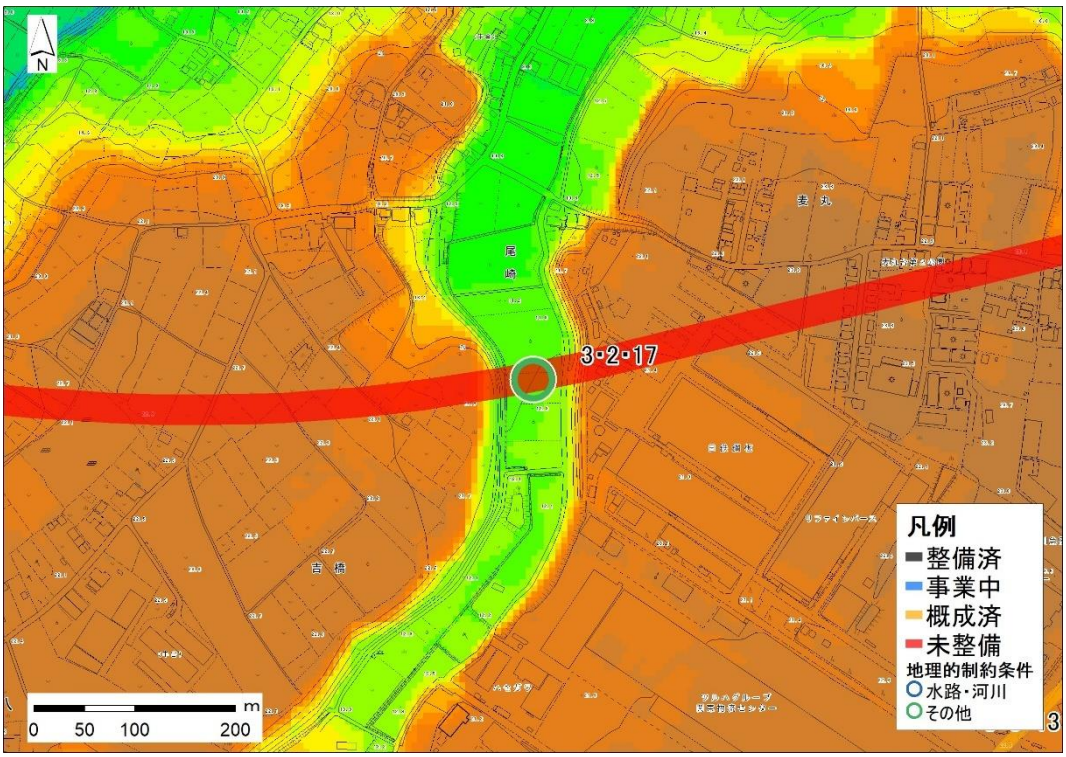


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(2) 鳥観図



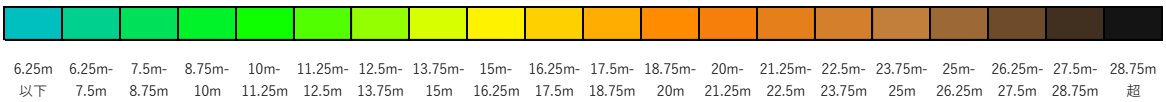


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(2) 標高図

3・2・17 号八千代中央線⑥(3)

3・2・17 号八千代中央線⑥(3)は新川に至る途中で台地と低地が入り組んでいる。

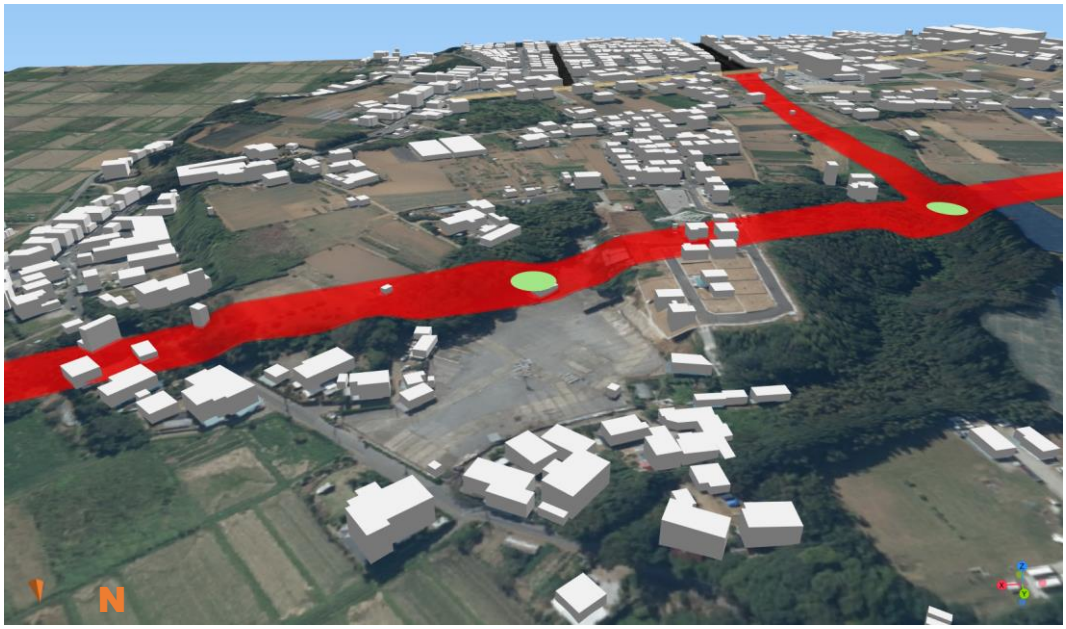


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(3)鳥観図

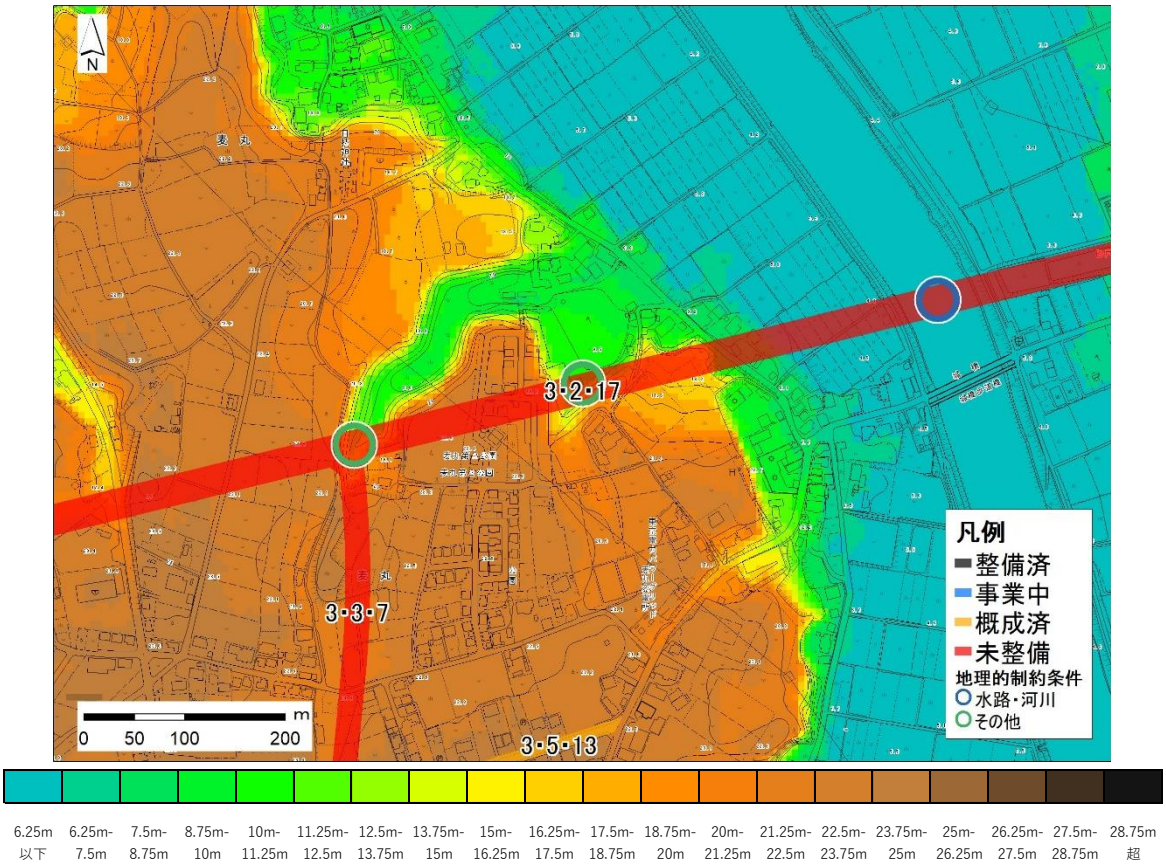


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(3)標高図

3・2・17 号八千代中央線⑥(4)

3・2・17 号八千代中央線⑥(4)は新川を横断する。

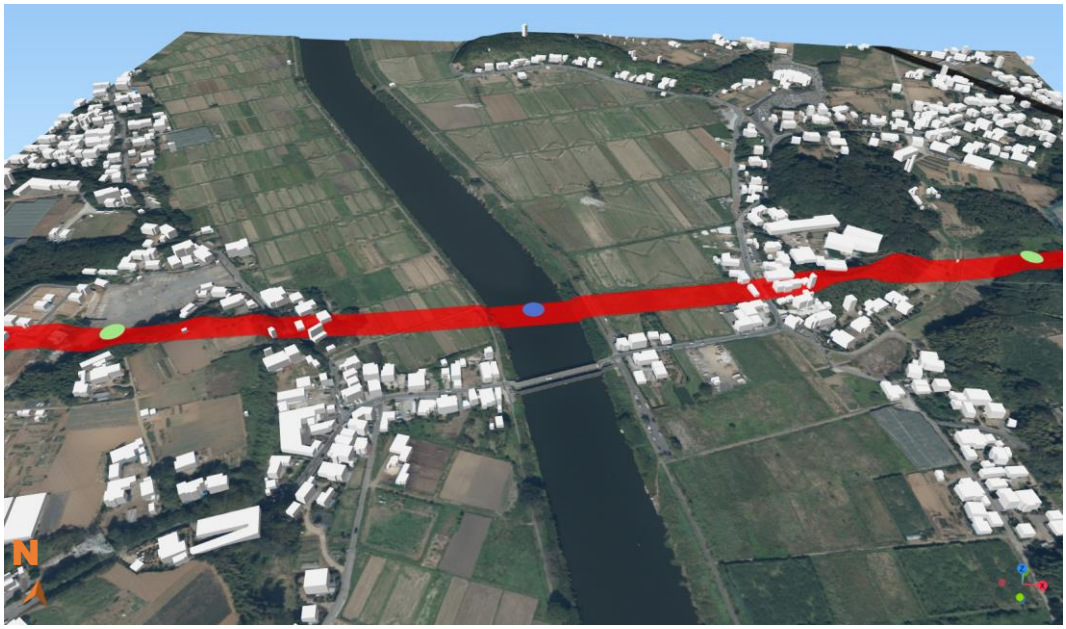


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(4)鳥観図

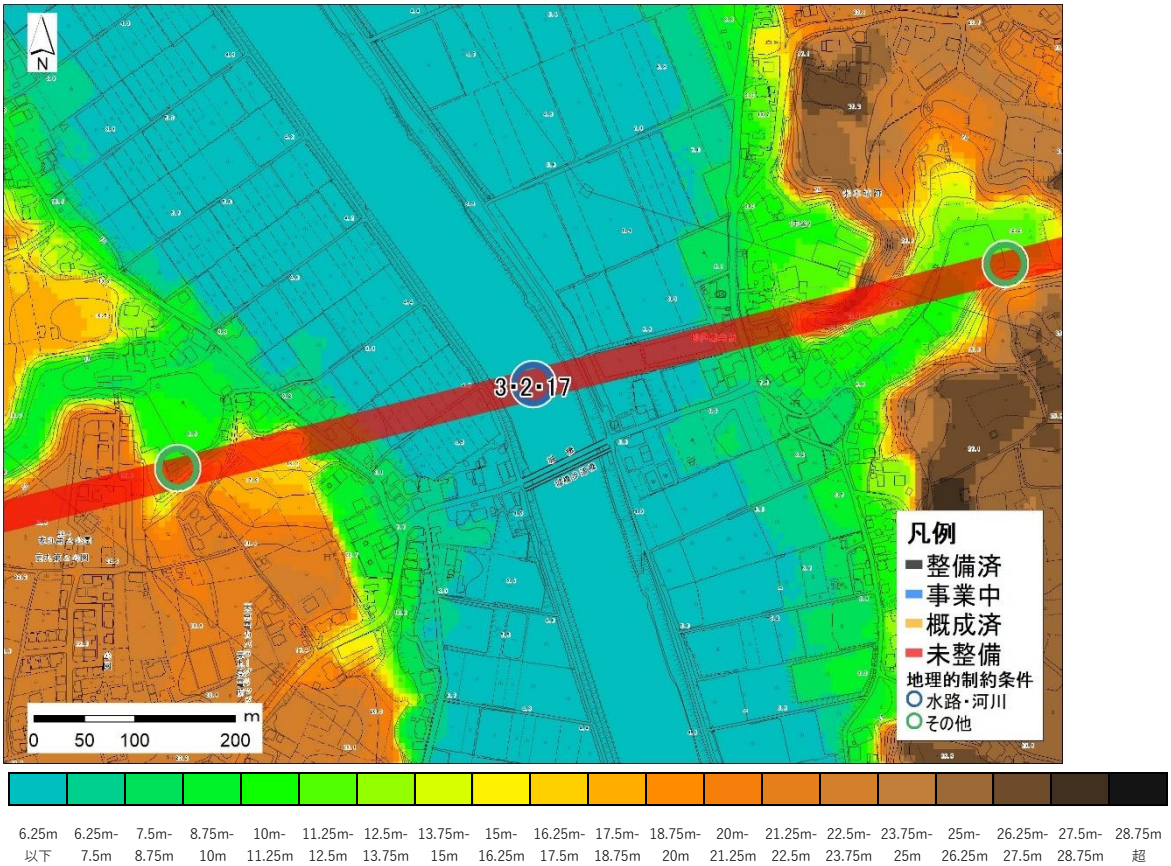


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(4)標高図

3・2・17 号八千代中央線⑥(5)

3・2・17 号八千代中央線⑥(5)は低地を横断している。

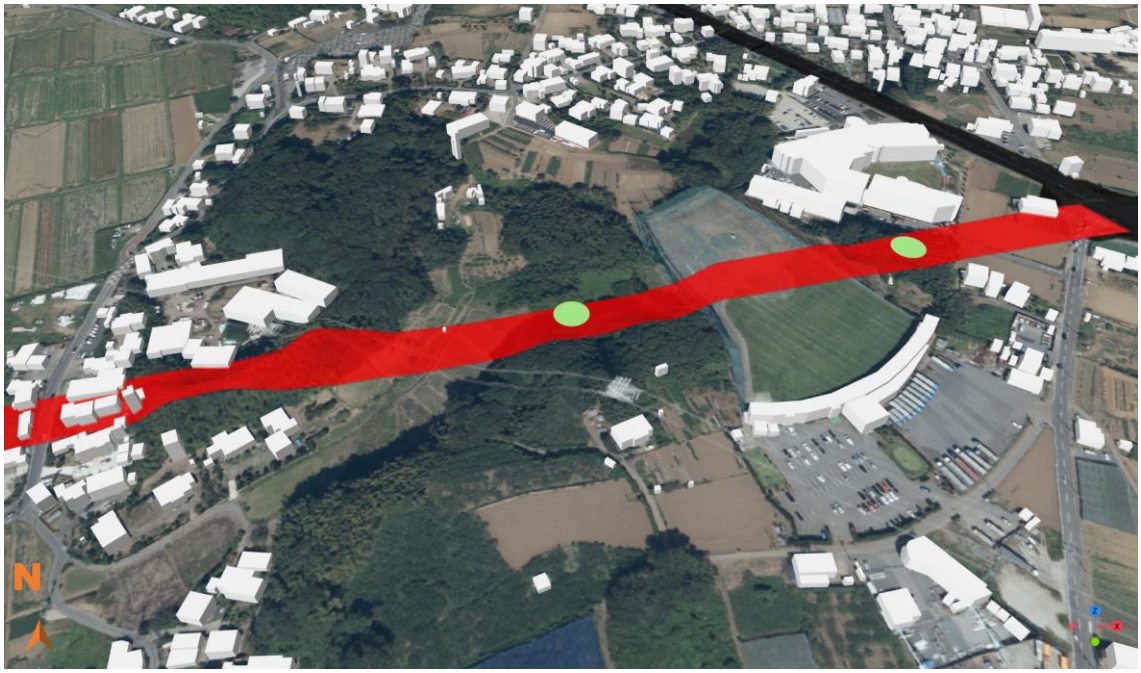


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(5)鳥観図

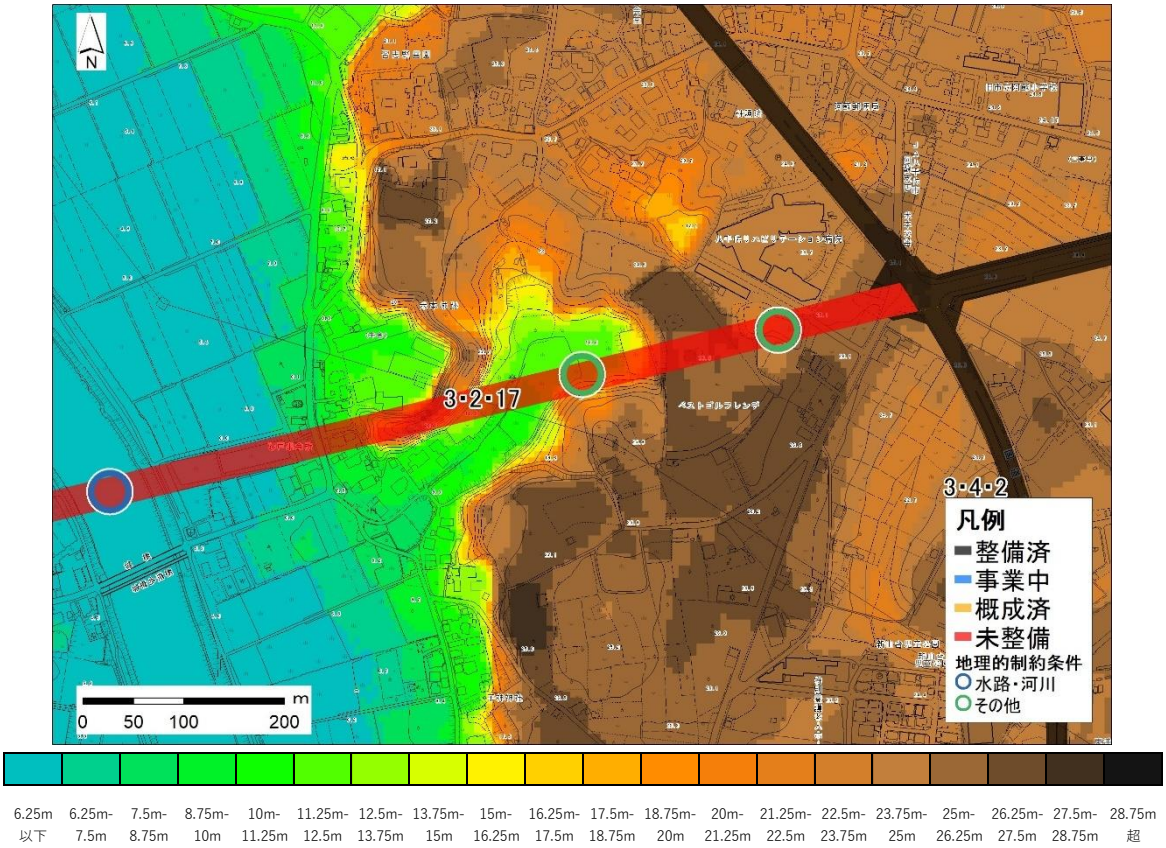


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(5)標高図

3・2・17 号八千代中央線⑥(6)

3・2・17 号八千代中央線⑥(6)は斜面を通過している。

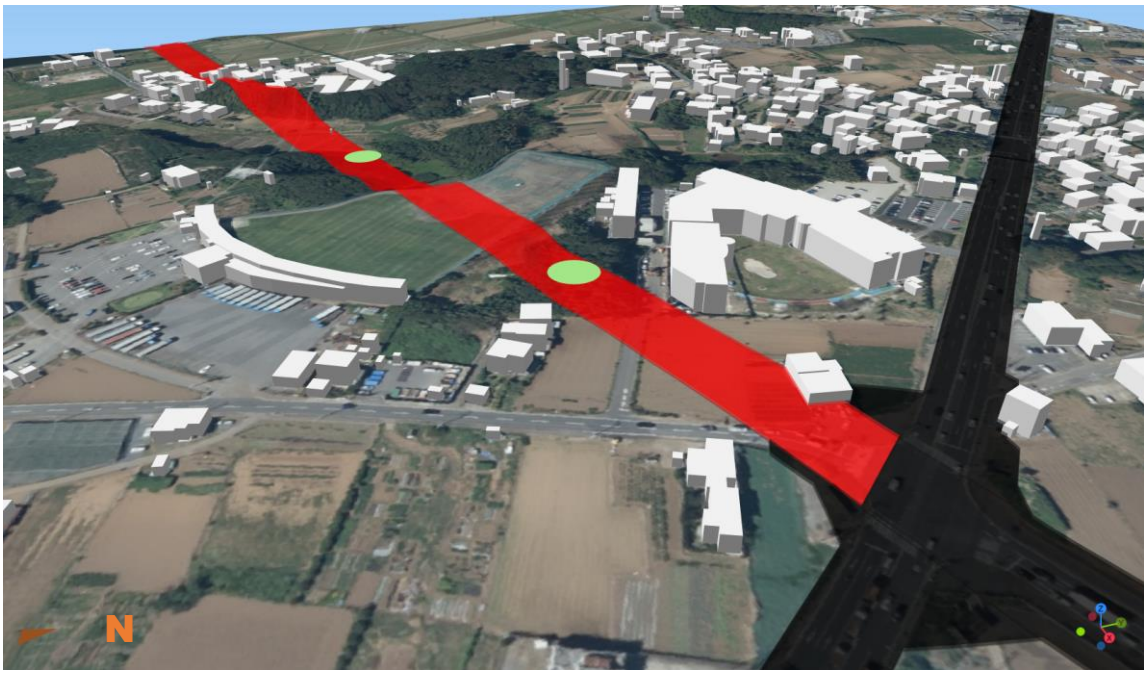


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(6)鳥観図

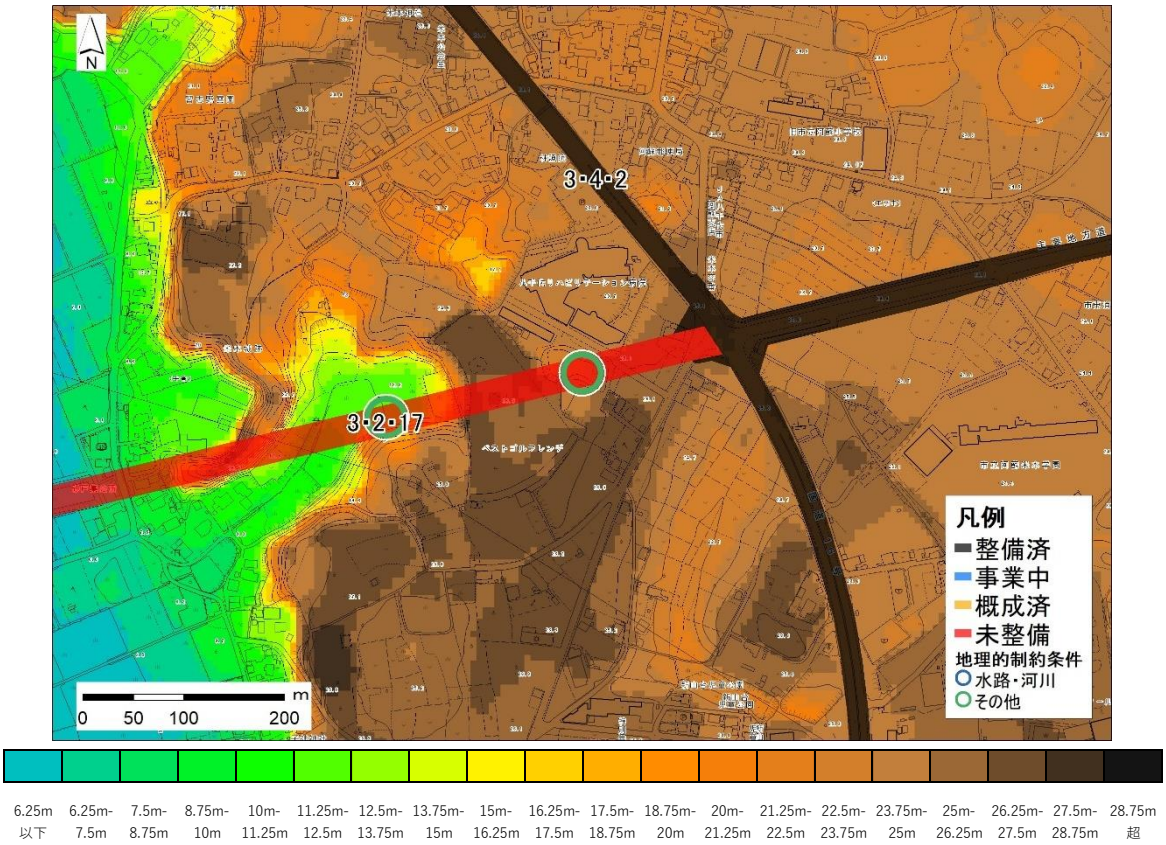


図　3・2・17 号八千代中央線⑥(6)標高図

現計画での位置付けと現状	【広域幹線道路】 ・多くが市街化調整区域にある。 ・区間①は行政界に接している。 ・起点から市街化区域までの区間①と西部の区間③、中央部の区間⑤，⑥は未整備である。 ・令和６年３月現在、事業中区間の一部が整備済となった。
必要性	・東京、千葉県北西部地域と成田地域を結ぶ国道296号のバイパス路線であり、本市市街地の中心部を通過する国道296号の通過交通の負荷を軽減させる効果を有している。
未整備区間の整備にあたっての課題	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・区間①は現道は無いが、支障建築物もないため、整備を進めるにあたり大きな支障はない。ただし、行政界に接していることから市域外の道路との一体的な整備を考慮する必要がある。 ・区間⑤，⑥は現道が無く、住宅や軽工業施設等が建築されており、未整備区間延長が3,845ｍである。また、河川を横断する路線であることから、橋梁整備などの大規模な構造物の整備を伴う可能性が高い。

⑪　3・3・27 号八千代西部線（整備進捗：有（③，④，⑤，⑥，⑦））

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	令和 6 年 7 月 17 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 3 ・ 27	路線名	八千代西部線	延長	3,460 m	標準幅員	25 m	車線数	4 車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	事業主体	現道 幅員	現道 車線数	備考
①			4	未整備	100 m	25 m	4 車線			0 m	0 車線	現道なし　平行道路あり　県道61号船橋印西線　A区間
②			4	未整備	620 m	25 m	4 車線			8 m	2 車線	現道　県道57号千葉鎌ヶ谷松戸線　A区間
③			1	整備済	230 m	25 m	4 車線			25 m	2 車線	
④			1	整備済	320 m	25 m	4 車線			25 m	2 車線	
⑤			1	整備済	130 m	25 m	4 車線			25 m	2 車線	
⑥			1	整備済	620 m	25 m	4 車線			25 m	2 車線	
⑦			1	整備済	570 m	25 m	4 車線			25 m	2 車線	
⑧			4	未整備	700 m	25 m	4 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし　B区間
⑨			4	未整備	170 m	37 m	4 車線			0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし　B区間
⑩					m	m	車線			m	車線	
⑪					m	m	車線			m	車線	
⑫					m	m	車線			m	車線	
⑬					m	m	車線			m	車線	
⑭					m	m	車線			m	車線	
⑮					m	m	車線			m	車線	

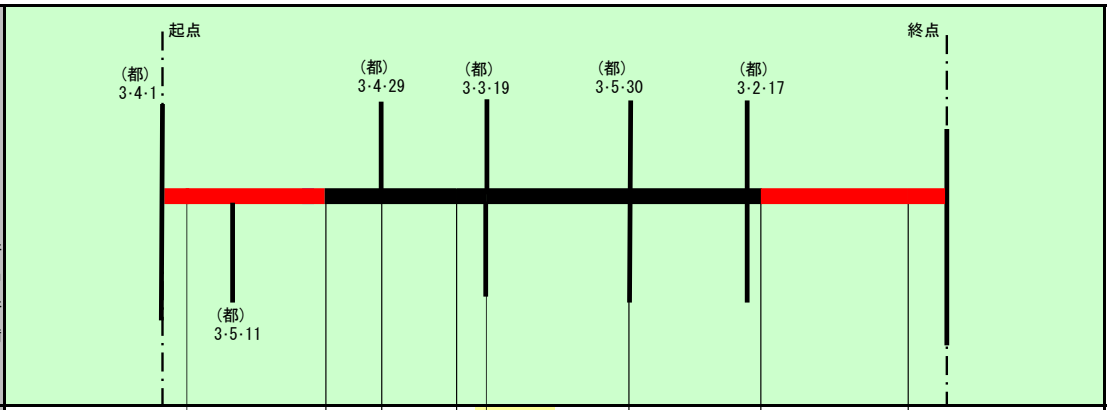
合計	延　長	3,460 m	整備済延長	1,870 m	事業中延長	0 m	事業予定延長	0 m	未整備延長	1,590 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	54.0 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	46.0 %
	（区間数）	9 区間	（区間数）	5 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	4 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ 1	有	名称１	村上駅交通広場	面積	7,100 ㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

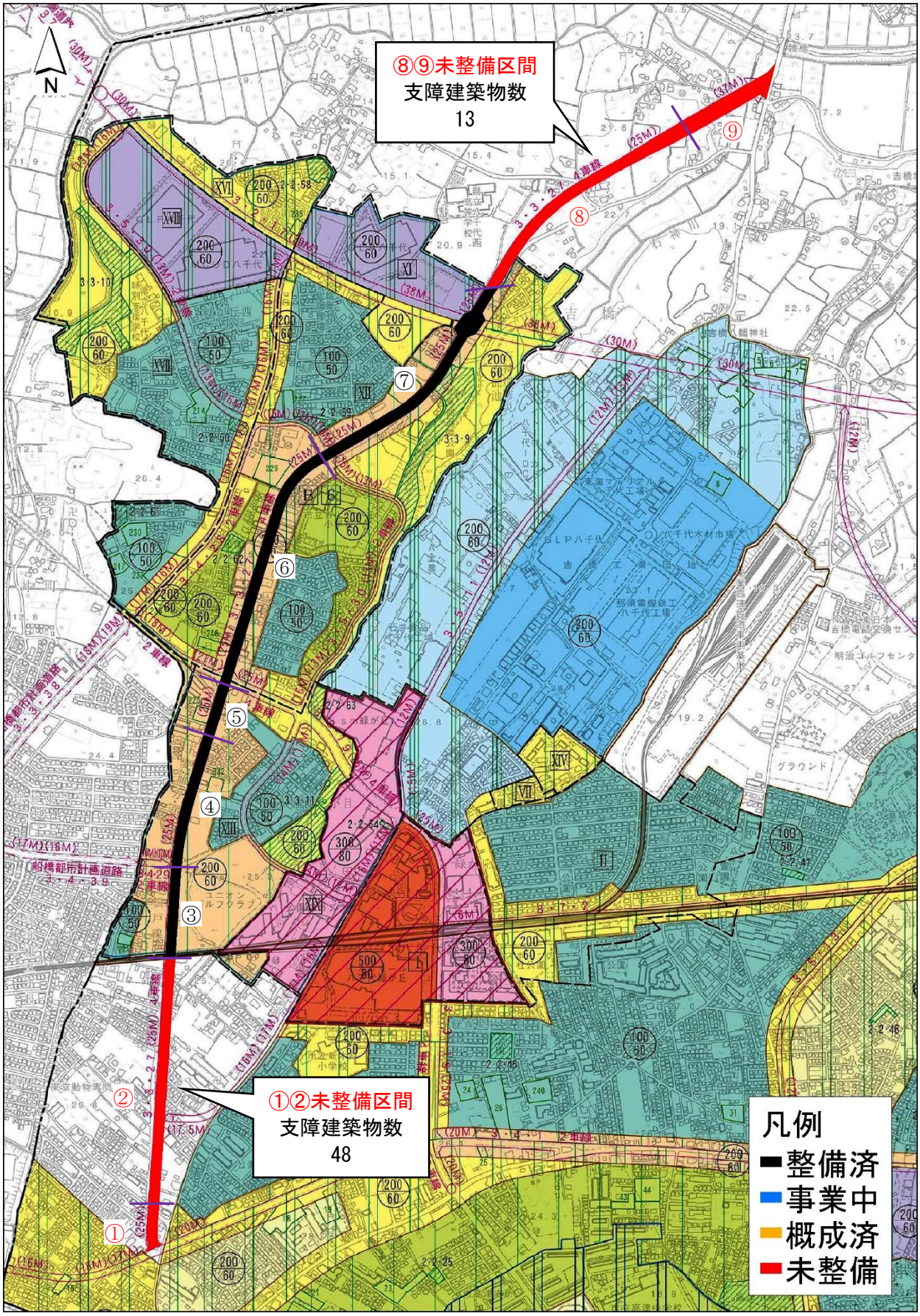
市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	3 ・ 3 ・ 27	路線名	八千代西部線

路線概要



総延長（m）	3,460 m								
区間番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
整備状況	未整備	未整備	整備済	整備済	整備済	整備済	整備済	未整備	未整備
区間延長（m） 3,460 m	100	620	230	320	130	620	570	700	170
区間幅員（計画幅員）	25	25	25	25	25	25	25	25	37
計画車線数	4	4	4	4	4	4	4	4	4
現道の状況 現道の有無	無	有	有	有	有	有	有	無	無
現道の状況 現道の幅員（m）	0	8	25	25	25	25	25	0	0
現道の状況 現道の車線数	0	2	4	4	4	4	4	0	0
現道の状況 事業主体									

＜位置図＞



⑪　3・3・27 号八千代西部線

3・3・27 号八千代西部線⑧

3・3・27 号八千代西部線⑧は台地から桑納川沿川の低地に向かう斜面がある。

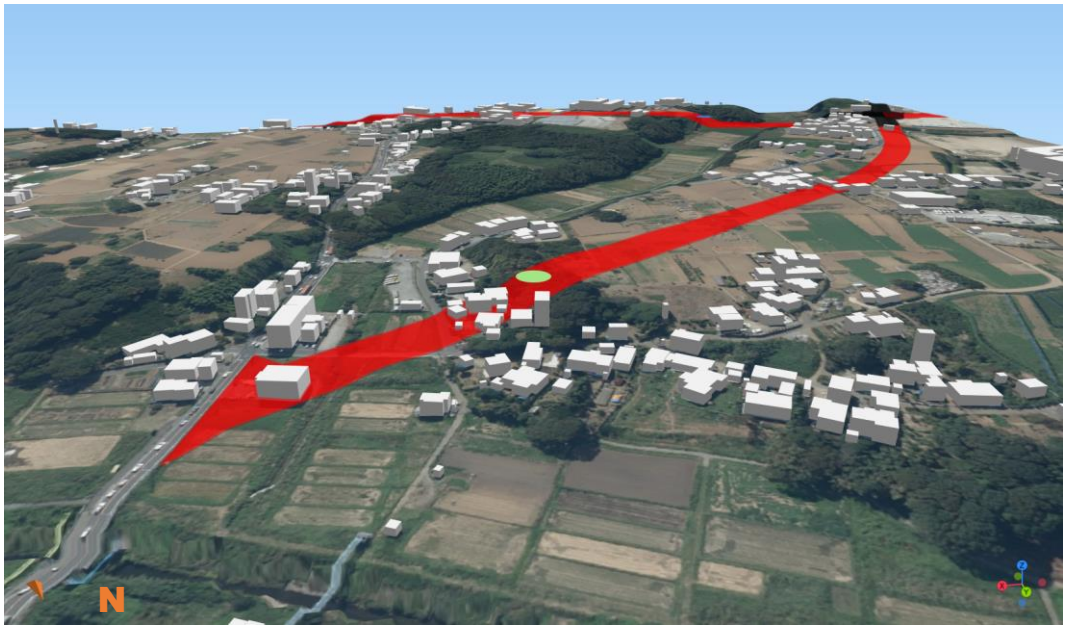


図　3・3・27 号八千代西部線⑧鳥観図

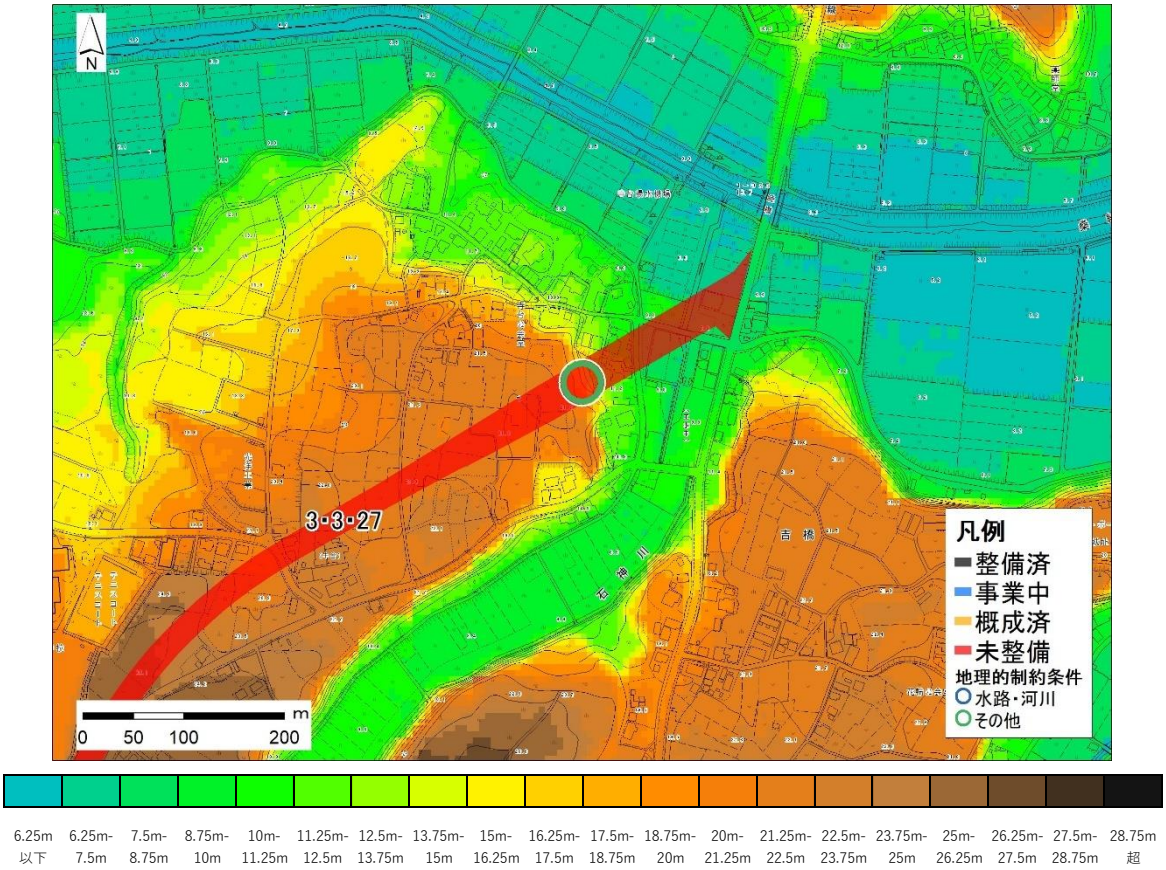


図　3・3・27 号八千代西部線⑧標高図

現計画での位置付けと現状	【広域幹線道路】 ・市街化調整区域内の区間①，②と区間⑧，⑨の未整備である。 ・区間①，②と区間⑧，⑨は構想路線と接続している。 ・令和６年３月現在、事業中区間が整備済となった。
必要性	・将来は、東京湾岸と内陸部の業務核都市を結ぶ広域幹線道路を構成する一部区間として位置付けされており、広域交通動線の改善の観点から重要な路線である。
未整備区間の整備にあたっての課題	・区間①，②は現道を有しているが、沿道に住宅や商業施設が立地している。また、3・4・1号新木戸上高野原線の未整備区間と接続しており、一体的な整備が必要となる。 ・区間⑧，⑨は現道が無く、住宅や農業用施設が立地している。 ・両区間共に構想路線との一体的な整備を考慮する必要がある。

⑫　8・7・1号萱田町村上線（整備進捗：無）

第二段階：検討路線　基礎データの整理

1	枚中	1	枚目

記入日	令和 6 年 7 月 17 日	市町村名	八千代市	担当	部	都市整備部	課	都市計画課	係	計画班

都市計画区域名	八千代	路線番号	8 ・ 7 ・ 1	路線名	萱田町村上線	延長	640 m	標準幅員	3 m	車線数	車線

区間番号	枝番1	枝番2	整備状況 コード	整備状況	区間延長	計画幅員	計画車線数	事業主体 コード	現道 幅員	現道 車線数	備考
①	1		4	未整備	140 m	3 m	－ 車線		3 m	－ 車線	現道　市道萱田町４号線　W=3m
①	2		4	未整備	350 m	3 m	－ 車線		0 m	0 車線	現道なし　並行道路なし
②			1	整備済	150 m	3 m	－ 車線		3 m	－ 車線	自歩道
③					m	m	車線		m	車線	
④					m	m	車線		m	車線	
⑤					m	m	車線		m	車線	
⑥					m	m	車線		m	車線	
⑦					m	m	車線		m	車線	
⑧					m	m	車線		m	車線	
⑨					m	m	車線		m	車線	
⑩					m	m	車線		m	車線	
⑪					m	m	車線		m	車線	
⑫					m	m	車線		m	車線	
⑬					m	m	車線		m	車線	
⑭					m	m	車線		m	車線	

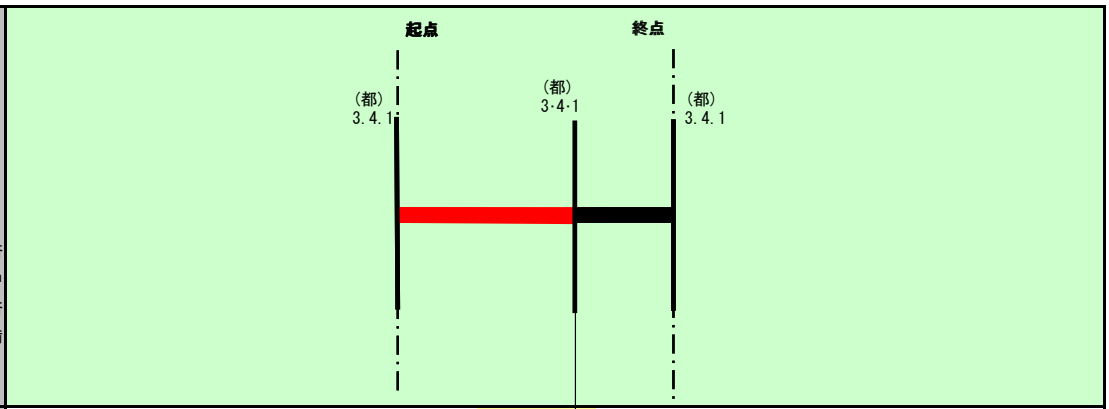
合計											
	延　長	640 m	整備済延長	150 m	事業中延長	0 m	事業予定延長	0 m	未整備延長	490 m
	（構成比）	100.0 %	（構成比）	23.4 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	0.0 %	（構成比）	76.6 %
	（区間数）	3 区間	（区間数）	1 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	0 区間	（区間数）	2 区間

駅前広場	ｺｰﾄﾞ	3	無	名称１		面積	㎡	名称２		面積	㎡

概　要　図

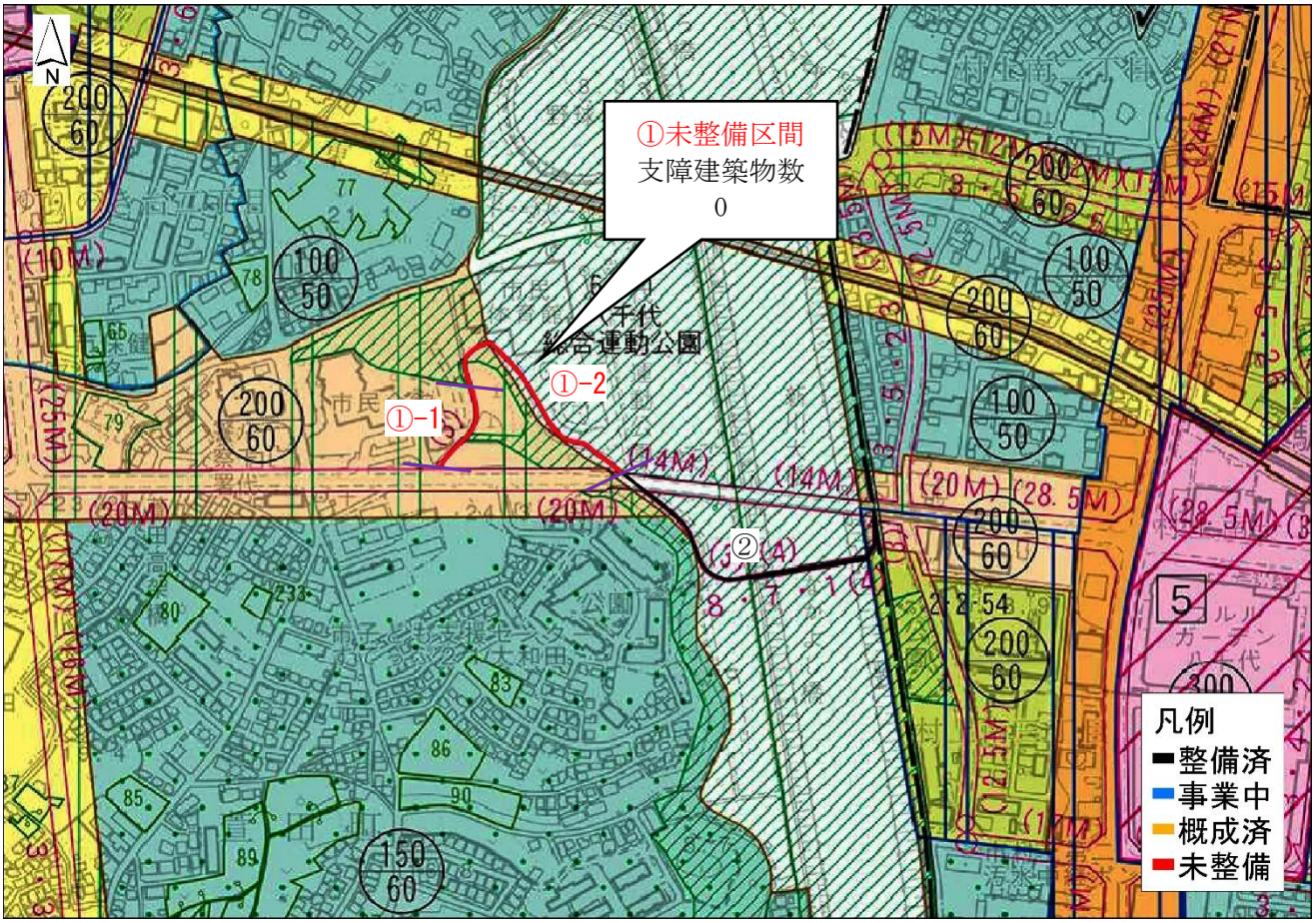
市町村名	八千代市	都市計画区域名	八千代	路線番号	8 ・ 7 ・ 1	路線名	萱田町村上線

路線概要



		①	②
総延長（m）	640 m		
区間番号		①	②
整備状況		未整備	整備済
区間延長（m） 640 m		490	150
区間幅員（計画幅員）		3	3
計画車線数		－	－
現道の状況 現道の有無		有	有
現道の状況 現道の幅員（m）		3	3
現道の状況 現道の車線数		－	－
現道の状況 事業主体			

＜位置図＞



現計画での位置付けと現状	必要性	未整備区間の整備にあたっての課題
【歩行者専用道路（都市計画道路）】 ・新川をくぐる区間は市街化調整区域内、その他は市街化区域内にある。 ・3・4・1号新木戸上高野原線の南側の区間は供用開始済み、北側の区間は未整備である。	・歩行者や自転車が安全・快適に利用できるネットワークを、特に新川の周辺に形成する観点からは必要性が高い。ただし、未整備区間は八千代総合運動公園となっており、公園事業としての整備も可能となる。	・計画決定後20年以上経過した未整備区間を有している。 ・公園整備と調整を図りながら整備を進める必要がある。

参　考

現行の都市計画道路整備プログラムについて

令和６年 11 月 15 日

第１回八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議

□■　目　次　■□

１　改定の趣旨 …… 1
２　現行計画の概要（平成 29 年（2017 年）３月策定） …… 1
２．１　検討対象路線 …… 1
２．２　検討対象路線の評価 …… 3
２．３　優先度評価 …… 6
３　現在の整備状況 …… 8

１　改定の趣旨

平成 29 年（2017 年）の都市計画道路整備プログラム（以下「プログラム」という。）の策定から７年以上が経過し，コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市構造への転換を図る必要性が生じていること，また，西八千代北部地区の区画整理の完了や八千代カルチャータウン地区の市街化区域への編入が実施されるなど，八千代市を取り巻く状況は大きく変化している。

こういった背景から昨年９月に「八千代市都市計画道路整備プログラム検討会議（以下「検討会議」という。)」を開催し，同年 10 月にプログラムの見直しの必要性に対する意見照会を実施したところ，見直しの必要性「有」との意見が検討会議より提出されたことから改定することとなった。

改定にあたっては，未整備となっている都市計画道路の整備の必要性について再評価するとともに，効率的かつ効果的に整備を進めるため，都市計画道路の優先性を評価する。

２　現行計画の概要（平成 29 年（2017 年）３月策定）

２．１　検討対象路線

都市計画道路のうち未整備区間を有している路線，構想路線と接続している都市計画道路を検討対象路線として位置付け，具体的には未整備区間を有している 12 路線と構想路線（3・4・21 号からの延伸）を検討対象路線とした。

表　検討対象路線

番号	路線名	代表幅員	延長	供用開始区間の有無	事業中区間の有無	概成済区間の有無	未整備区間の有無	構想路線との接続
3･4･1	新木戸上高野原線	20	7,300	○	○		○	
3･4･6	八千代台花輪線	16	5,820	○	○	○	○	
3･3･7	大和田駅前萱田線	25	3,750	○			○	○
3･4･8	大和田新田下市場線	16	2,870	○			○	○
3･4･9	上高野工業団地線	16	4,920	○		○	○	○
3･4･10	上高野佐倉線	16	380				○	
3･5･11	新木戸吉橋線	12	2,250		○	○	○	
3･4･12	八千代台南勝田台線	16	4,420	○	○	○	○	
3･5･13	八千代台東萱田線	12	5,700	○		○	○	
3･2･17	八千代中央線	30	7,200	○	○		○	
3･4･21	勝田台村上線	16	760	○				○
3･3･27	八千代西部線	25	3,460		○		○	○
8･7･1	萱田町村上線	3	640	○			○	

有：○　無：無記入

※3･3･7 号大和田駅前萱田線，3･4･8 号大和田新田下市場線，3･4･9 号上高野工業団地線，3･3･27 号八千代西部線には，構想路線が含まれる。
※3･4･21 号勝田台村上線は，検討対象路線が構想路線であることから，以下，「構想路線（3・4・21 からの延伸)」

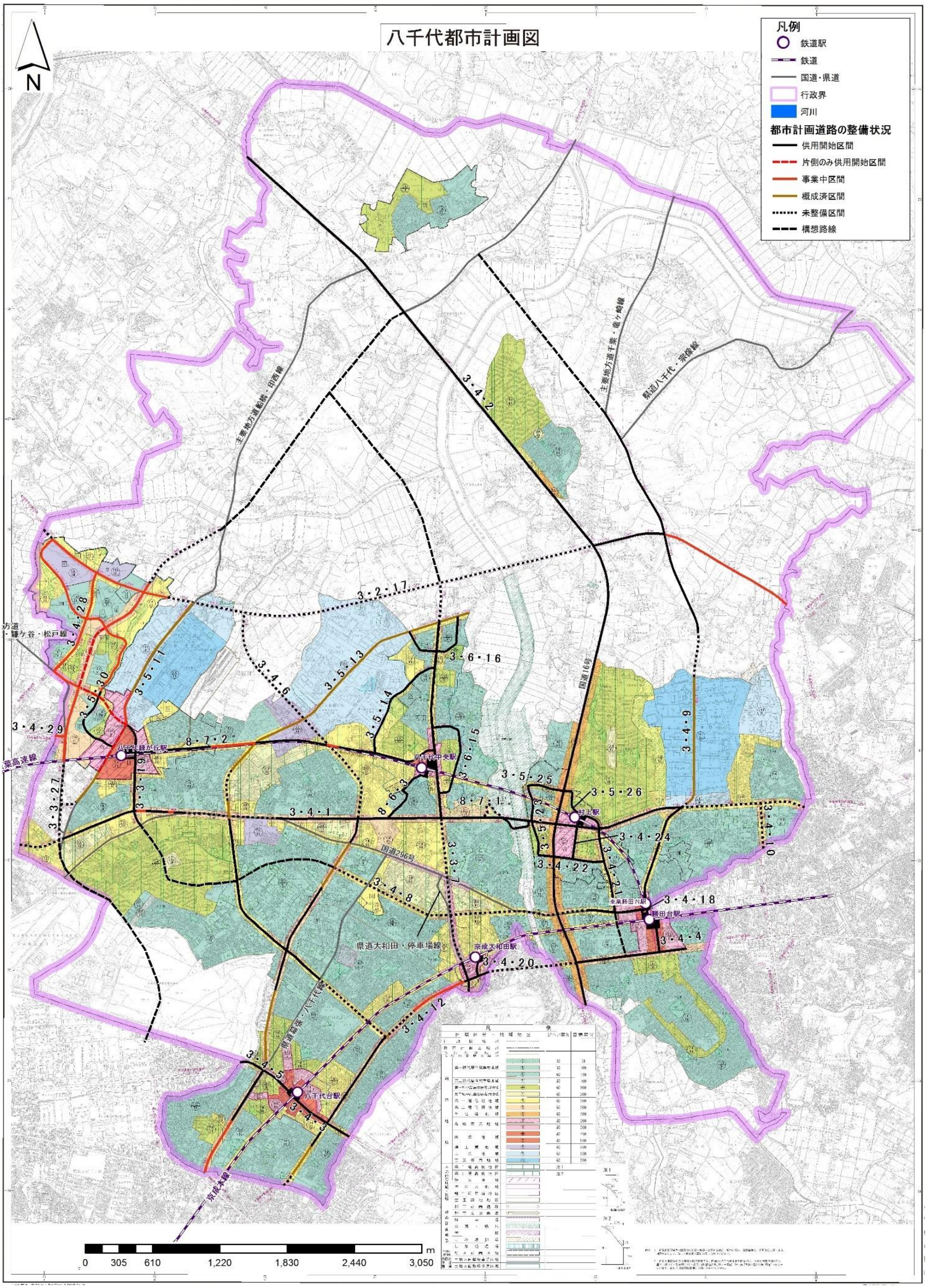

八千代都市計画図
凡例
鉄道駅
鉄道
国道・県道
行政界
河川
都市計画道路の整備状況
供用開始区間
片側のみ供用開始区間
事業中区間
概成済区間
未整備区間
構想路線
N
主要地方道船橋・印西線
主要地方道千葉・竜ヶ崎線
県道八千代・宗像線
3・4・2
3・2・17
3・4・28
3・5・11
3・4・6
3・5・13
3・6・16
3・5・30
3・5・14
3・4・29
8・7・2
3・6・15
3・4・9
3・3・19
3・5・25
3・5・26
3・3・27
8・6・3
8・7・1
3・4・1
3・4・24
3・4・10
3・3・7
3・4・22
3・4・8
3・4・18
3・4・4
3・4・20
3・4・12
3・4・5
3・4・3
八千代緑が丘駅
八千代中央駅
村上駅
東葉勝田台駅
勝田台駅
京成大和田駅
八千代台駅
国道16号
国道296号
県道大和田・停車場線
県道緑台・八千代線
京成本線
0
305
610
1,220
1,830
2,440
3,050
m

図　検討対象路線（区間）

２．２　検討対象路線の評価

２．２．１　評価方法

「千葉県都市計画道路見直しガイドライン」に従い一次評価，二次評価を実施し，総合的な判断により，変更・廃止候補路線（区間）を選定した。

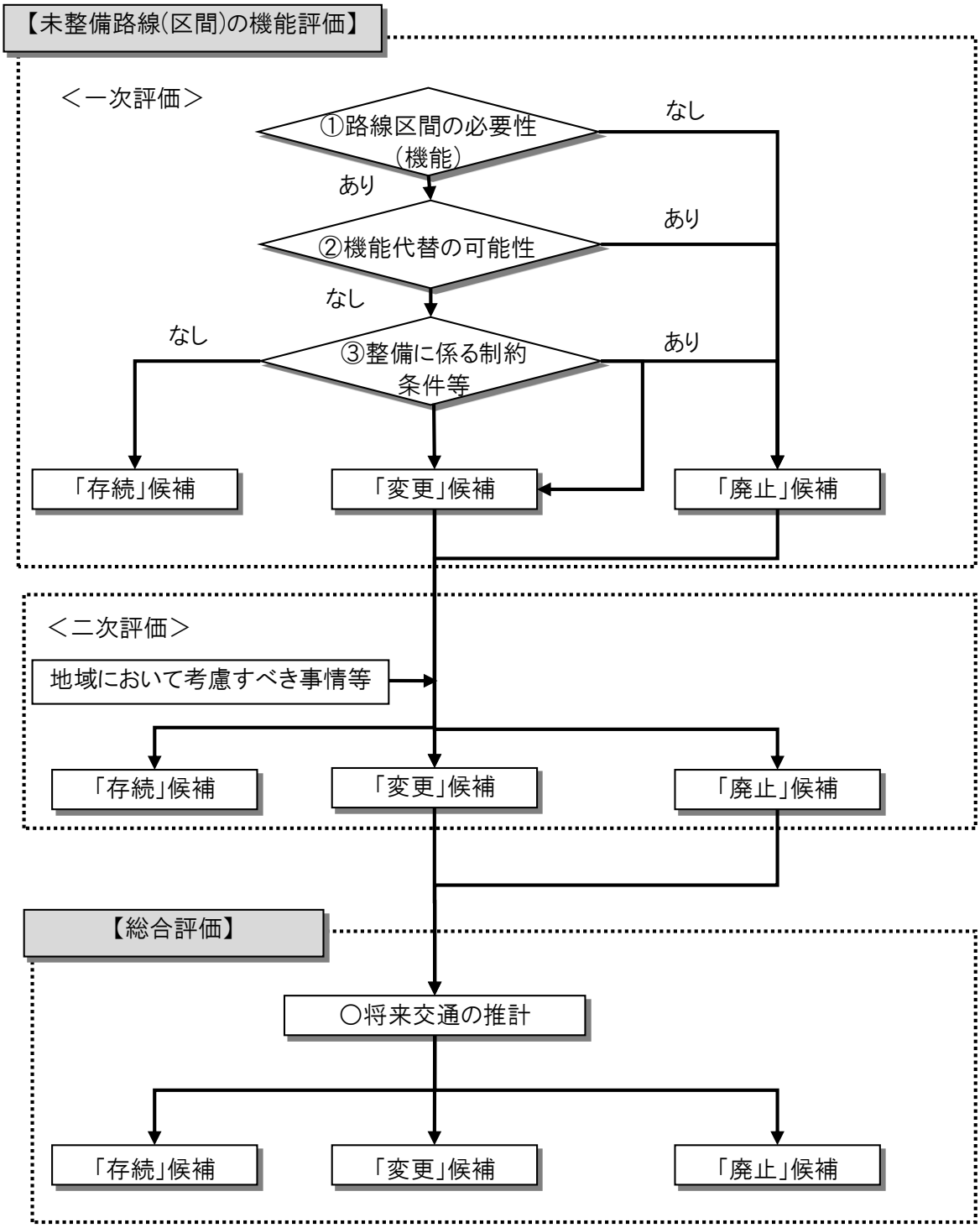


図　未整備路線（区間）の機能評価フロー

２．２．２　評価結果

一次・二次評価の総合評価結果を以下に示す。

二次評価で廃止候補または変更候補とされた路線・区間については，将来交通量の再推計を行い，総合評価として見直しの方向性（廃止・変更）を検討した。

表　総合評価結果

No	路線名称	区間番号	区間延長（m）	評価項目						
				一次評価				二次評価		未整備路線（区間）総合評価結果
				a. 路線・区間の必要性	b. 機能代替の可能性	c. 路線・区間の整備に係る制約条件等	一次評価結果	d. その他	二次評価結果	
3･4･1	新木戸上高野原線	①	418	有	無	無	存続	有	存続	－
3･4･1	新木戸上高野原線	⑦	940	有	有	無	廃止	有	存続	－
3･4･1	新木戸上高野原線	⑩	513	有	無	無	存続	有	存続	－
3･4･6	八千代台花輪線	⑦	330	有	無	有	廃止または変更	有	変更	線形変更
3･4･6	八千代台花輪線	⑧	430	有	無	無	存続	有	存続	－
3･4･6	八千代台花輪線	⑨	330	有	無	無	存続	有	変更	線形変更
3･4･6	八千代台花輪線	⑩	890	有	無	有	廃止または変更	有	廃止	廃止
3･4･6	八千代台花輪線	⑪	192	有	無	有	廃止または変更	有	廃止	廃止
3･3･7	大和田駅前萱田線	①	340	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･3･7	大和田駅前萱田線	③	471	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･3･7	大和田駅前萱田線	④	880	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･3･7	大和田駅前萱田線	⑥	340	有	無	有	廃止または変更	有	変更	幅員変更
3･4･8	大和田新田下市場線	①	1,670	有	有	有	廃止	無	廃止	廃止
3･4･8	大和田新田下市場線	②	630	有	有	有	廃止	無	廃止	廃止
3･4･9	上高野工業団地線	④	490	有	有	無	廃止	有	存続	－
3･4･10	上高野佐倉線	①	380	有	無	無	存続	有	存続	－
3･5･11	新木戸吉橋線	①	120	有	無	無	存続	有	存続	－
3･4･12	八千代台南勝田台線	①	120	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･4･12	八千代台南勝田台線	⑤	288	有	無	無	存続	有	存続	－
3･4･12	八千代台南勝田台線	⑨	750	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･5･13	八千代台東萱田線	①	800	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･5･13	八千代台東萱田線	③	30	有	有	無	廃止	有	存続	－
3･5･13	八千代台東萱田線	⑤	100	有	無	有	廃止または変更	有	変更	線形変更
3･5･13	八千代台東萱田線	⑥	170	有	無	有	廃止または変更	有	変更	線形変更
3･2･17	八千代中央線	①	100	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･2･17	八千代中央線	③	3,702	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･3･27	八千代西部線	①	100	有	無	無	存続	有	存続	－
3･3･27	八千代西部線	②	640	有	無	無	存続	有	存続	－
3･3･27	八千代西部線	⑧	670	有	無	有	廃止または変更	有	存続	－
3･3･27	八千代西部線	⑨	170	有	無	無	存続	有	存続	－
8･7･1	萱田町村上線	①	490	有	有	無	廃止	有	存続	－
_	構想路線（3･4･21からの延伸）	①	140	有	有	有	廃止	有	廃止	存続
_	構想路線（3･4･21からの延伸）	②	260	有	有	無	廃止	有	廃止	存続

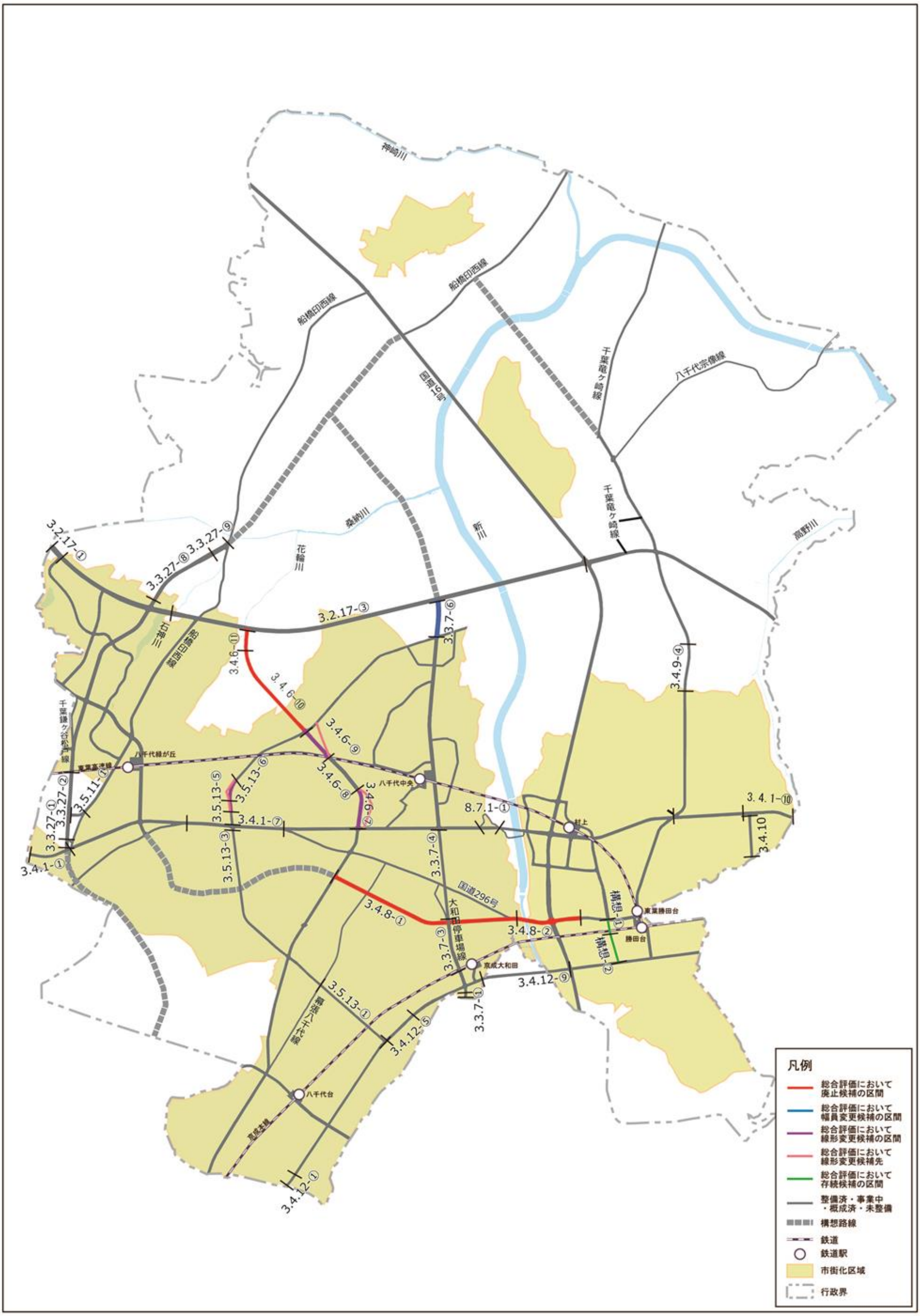

神崎川
船橋印西線
千葉竜ケ崎線
八千代宗像線
国道16号
桑納川
花輪川
新川
高野川
三港川
葛南四街道線
千葉竜ケ谷松崎線
八千代緑が丘
東葉高速線
八千代中央
村上
東葉勝田台
勝田台
京成大和田
大和田停車場線
国道296号
構想-①
構想-②
八千代台
3.2.17-①
3.3.27-⑧
3.3.27-⑨
3.2.17-③
3.3.7-⑥
3.4.6-⑪
3.4.6-⑩
3.4.6-⑨
3.4.6-⑧
3.4.6-⑦
3.4.9-④
3.5.11-①
3.3.27-②
3.3.27-①
3.4.1-①
3.5.13-⑤
3.5.13-⑥
3.5.13-③
3.4.1-⑦
8.7.1-①
3.4.1-⑩
3.4.10
3.3.7-④
3.4.8-①
3.4.8-②
3.3.7-③
3.3.7-①
3.4.12-⑨
3.5.13-①
3.4.12-⑤
3.4.12-①
凡例
総合評価において廃止候補の区間
総合評価において幅員変更候補の区間
総合評価において線形変更候補の区間
総合評価において線形変更候補先
総合評価において存続候補の区間
整備済・事業中・概成済・未整備
構想路線
鉄道
鉄道駅
市街化区域
行政界

図　総合評価結果

２．３　優先度評価

２．３．１　評価結果

各項目の加点に基づいて，交通要素，まちづくり支援要素の平均値を算出し，そのランクにより，各路線の整備優先度を決定した。

表　優先度評価指標

	評価項目																									
	Ⅰ．交通要素											Ⅱ．まちづくり支援要素														
	1．道路整備による自動車交通の円滑化											2．空間機能、安心・安全ネットワークの確立						3．ゆとりと潤い、生活環境向上			4．地元のまちづくり要請（機運）			総合評価
	1）ﾄﾗﾌｨｯｸ機能（走行性）向上	2）アクセス機能向上										1）災害に強い都市づくり		2）安全、安心活動圏域拡大		3）交通事故の低減								
	①交通機能	②バイパス機能	③鉄道アクセス	④都市構造支援	⑤生活拠点、コミュニティ形成	⑥土地利用促進、有効活用	⑦商業地アクセス	⑧工業地アクセス	⑨バリアフリー化	交通軸スコア	交通軸ランク	⑩緊急輸送道路	⑪延焼遮断、災害低減	⑫医療活動支援	⑬避難路、消防活動支援	⑭交通事故対策	⑮通学支援	⑯自転車ネット形成	⑰景観形成	⑱自然環境保全		まちづくり軸スコア	まちづくり軸ランク	
配点	5･3･1	1	1	2･1	0.5	1	0.5	0.5	1			3･2･1	1･0.5	1	1	1	1	1	1	1	0.5			

その結果，優先度のもっとも高い路線は３・４・１号新木戸上高野原線⑩，３・３・７号大和田駅前萱田線③となった。

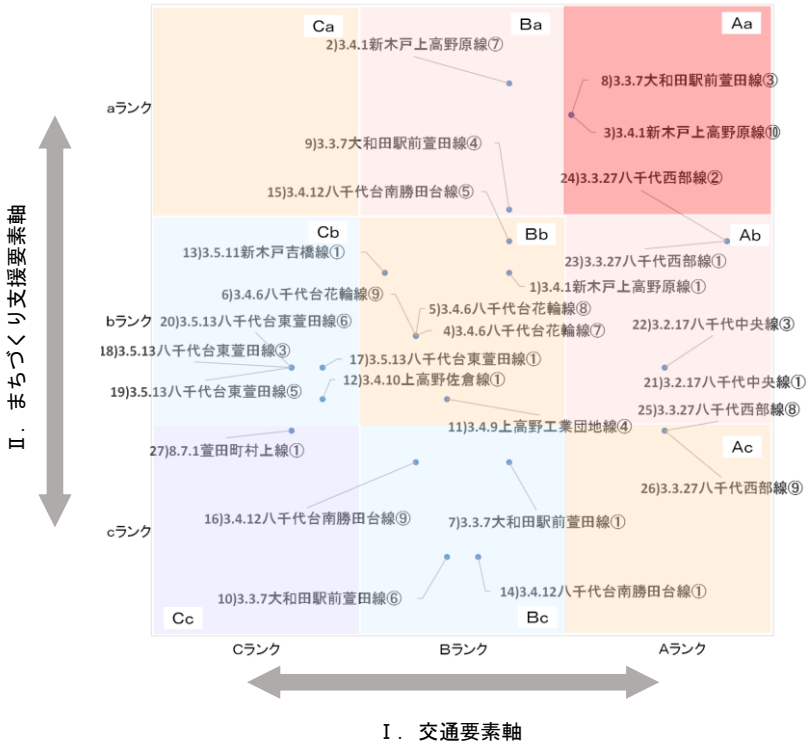


図　区間整備優先度評価

表　評価まとめ

優先度	区間数	道路名および区間番号
高 図表(赤・桃)	８	**優先度のもっとも高いもの（ランク Aa 図表赤）３・４・１新木戸上高野原線⑩，３・３・７大和田駅前萱田線③** 次に優先度の高いもの(ランクAb)，3・3・27八千代西部線①②，３・２・17八千代中央線①③， 同じく(ランクBa)，３・４・1新木戸上高野原線⑦，３・３・7大和田駅前萱田線④
中 図表(橙)	９	３・４・１ 新木戸上高野原線①，３・４・６ 八千代台花輪線⑦⑧⑨，３・４・９ 上高野工業団地線④， ３・５・11 新木戸吉橋線①，３・４・12 八千代台南勝田台線⑤，３・３・27 八千代西部線⑧⑨
低 図表(青・紫)	１０	３・３・7大和田駅前萱田線①⑥，３・４・10上高野佐倉線①，３・４・12八千代台南勝田台線①⑨， ３・５・13八千代台東萱田線①③⑤⑥，８・７・１萱田町村上線①

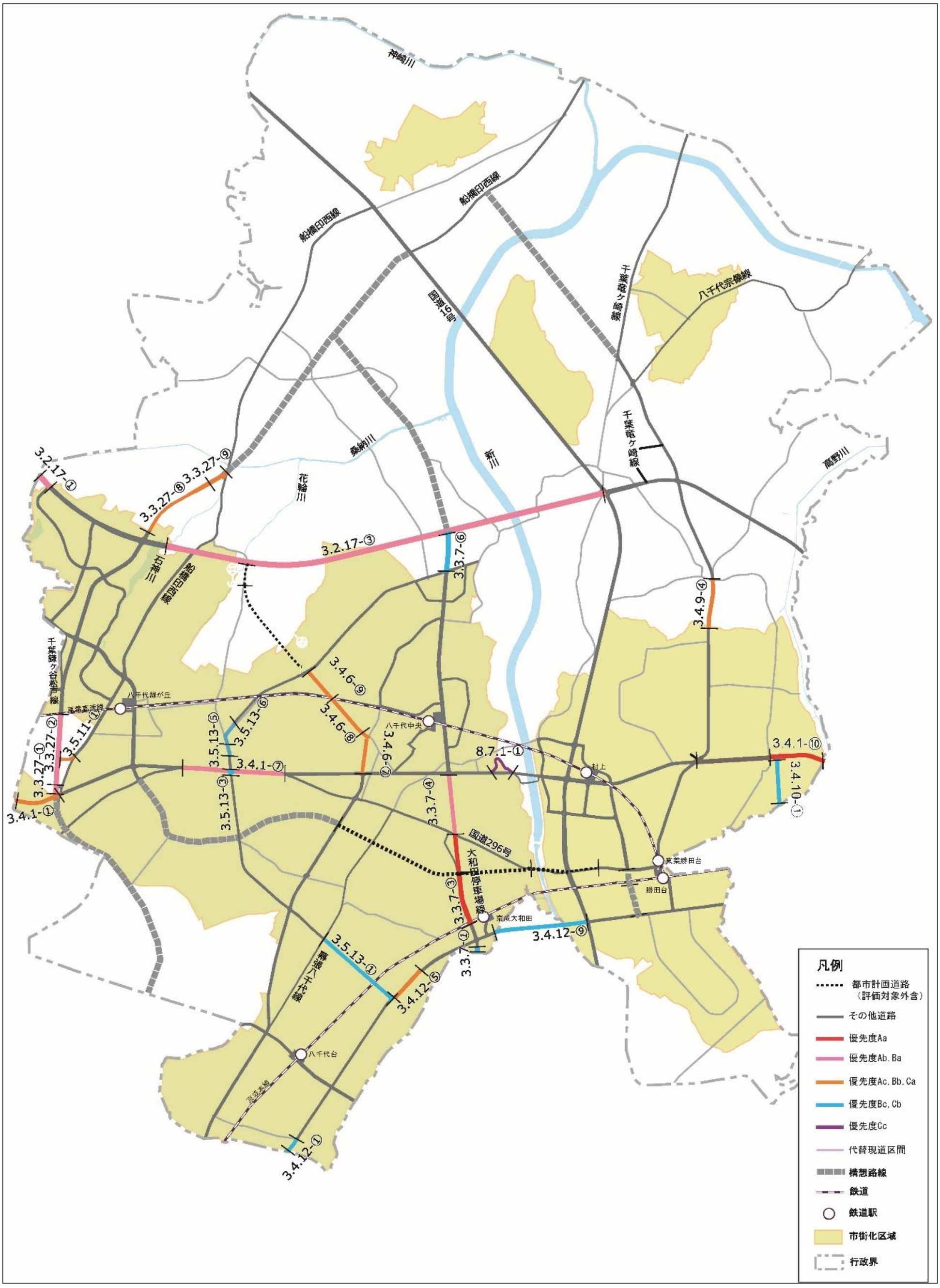

神崎川
船橋印西線
国道464号
千葉竜ケ崎線
八千代宗像線
桑納川
新川
花輪川
高野川
三本木
鷹匠台通線
千葉鎌ケ谷松戸線
八千代緑が丘
八千代中央
村上
東葉勝田台
勝田台
国道296号
大和田停車場線
京成大和田
八千代台
3.2.17-①
3.3.27-⑧
3.3.27-⑨
3.2.17-③
3.3.7-⑥
3.4.9-④
3.4.6-⑨
3.4.6-⑧
3.4.6-⑦
3.5.13-⑤
3.5.13-⑥
3.5.13-③
3.5.11-①
3.3.27-②
3.3.27-①
3.4.1-①
3.4.1-⑦
8.7.1-①
3.4.1-⑩
3.4.10-①
3.3.7-④
3.3.7-③
3.3.7-①
3.4.12-⑨
3.5.13-①
3.4.12-⑤
3.4.12-①
凡例
都市計画道路（評価対象外含）
その他道路
優先度Aa
優先度Ab, Ba
優先度Ac, Bb, Ca
優先度Bc, Cb
優先度Cc
代替現道区間
構想路線
鉄道
鉄道駅
市街化区域
行政界

図　区間整備優先度

３　現在の整備状況

令和６年３月 31 日時点の都市計画道路整備状況を以下に示す。

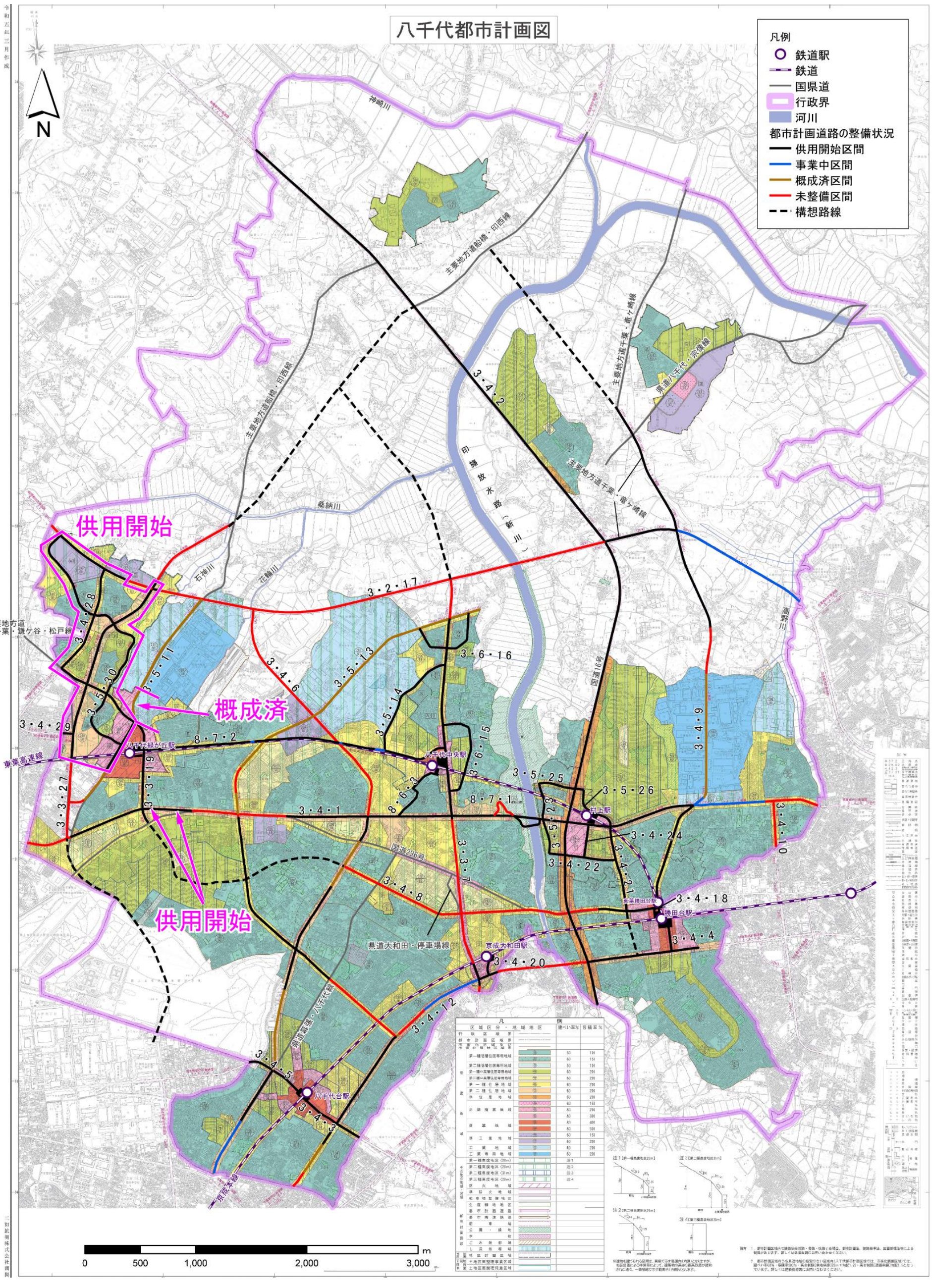


図　都市計画道路の整備状況と構想路線（令和６年（2024 年）３月末時点）

八千代市都市計画道路整備プログラム改定会議
今後のスケジュール（予定）について

回	開催時期	議　題
第１回	R6.11.15	・現行の都市計画道路整備プログラムの評価について ・検討対象路線について
第２回	R7.1～R7.2頃	・検討対象路線の機能評価方法について
第３回	R7.4～R7.5頃	・検討対象路線の機能評価結果について ・将来交通量推計結果について ・検討対象路線の総合評価について
第４回	R7.7～R7.8頃	・検討対象路線の総合評価結果について ・変更路線の検討について ・整備優先度の評価方法について
第５回	R7.10～R7.11頃	・整備優先度の評価結果について ・プログラム素案の取りまとめについて ・パブリックコメントの実施について
第６回	R8.2～R8.3頃	・パブリックコメントの結果及び対応について

※開催時期，議題等は進捗状況により変更となる場合があります。

【ゾーン】

既成市街地エリア　複合市街地エリア　自然環境保全エリア

【拠点】

都市拠点　地域拠点　工業拠点　地域振興・防災拠点　広域緑の拠点

【軸】

広域幹線道路　構想路線（広域幹線）　都市幹線道路　構想路線（都市幹線）　その他の主要な道路

鉄道　ふれあいネットワーク軸　産業誘導軸　産業誘導軸（構想）

【区域区分】

市街化区域　市街化区域（将来）　市街化調整区域

将来都市構造における位置づけ

八千代市都市マスタープランより抜粋